銀河戦国群雄伝
ライ
1
COMP COMICS DX
銀河戦国群雄伝ライ
1
真鍋譲治
真鍋譲治
COMP COMICS DX
P
CD-7-1
角川書店

ISBN4-04-712011-1 C0379 P890E

COMP COMICS DX

銀河戦国群雄伝ライ

1

真鍋譲治

Ⓟ
CD-7-1
角川書店

角川書店
定価890円
本体864円

●真鍋譲治作品

天の神々たち	DRAGON COMICS
銀河戦国群雄伝ライ❶	COMP COMICS DX

●COMP COMICS

宇宙英雄物語❶❷	伊東岳彦
1・2・3でキメてあげる❶❷❸	大宮直依
ちぇりーげいる金❶	中津賢也
刑事剣士Xカリバー❶❷❸	藤原昌幸
ラプラスの魔	MEIMU
ヤンキー❶❷❸	山本よしふみ
トンガリポテチ	中村光信
ストライダー飛竜	和田たつみ
てっぺー参上	中津賢也
爆走CITY	田中正仁
卒業写真	MEIMU
めたもる伊介❶	中津賢也

●COMP COMICS DX

サイレントメビウス❶❷	麻宮騎亜
精霊伝説ヒューティー❶❷	大野安之
トラゴンウォーズ	杉田流仙
エルテガイン❶❷	円 英智
イース❶❷	羽衣 翔
地球防衛少女イコちゃん❶	あさりよしとお

コミック
月刊コンプ
毎月26日発売 角川書店

ISBN4-04-712011-1 C0379 P890E

COMP COMICS DX

¥100 BOOK・OFF

銀河戦国群雄伝ライ

1

真鍋譲治

Ⓟ CD-7-1
角川書店
角川書店
定価890円
本体864円

●真鍋譲治作品

天の神々たち	DRAGON COMICS
銀河戦国群雄伝ライ❶	COMP COMICS DX

●COMP COMICS

宇宙英雄物語❶❷	伊東岳彦
1・2・3でキメてあげる❶❷❸	大宮直依
ちぇりーげいる金❶	中津賢也
刑事剣士Xカリバー❶❷❸	藤原昌幸
ラプラスの魔	MEIMU
ヤンキー❶❷❸	山本よしふみ
トンガリポテチ	中村光信
ストライター飛竜	和田たつみ
てっぺー参上	中津賢也
爆走CITY	田中正仁
卒業写真	MEIMU
めたもる伊介❶	中津賢也

●COMP COMICS DX

サイレントメビウス❶❷	麻宮騎亜
精霊伝説ヒューディー❶❷	大野安之
ドラゴンウォーズ	杉田流仙
エルテガイン❶❷	円 英智
イース❶❷	羽衣 翔
地球防衛少女イコちゃん❶	あさりよしとお

コミック 月刊コンプ

毎月26日発売 角川書店

COMP COMICS DX

ハイパー指導機器図鑑

1

©鈴置洋孝

CD-7-1
角川書店

COMP COMICS DX

銀河戦国群雄伝ライ

1

真鍋譲治

Ⓟ

CD-7-1

角川書店

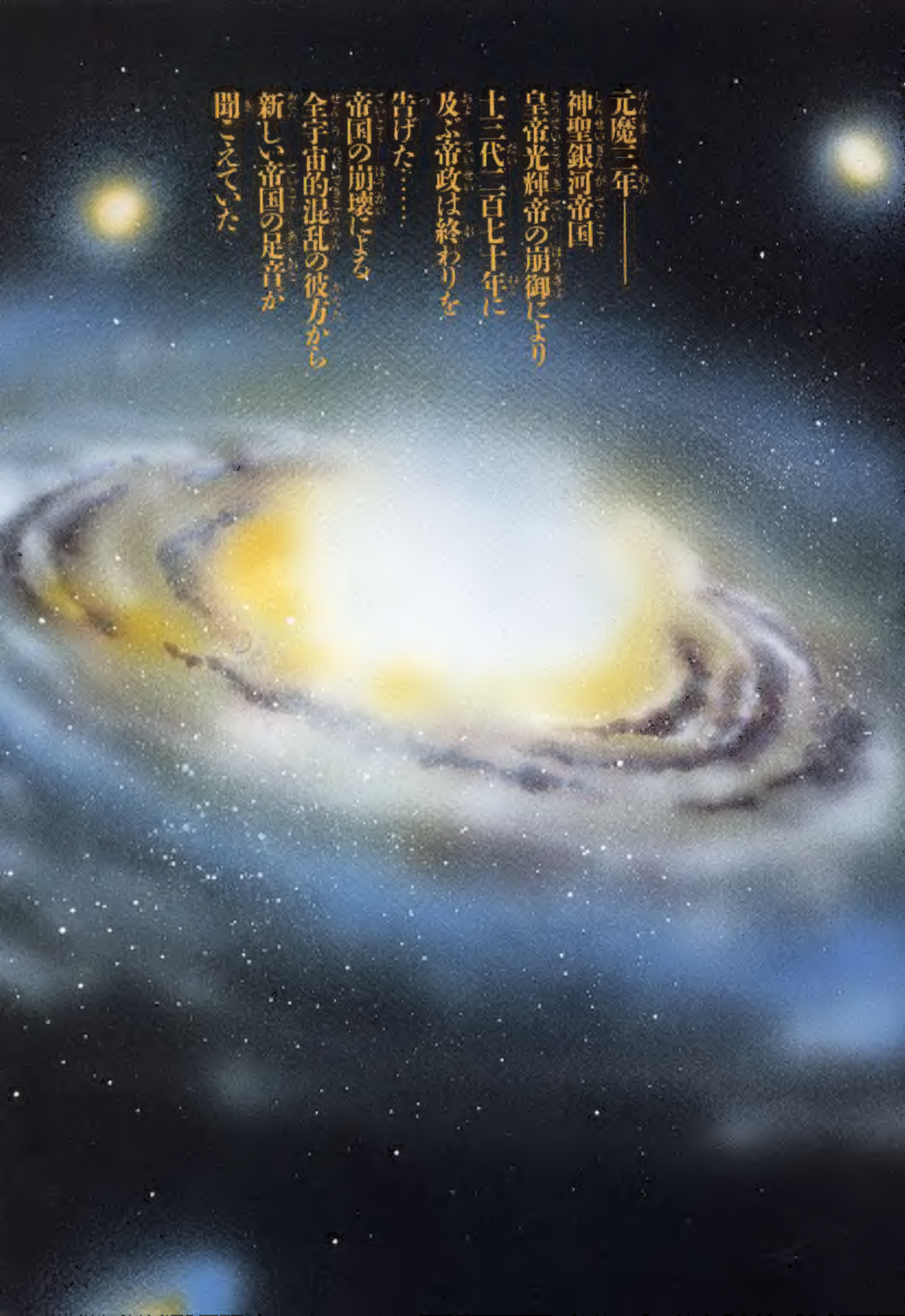
●ARTIST
JOJI MANABE

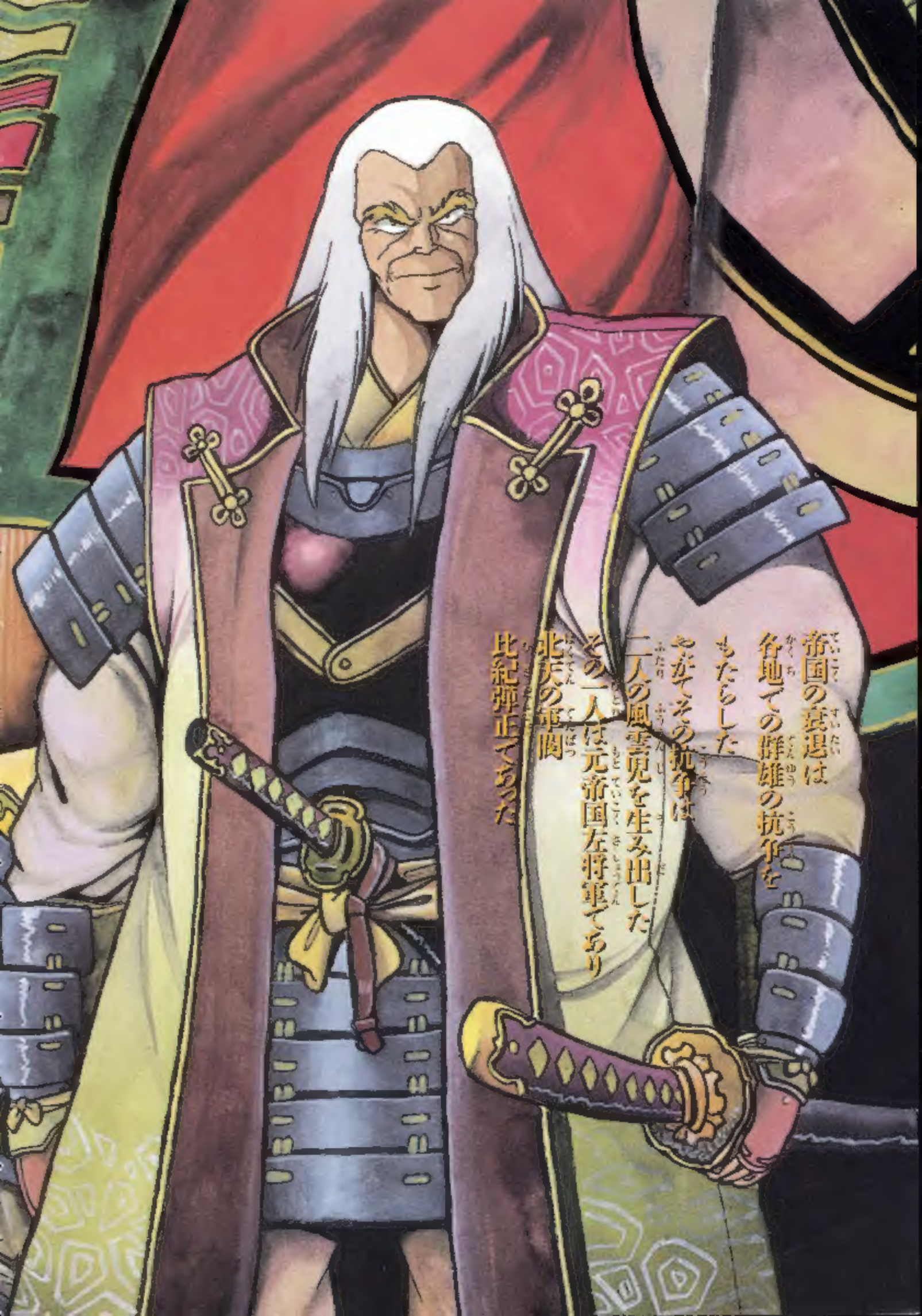
●EDITOR
ANRI KOMATSU

●BOOK DESIGN
TETSUYA ASAKURA

●SPECIAL THANKS TO
MASAHIKO YAMASHITA
HIROYUKI HIRAYAMA
YUSUKE MATSUO
HIDEMASA IDEMITSU

by Joji Manabe


元魔三年――
神聖銀河帝国
皇帝光輝帝の崩御により
十三代二百七十年に
及ぶ帝政は終わりを
告げた……
帝国の崩壊による
全宇宙的混乱の彼方から
新しい帝国の足音が
聞こえていた


帝国の衰退は
各地での群雄の抗争を
もたらした
そしてその抗争は
二人の風雲児を生み出した
その一人は元帝国左将軍であり
北天の軍閥
比紀弾正であった

彼は力を失った
帝国になりかわり
またたくまに
北天を征圧した……
各地の群雄は
続々と彼の軍門に入り
その軍事力をもって
全銀河を統一しようと
していた
そして
もう一人の
風雲児は……

銀河戦記群雄伝
ライ
THE END

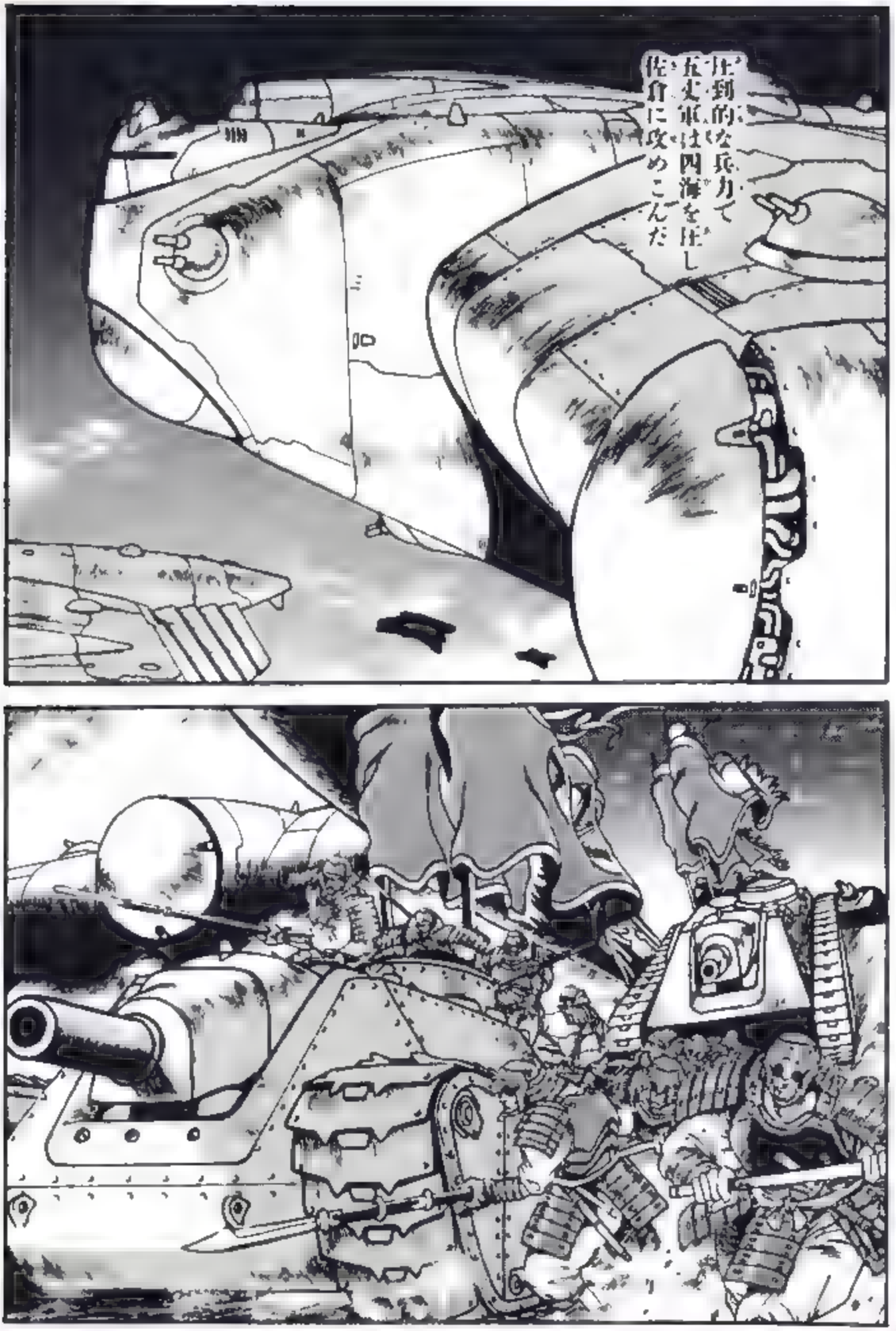
都または重要拠点
南天侵攻までの

紫紋よ
はい父上
お前の母は光輝帝の皇女
お前には皇室の血が流れておる
弾正も無下にはしまい
城を出るか……
そんな!!
あたしは阿曽主禅の娘……
最後までお供します
何とぞお側において下さい!
お前はまだ若いわしの寿命はここで尽きたがお前には未来がある

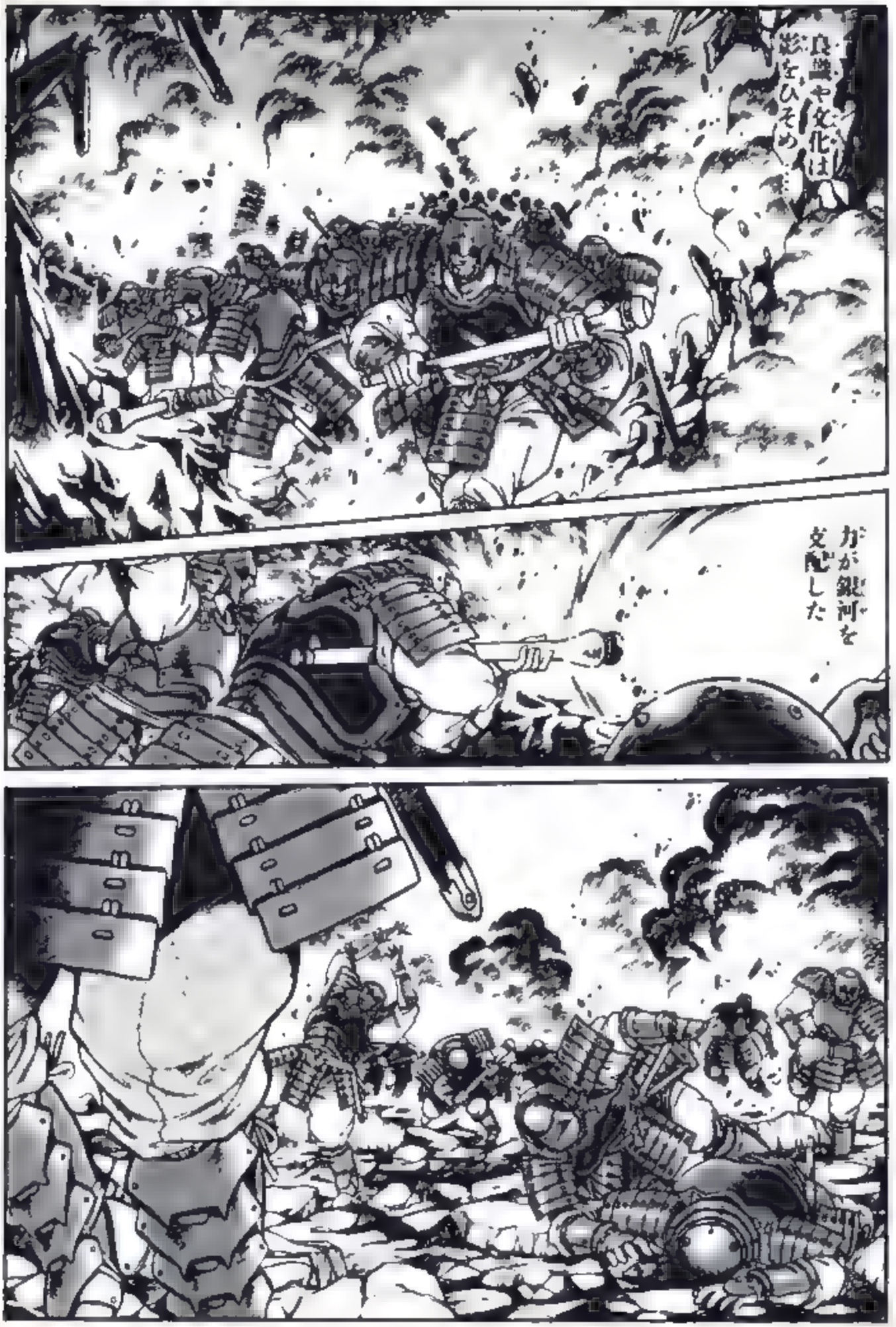
ここで
皇室の血が
絶えれば わしは
先帝にあわす
顔がない
あたしは
皇室の人間
じゃないわ！
父上の娘よ！
わあああ!!
今生の別れの
途中で申し訳
ありませぬが
停戦終了の
刻限が迫って
おりまする
お急ぎを；
わかった
……
使者殿
娘をよしなに
はっ
我が主君弾正公も
格別のお慈悲を
もって姫君を
お待ちして
おりまする

さあ
もう行き
なさい
いやよ
いや!!
紫紋
わしに武将として
最後まで
戦わせてくれ
お前がいては
戦えぬのじゃ
そんな
……
父が
自分の一族を
一人も守れ
なかった凡将と
いわれても
よいのか
安心せい
お前が決して
恥ずかしい
思いをせぬ
戦いを見せて
やるわ
お前も
よい男と
結ばれて
わしを安心
させてくれ
父上

この年の夏
比紀弾正は
四百万の大軍を持ってして
王朝残党の一掃に
とりかかった
主攻目標は
元帝国将官・阿曽主禅の
軍勢であった


圧倒的な兵力で
五丈軍は四海を圧し
佐倉に攻めこんだ

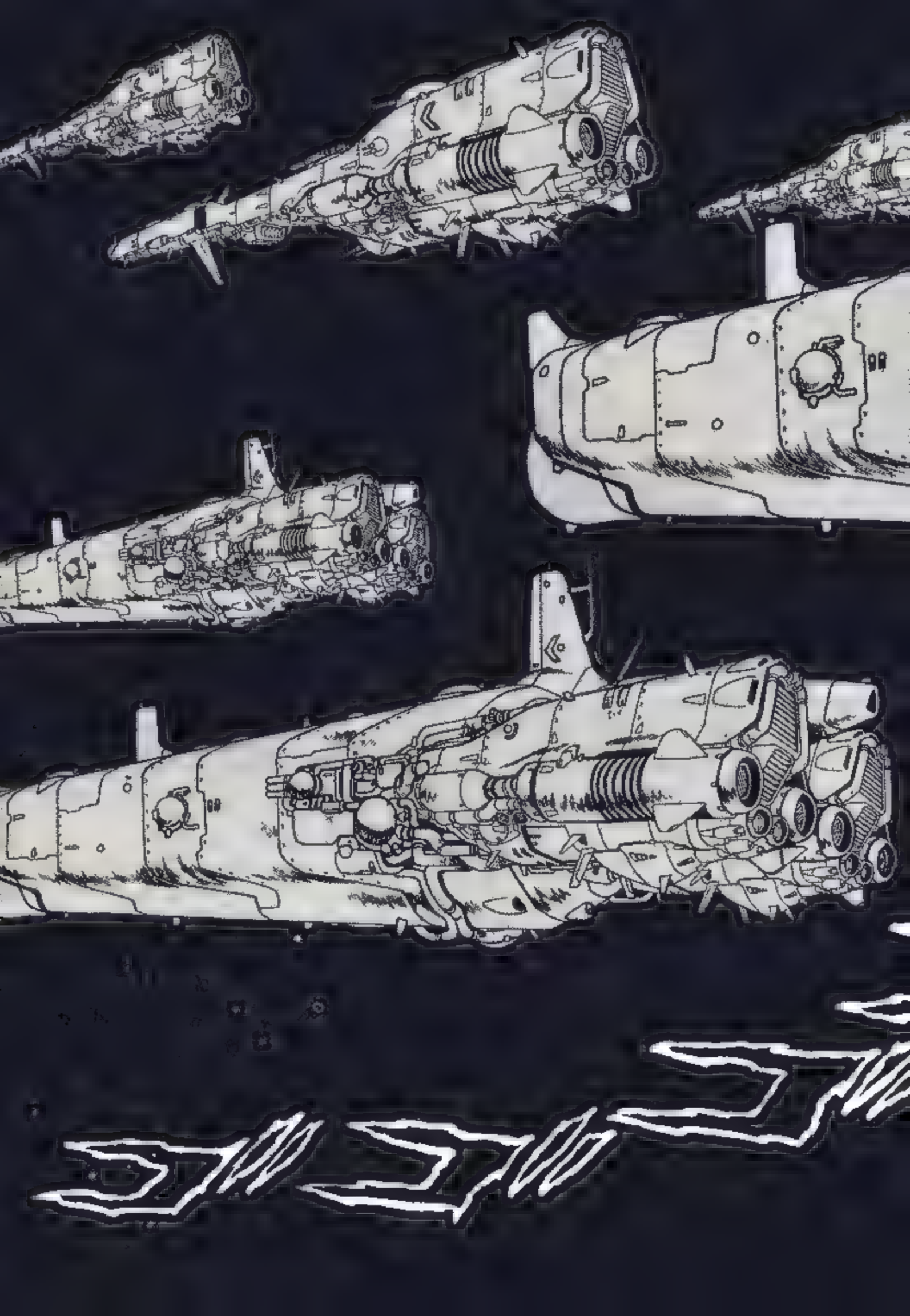
帝国の衰退は
そのまま
はげしい権力争いを
生み
各地で
多くの群雄が
反乱を起こしていた
彼らは
自ら帝国に代わって
全銀河を統一するため
互いにしのぎをけずり
戦火はやむことなく
多くの人々を戦いに
駆り立てた

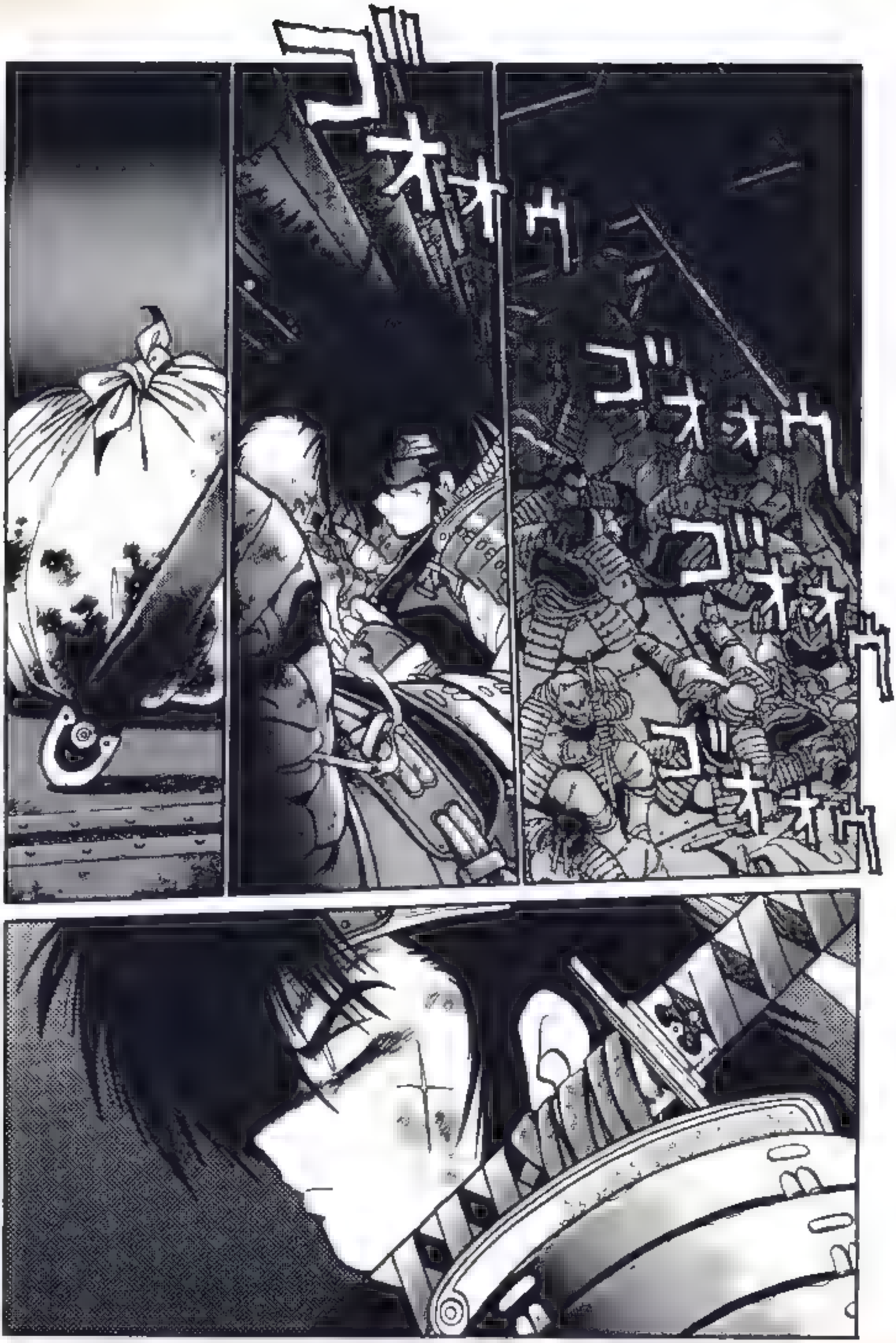

良識や文化は
影をひそめ
力が銀河を
支配した

戦乱の時代がきたのだ!!

!!
阿曽主禅か!?

いかにも!!
その首……
もらったあァ!!

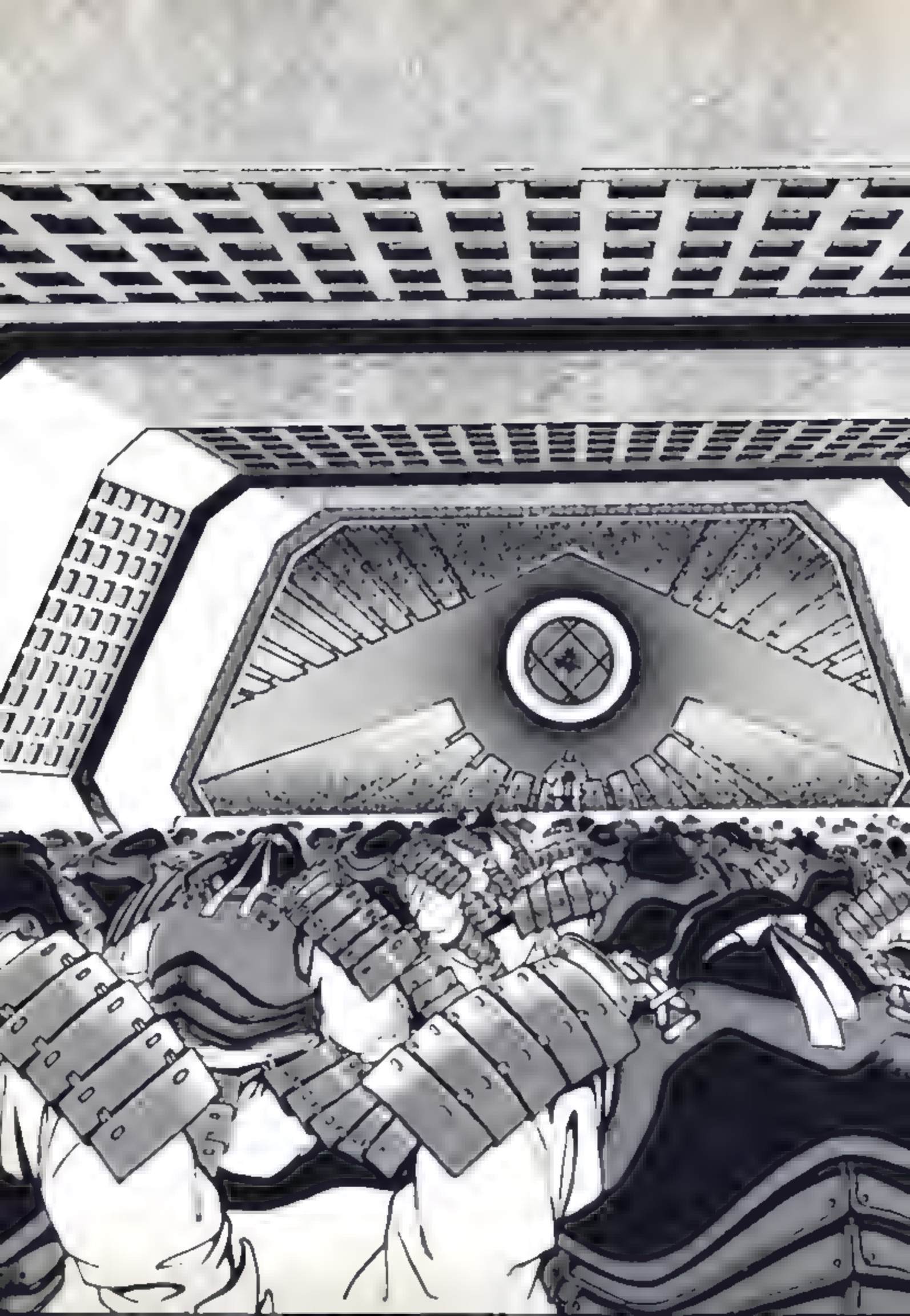



ゴオオ
ゴゴオオ
ゴゴオオ
ゴゴオオ

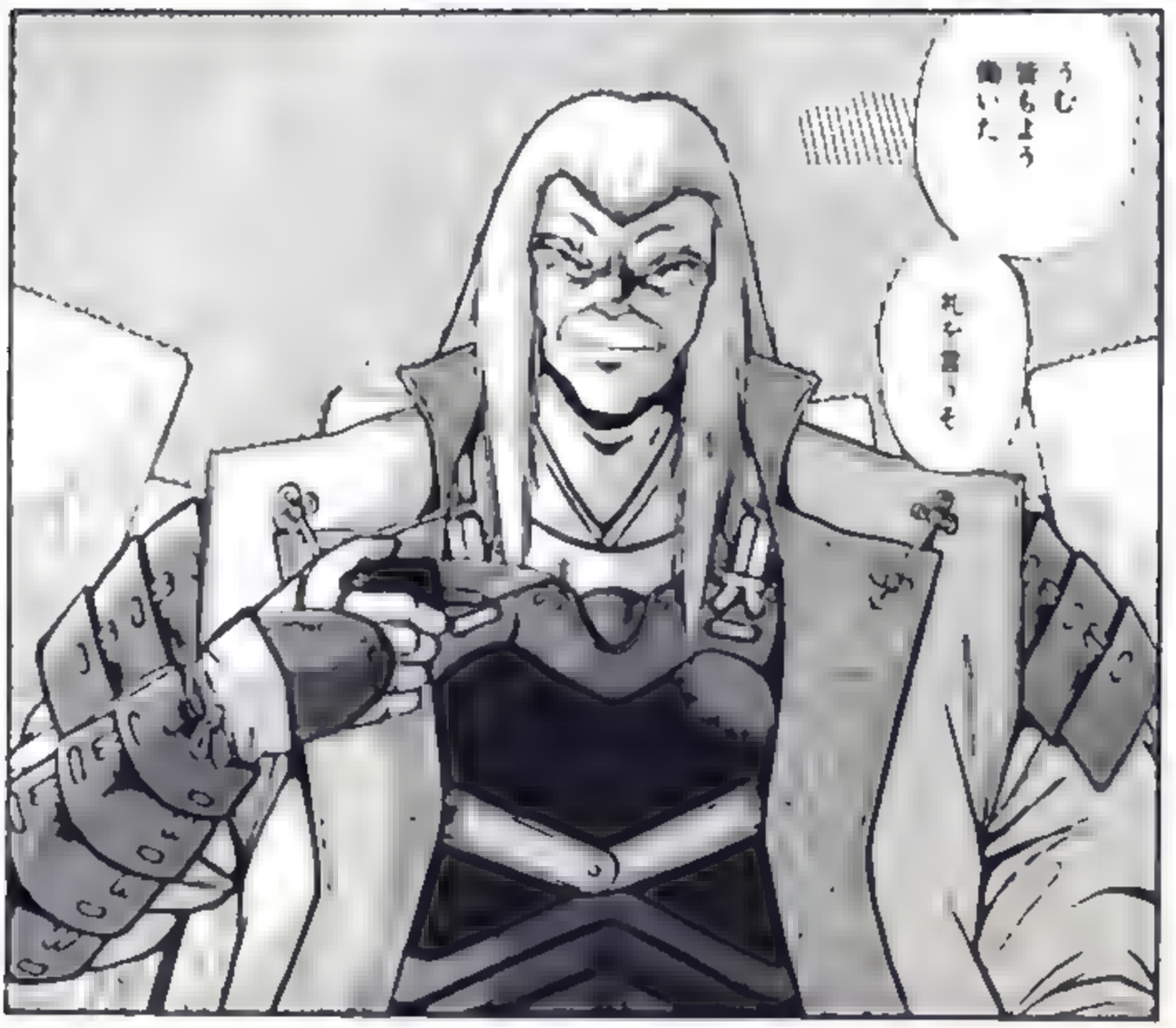
ドカ
だめだった…
又一郎も
小源太もな…
俺達
3人だけ
かよ…
47人も
47人も
いたんだぜ!
でも
俺達
手柄をたてたし
バカ野郎!
死んでった
連中の手柄は
誰が祝って
くれるんだよ!!
そんな
つもりじゃ
…
俺は死なんぞ〃
死んでった
連中を祝って
やるためにもな

多くの群雄の中でやがて北天を支配した元神聖帝国将官で五丈国の北紀弾正が大きな勢力となった

おめでとう
ございます!!



このたびの大勝利
まことにめでたく
御岡衆の
至りに存じます


うむ
皆もよう
働いた
礼を言うぞ

このたび戦で
北天はすべて
わしのものとなった
こうるさい
江古田残党も
一掃でき
南進の足がかりが
できたということだ
特に玄偉将軍
そちの軍団の
活躍はめざましい
ものがあった
難攻不落の敵星を
落とせたのも
そちのおかげだ
はっ
もったいなき
お言葉
わたしを
はじめとする
五丈四天王以下
将兵は
みな殿の
銀河統一に
粉骨砕身
力添え
いたします
けっ
いけすかねー野郎
だぜ
まったくだね
殿
阿曽主禅の
首
おあらため
下さい
うむ
これへ

佐倉城主
阿曽主禅
よくぞ
今までわしを
苦しめたのう
敵ながら見事じゃ
御意

お主とは
神聖帝国軍
での同期
できれば共に
手を取り
この銀河を平定
したかったが…

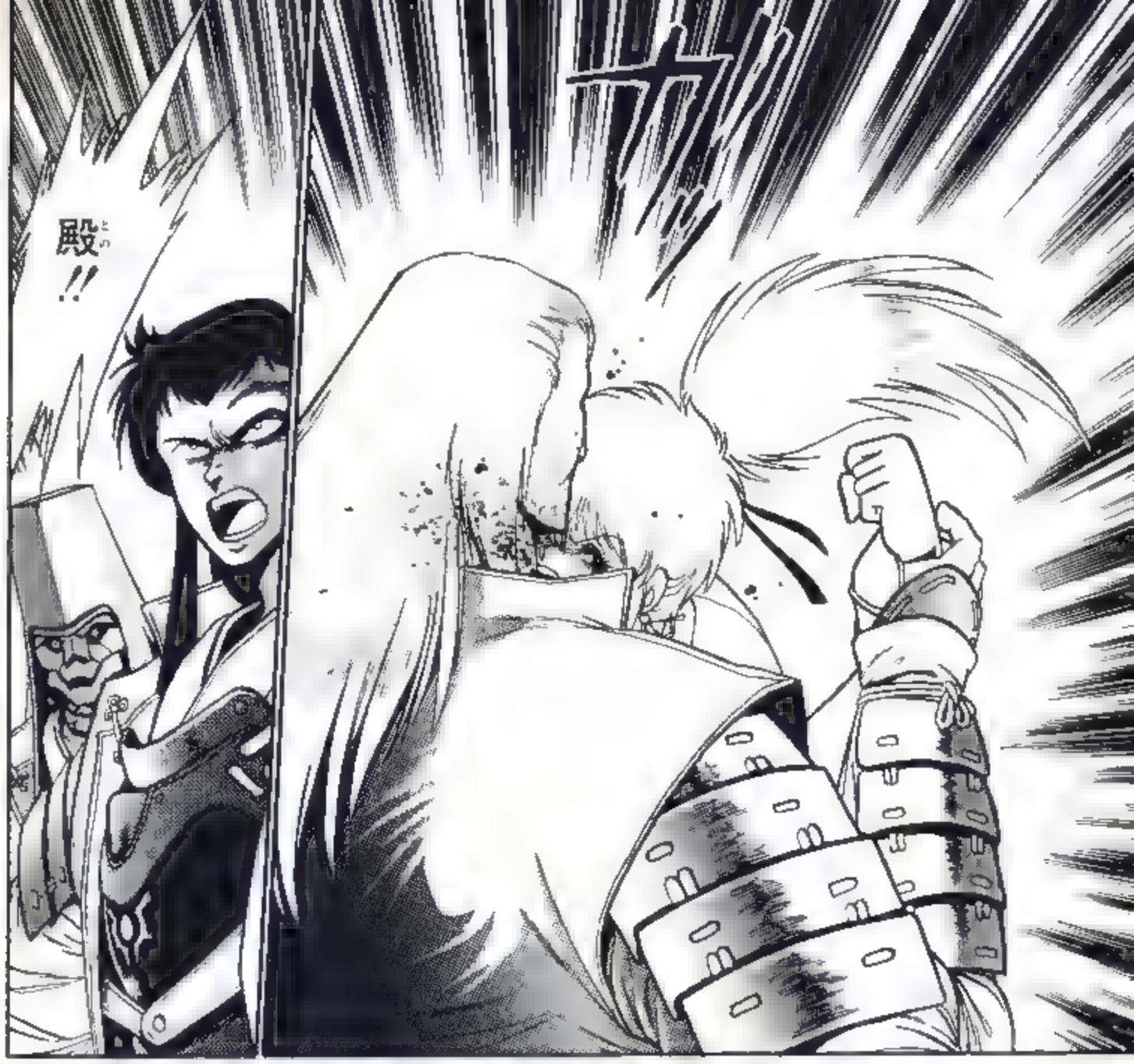
お主は
古い体制に
しがみついて
しまった…
これも
天運
かものう

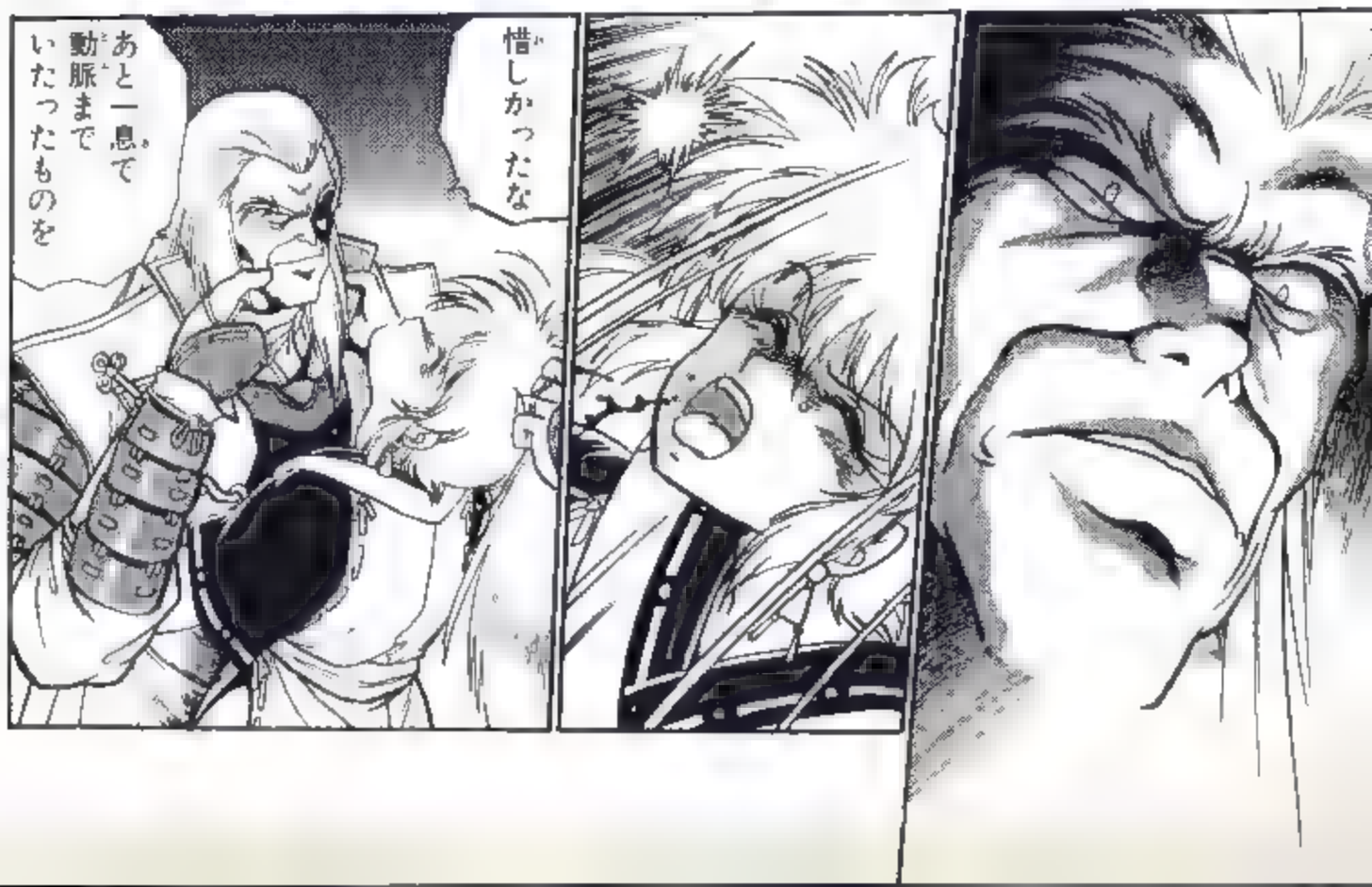
ゴゴゴゴ
たしか
主禅には
娘がおったで
あろう
連れてまいった
はずだが
いかがした？

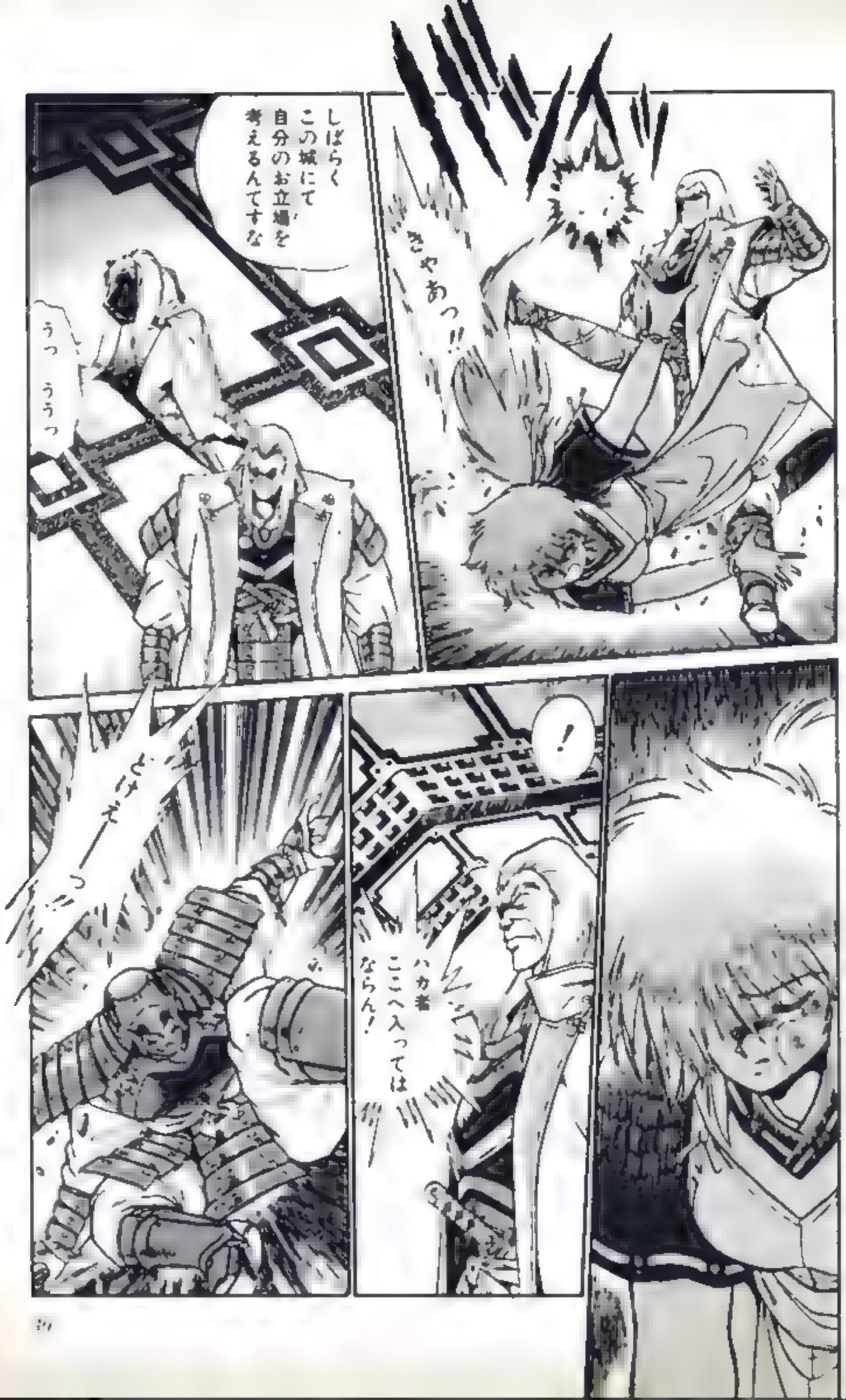
父上ーっ!!
父上ーっ!!
さぞかし
ご無念
だったでしょうに

紫紋姫殿
これも戦乱の武将の運命
この弾正を恨まんでほしい
お父上は我々の手でねんごろに葬ろう
案ずるな
そなたのことも悪いようにはせん
そなたのことだよい縁組みもあろうて
比紀弾正!!
父上のかたきーっ

さすがは阿曽主禅の娘
ギリギリ…
一筋縄ではいかんとみえる
は…離しなさい！無礼な!!
わしに刃を向けたてても何の解決にもなりませんぞ！
阿曽家再興のためにはお命を大切になさるのが何よりも肝要ですぞ
ん？


殿!!


惜しかったな
あと一息で動脈までいたったものを


きゃあっ!!
しばらく
この城にて
自分のお立場を
考えるんてすな
うっ うううっ
!
ハカ者
ここへ入っては
ならん!

と…殿に
申しあげたき
ことが…!!
ガシャ
ガシャ
なんたきさま
殿の御前だぞ!
下がれ!!
ええい
やっかま
しいっ!!
邪魔する奴は
ぶち殺すぞ!!
殿!!

第8海兵団
突撃中隊
竜我雷
殿にお願いがあってまいりましたどうかお聞きとどけを!!
無礼者ここを何とこころえるか!!下がれ!
きさまのような一兵卒が来るところではないわ!!
まあ待て風鳴
話を聞いてやれ
はあ
わしに何の話だ
はっ我が中隊への恩賞の件
なにとぞご再考願います!!

不服だと申すのか？
いかにも！命の代償が銀5枚では納得できません！
恩賞の直訴が御法度なのは知っておろうな
んなことわかってら！けどそれじゃ死んでった俺の仲間がむくわれねえんだよ!!
俺の中隊は敵の真ん中にろくな援護も無しに突撃して3人を残して全滅したんだぜ！
それから小一時間もあとだぜ！艦砲射撃があったのはよ！
攻撃命令を下したのはあんた達だぜ！
せめて残された家族が充分生活できるように…
竜我 雷といったな
おまえ達の血であがなったこの戦の勝利がどんなに大きかったかはわしにもわかる

それじゃ
だが死んで
どうなる
え？
兵隊は死ねば
ただの消耗品
生き残ってこそ
次の奉公ができる
というものだ
手柄をたて
生き残ることが
今の時代の兵に
要求されておる
死んだものは
哀れだが
いたしかたない
ことだ
ガバッ
しかし
それでは
あまりにも
残された者が…
おまえ達は
家族のために
この戦に
加わっておるのか？
そうでは
なかろう
このわしのために
どうだ？
さあ
いうことが
すんだら
とっとと幕舎に
もどれ！

俺に
さわるな
俺にさわるなっ
てんだ!!
バキ
き きさま
人がおとなしく
してりゃ
うるせえ!
上等しや
ねーか!!
俺は機嫌が
悪いんだ!!
この乱心者か!!
やっちまえ!

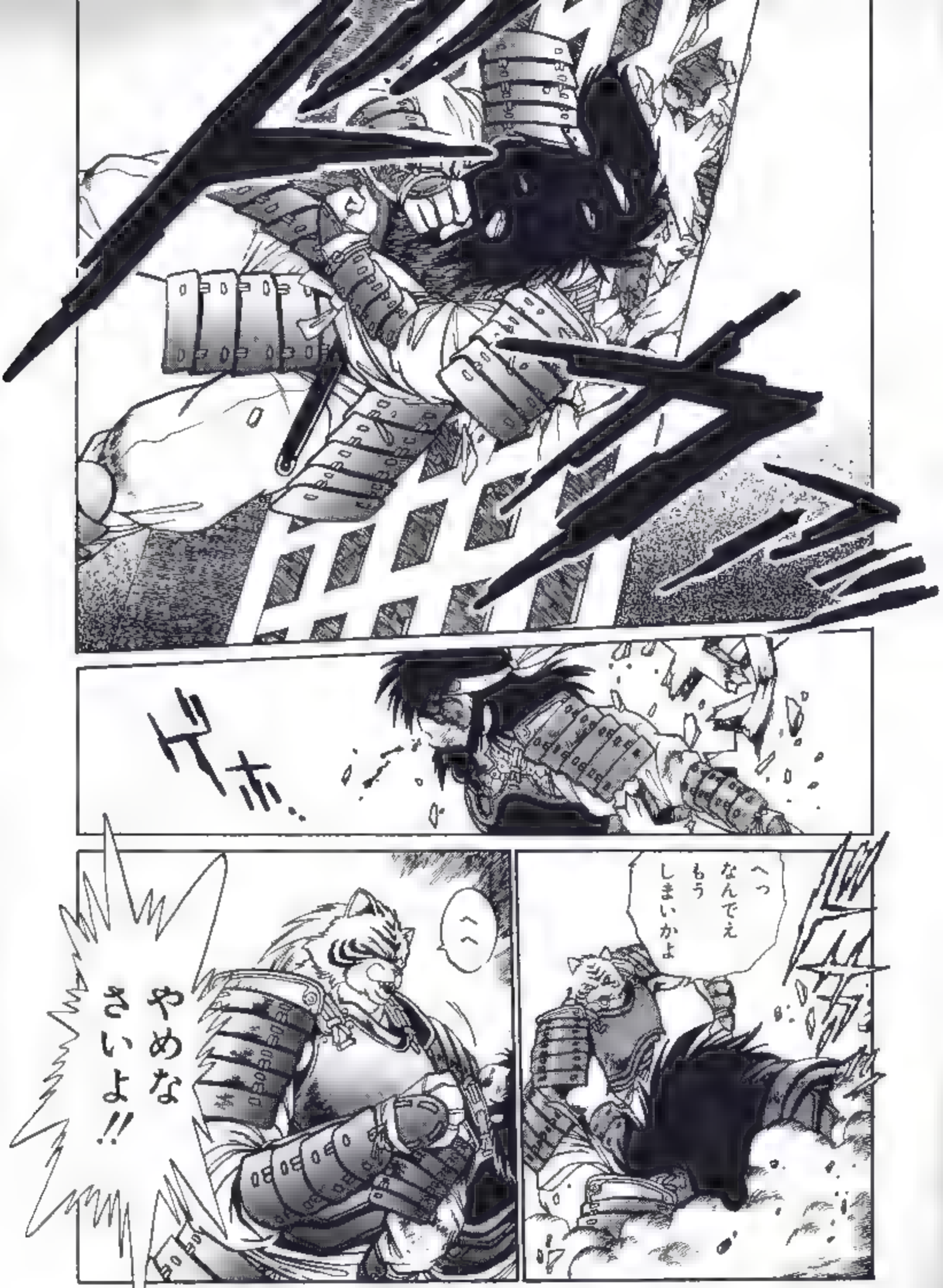
俺は
自分のために
戦ってんだよ!!
きゃっ!!
お偉さんの
ためしやねーや!!
やめんか
貴い御前だぞ!!

ふはは
放っておけ
戦の
あとだ
血が騒くのだろうて
とうした？
そんな若憎ひとりに何をてこずっておる
はは
なにがはは
これでもくらえ!!
どいてろてめえら

がはは
久しぶりに
骨のある奴しや
ねーか！
この骸羅将軍が
相手してやろう
けっ
きやがれ
毛むくじゃら！
がはは
威勢の
いい奴たせ
ぶにいった！

ふふふ
かわいいボーヤ
じゃないの
でもちょっと
お仕置きが
必要ね
人にものを
頼むときは…
も――っと
頭を低く
すんだよ!!
ちったあ
わかったかい
世間知らずの
ボーヤ!
なにおお～～～

ほお!?
奴が主禅を討ったのかなるほどな
御意
えっ!!
あの男が父上を?"
わおっ
おもろい奴がおるやんか♡
クス


ドボ…
へっ
なんでえ
もう
しまいかよ
へ
やめな
さいよ!!

いいかげんにしなさいよあんた達〃
一人をよってたかってはずかしくないの〃
なんだとこの女〃
よせ骸羅！姫君に無礼たぞ
ときなさいよ！
うおっ？
ひとい
ケッ
なんてことを

この男を
父上が
討ち取った
ギュッ
紫紋姫殿は
その男が
気にいりましたかな
その男は
敵将を討った
殊勲者
若いが
将来見込みの
ある男てな
とうてすかな
これも縁
その男のもとに
行かれては？

あなたらしい発想ね 弾正・？
いやいや 将来得がたい 豪傑になる男だ 悪い話ではあるまい
もっともその男を敵として憎むなら切るがよい どっちにしても近くにいたほうが賢明であろう
ふふふ 我ながら良い縁組じゃて！
弾正・
そうは思わぬかな紫紋姫殿!!
けっなんでえ俺がもらおうと思ってたのによ
あんたはブタとでもやってな
なんだとてめえ!!
その話、異議あーり

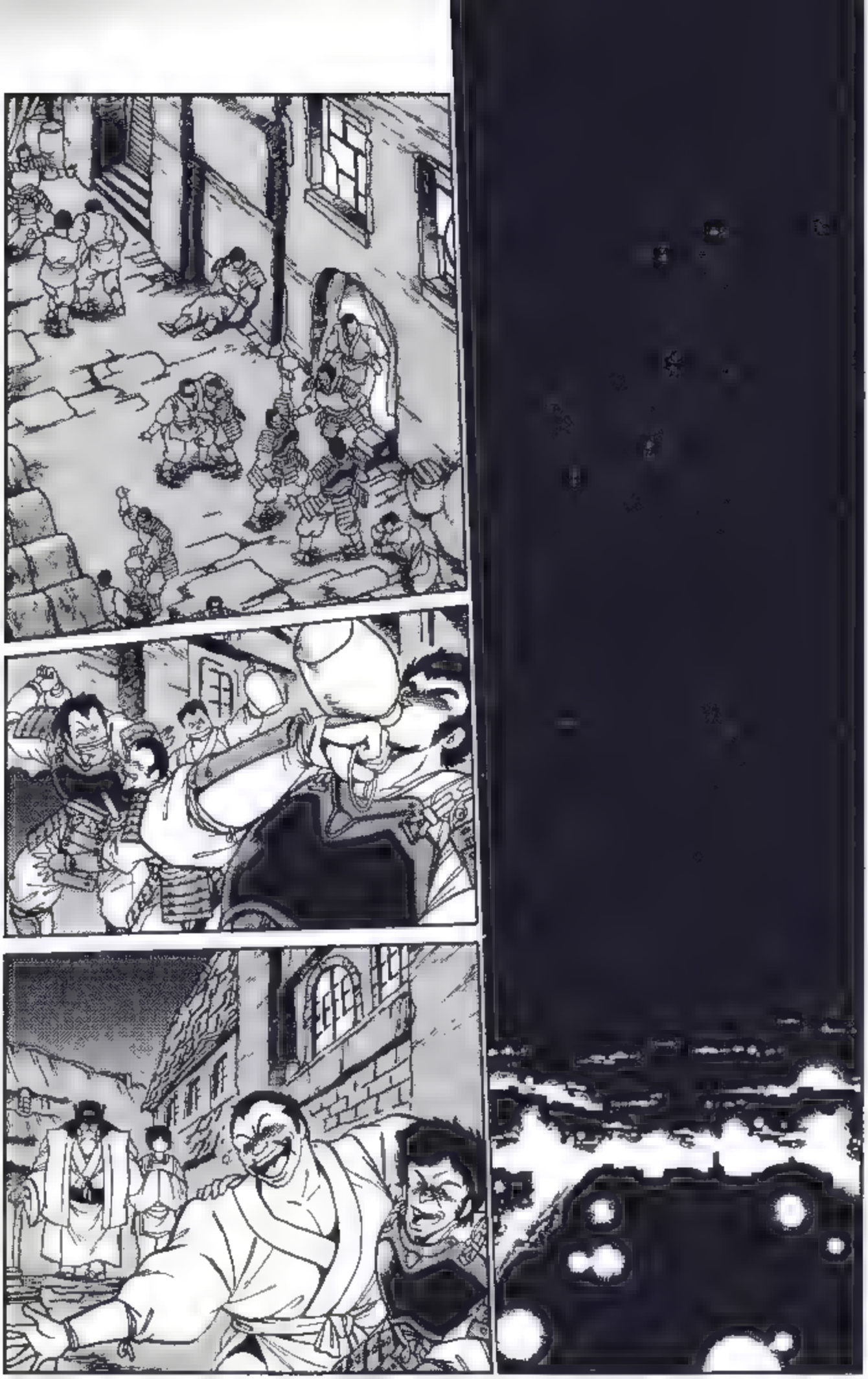
父上
お帰りなさいませ
おお
麗羅か
わしが留守中
変わりはないか？
別に
ふ――ん…
な、なによ

ピク
な・な・な・な・な
なに
すんのさ——っ!!
はん
まだまだやな
ダンナもらうん
ちと早いん
ちゃうか?
よ…よよよ
よけいな
お世話よ
——っ!!
ガキ
父上
お願いが
あるんやけど
～
なんだ
会って
早々に
あの男
うちに
ちょーだいよ

しかし
あの男はな……
かまへんやん
うちにちょうだいや
あの女には
もったいないわ
な！
な！
しょーがない
奴だな
かまわん
好きにしろ
ただし
面倒は
ごめんだぞ
ラッキ
――♡

どいて！
きゃっ
ふ――ん
仲々
ええ男や
ないか
うちの
好みや
♡
おいっ
だれかこいつ
うちの部屋まで
運んで!!
ははっ

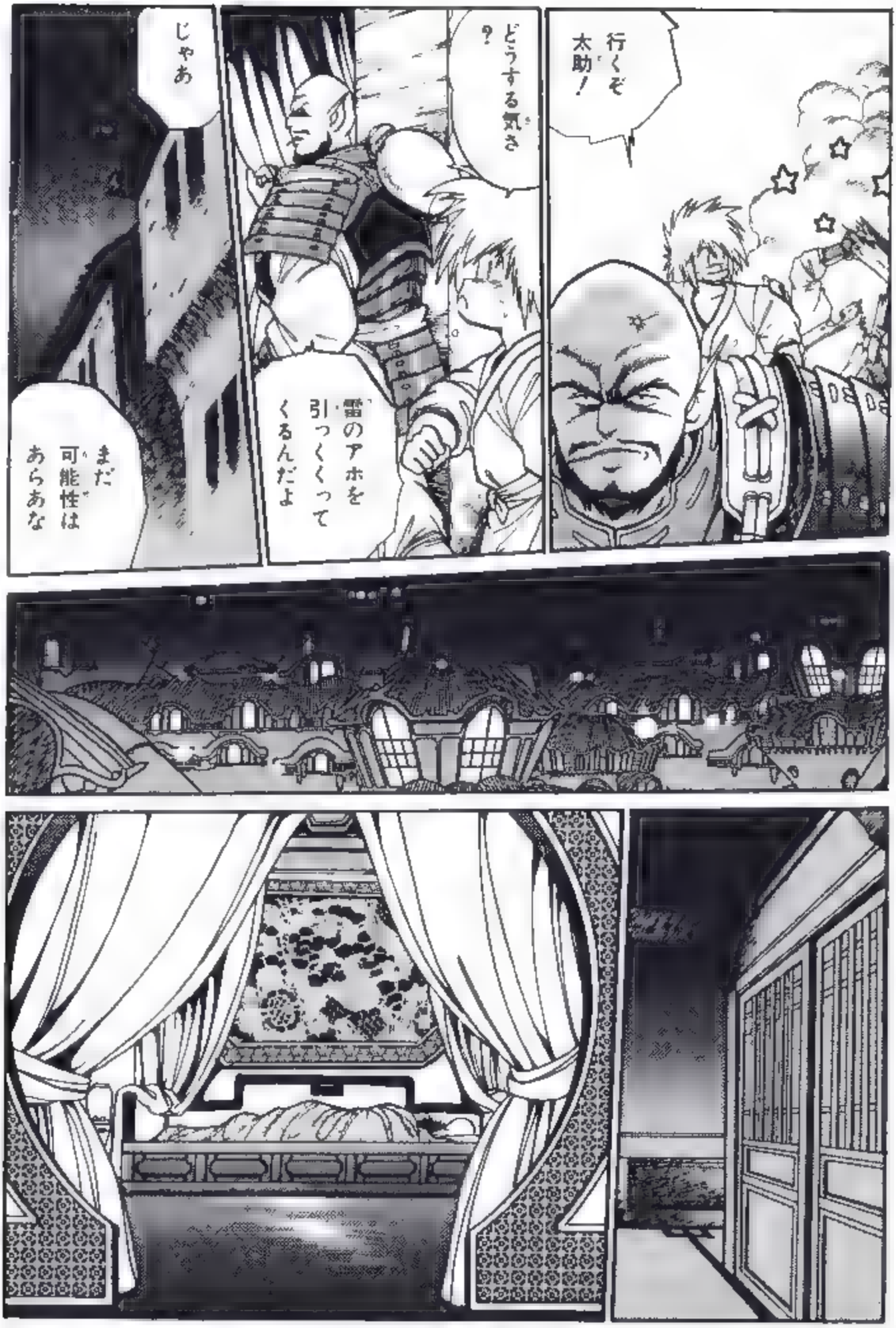
今晩おもろそうやわ♡
ガッ
ガッ
ふん！
カチン☆
ズカ
ズカ
なにするんやこのガキーっ!!
うっさいわねさっきのお返しよ！このアバズレ!!
ギャアギャア
なんやて——っ!!



戦に勝って街もにぎやかになりましたね
ふん 喜んでおるのは軍人共ばっかりじゃ
道師は戦に勝ってうれしくないのですか?
この戦で何人死んだと思うんじゃ
軍人は戦うのが仕事じゃからかまわんが
まきぞえを食う市井の人間のことを考えてみい!
そうですね
ゆはは
カンパーイ!!

六郎 おまえ
いくつ
首あげたんだ
ええっ〃
ザク
ハハハハ
ザク
おーいっ
こっち酒が
ねえぞ〃
ようしけてんな
太助
一人か？
雲海
雷はとーした
こーいう時に
一番うるさい奴が
いねえじゃ
ねーか
さては
またどっかで
ケンカでも
してんのか？
あ
あの～～～
おお
雲海入道！
雷の首は
どーした〃
なにいっ？

おいっ
そりゃ
どーいうことだ
どうもこうも
恩賞の直訴は
御法度だぜ
悪けりゃ
死罪じゃねーか
直訴？
なんだ
知らねーのか？
あいつ自分の中隊の
恩賞が少なすぎるって
いってよ
だからといって
殿に直訴するとは
無謀な話だぜ
な
なんだとお
太助――っ!!
おまえ
知ってたのか!?
ご…ごめんよ…
雷のアニキ
雲海には
話すなって
ひっ!!
しかし雷も
バカな奴だぜ
ちょっと手柄たてた
からって
のぼせあがってん
じゃねえのか？
ほんとほんと
これで出世も
命までも
パーだぜ


行くぞ太助！
どうする気さ？
雷のアホを引っくくってくるんだよ
じゃあ
まだ可能性はあらあな

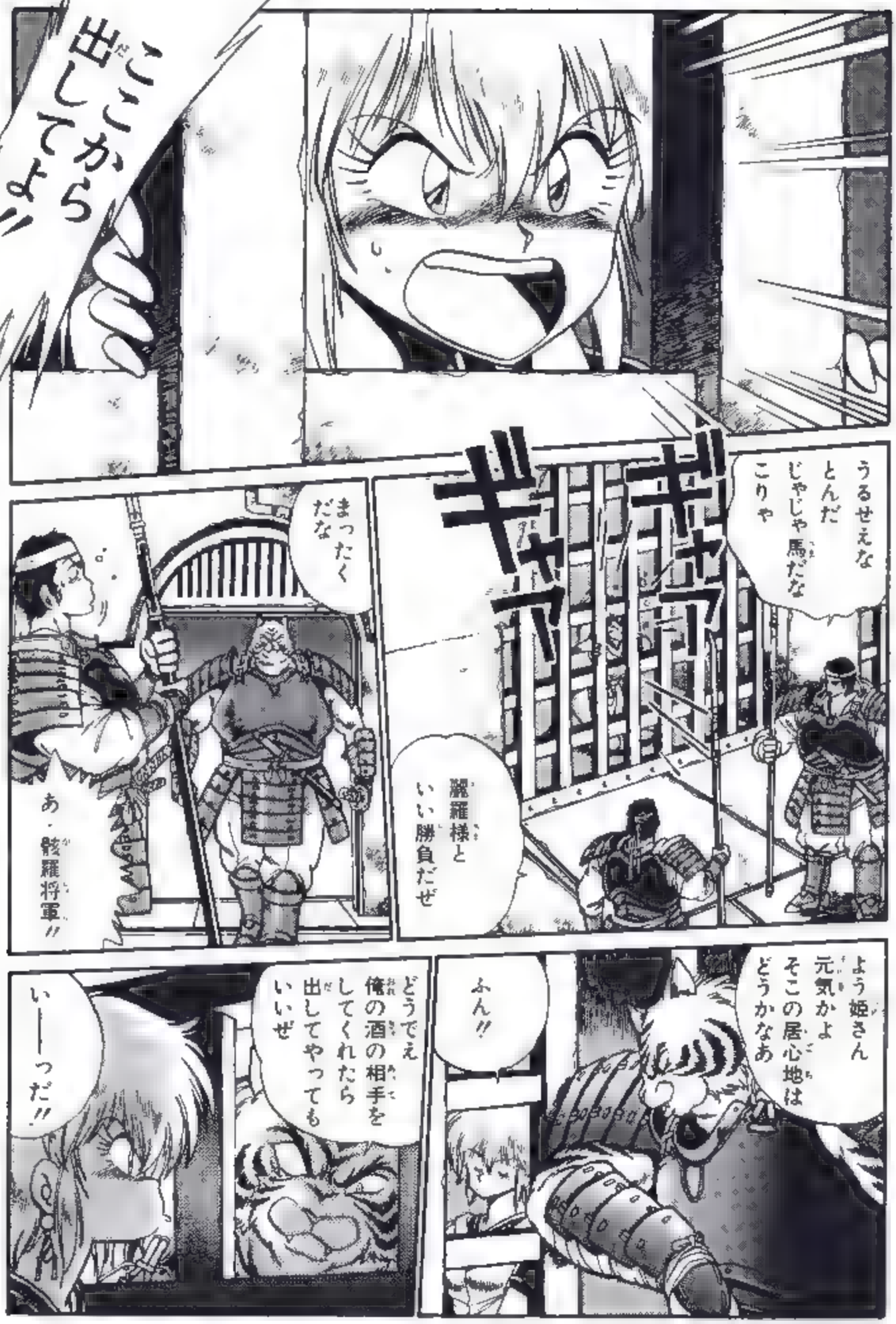
う…
ここは
ガバッ!!
な…なんだ
おめえはーっ!!
ふあ～～っ
おはよーっ

おはようじゃない！
何で女のきさまが俺の寝床にいるんだ!!
何でってここうちの部屋やで
傷手当てしてやったんや
礼ぐらいいってほしいわ
お、俺に何かしたのか!!
何もしとらん
何もしとらん
添い寝してただけや
そいつはこれからやからな♡
だれだ？おまえは
なんやわからんのけ？
まあ一兵卒じゃうちの顔は知らんやろなー
答えろおまえは何者だ!?
俺をなんでこんなとこに連れこんだ!!
いたた

姫!!
!!
ナ!!!
ナ!!!
お…おまえ
あー
もうええで
下がってええわ
これで
わかったやろ…
うちには
逆らわんほうが
ええで

それでは紫紋姫は牢獄に？
いくら麗羅様を怒らせたとはいえ仮にも一国の姫君…
将軍のお力で何とかならないのですか？
それができるならわたしの元に置いておくだろうな
あら少し妬けますわね
それほど魅力的ですか紫紋姫は？
あの娘は神聖銀河帝国の王家の血筋なのだ
あら
わかりませんわなぜそんなに亡んだ王家の血筋が必要なのです？
わたしの理想だよ

理想と申しますと？
力で銀河を平定するのはたやすい…
力を絶対視する弾正公ならともかく
わたしの理想には歴史的大義が必要なんだよ
神聖帝国王室の復興！
これがわたしの必要とする大義なのだ
それでは姫を妻へと申し上げては？
あなたは将軍で独り身
弾正公もお許しになるでしょう
だが鳳鳴はそう思うまい
お気になりますか？
あやつ最近わたしの周りに探りをいれてきている
いやな存在だ
ふんまあいい手はうってある


ここから出してよ!!
うるせえなとんだじゃじゃ馬だなこりゃ
ギロ
まったくだな
髑羅様といい勝負だぜ
あ・骸羅将軍!!
よう姫さん元気かよそこの居心地はどうかなあ
ふん!!
どうでえ俺の酒の相手をしてくれたら出してやってもいいぜ
い――っだ!!

なんだと
この女〜〜っ!!
いいかげんに
せんか
乾羅
なんてえ
風鳴か
おめえも
この女を
くどきに
きたのか
バカ者!
おまえに
話が
あるのだ
話?
ここては
何だ
外に出よう
けっ
めんとくせえな
なんだ
話ってのは
べーーっだ!!
ポンッ
フッ

おいっ
さっきと
話せ！
俺は眠いんだ
おまえ
近頃玄偉の
行動をとう見る
玄偉？
さあな、
まあやな奴だな
最近奴の周りに
なにかと良からぬ
うわさがある
何か企てて
おるのだ
ほお
何かと思えば
ライバルの足の
引張り合いか？
おまえ達二人は
けっこうまして
突張り合ってる
からな
そうてはない！
お家大事と
思えばこそだ！
そのためにも
奴の尻尾を
つかまねば
ならん
おまえにも
協力を、
んな
めんとくせーこと
言っとらんて
こいつでカタを
つけな
簡単だぜ

さあ
ひと風呂あびて
寝るか
ふん！
単細胞め…！！

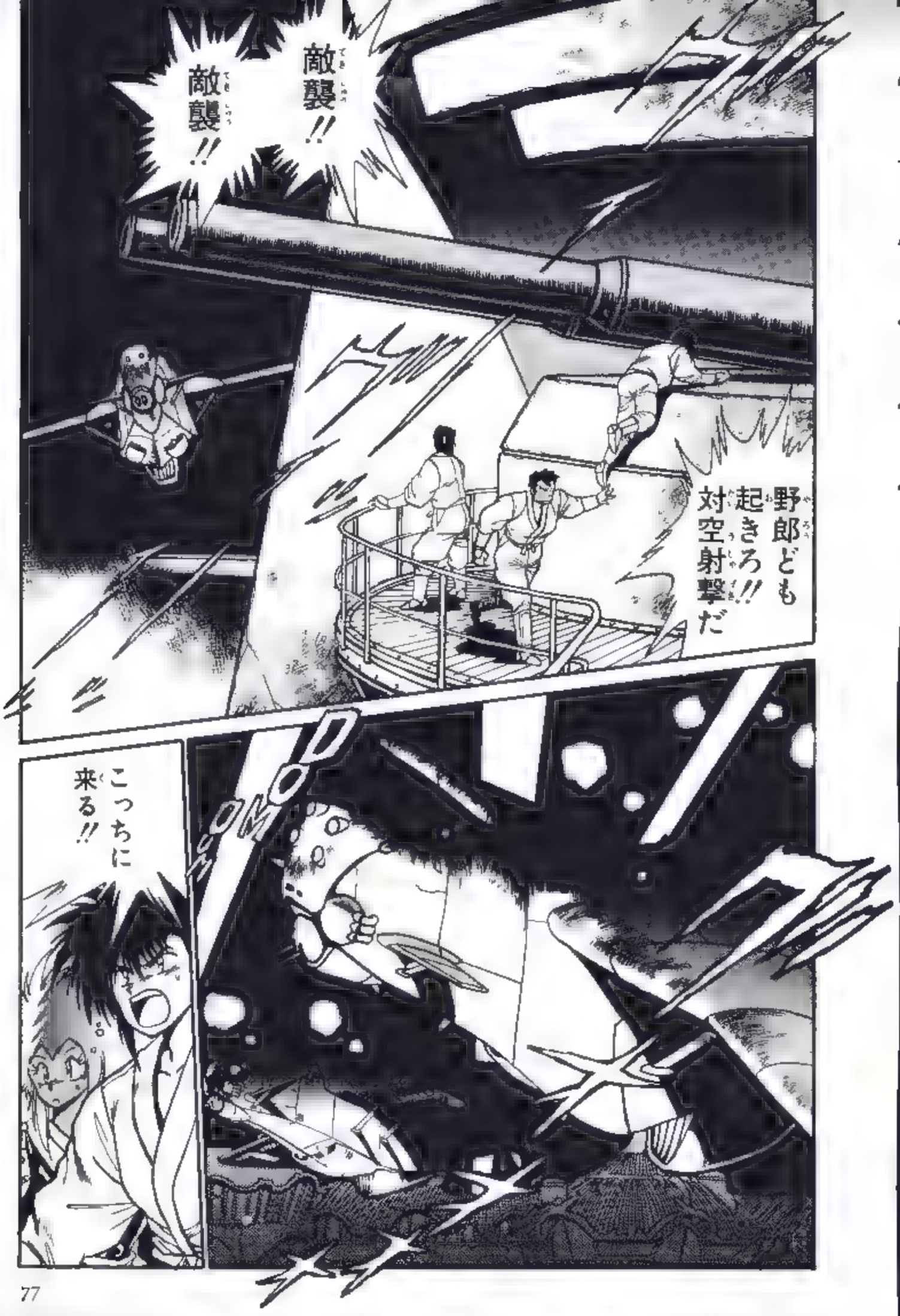
ライ
これ
やってみい
うまいで
姫さんよー
なんで
俺をこんなとこに
連れこんだんだ
あんたに
興味があってん
興味???
せや
あんた今度の
戦の英雄やて
特進まちがい
なしやし
金500は
もらえるやろ
そやのに
あんたは
御法度の
悪賞の直訴で
それをライに
するとこやったん
やで
しかも
死んだ
部下のや
それが
どーした
当然だろ

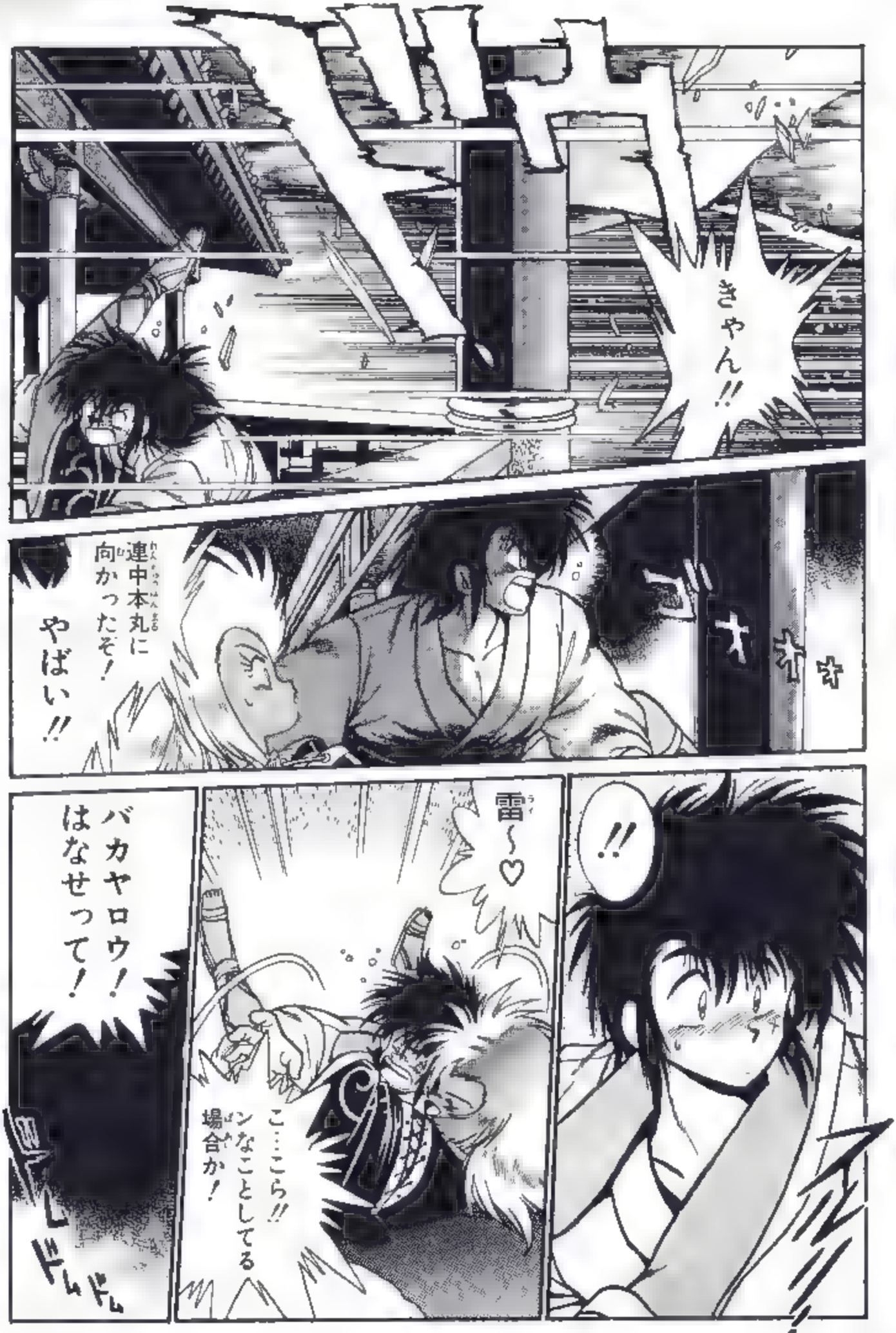
そうけ？
他の連中は
そうはせー
へんで
部下の手柄を
一人占めにしたり
する連中
ばっかりやで
まあ
そーでも
せーへんことには
この世界じゃ
出世でけへん
もんなあ
軍人は
出世で
男が決まる
さかいな
俺だって
一国一城の主に
なるつもりき！
そのためには
何でも
してやらぁ
けど死人の
手柄まで
横取りするのは
ごめんだぜ
ふんふん
それくらい
俺が生きてりゃ
すぐ取りかえせらあ！
ふーん
やっぱ
変わってんなー
あんた

な…なんや
あら!?
敵襲か!!

な なんだ
なんだ〃
ぐわっ!!
きゃあっ!!

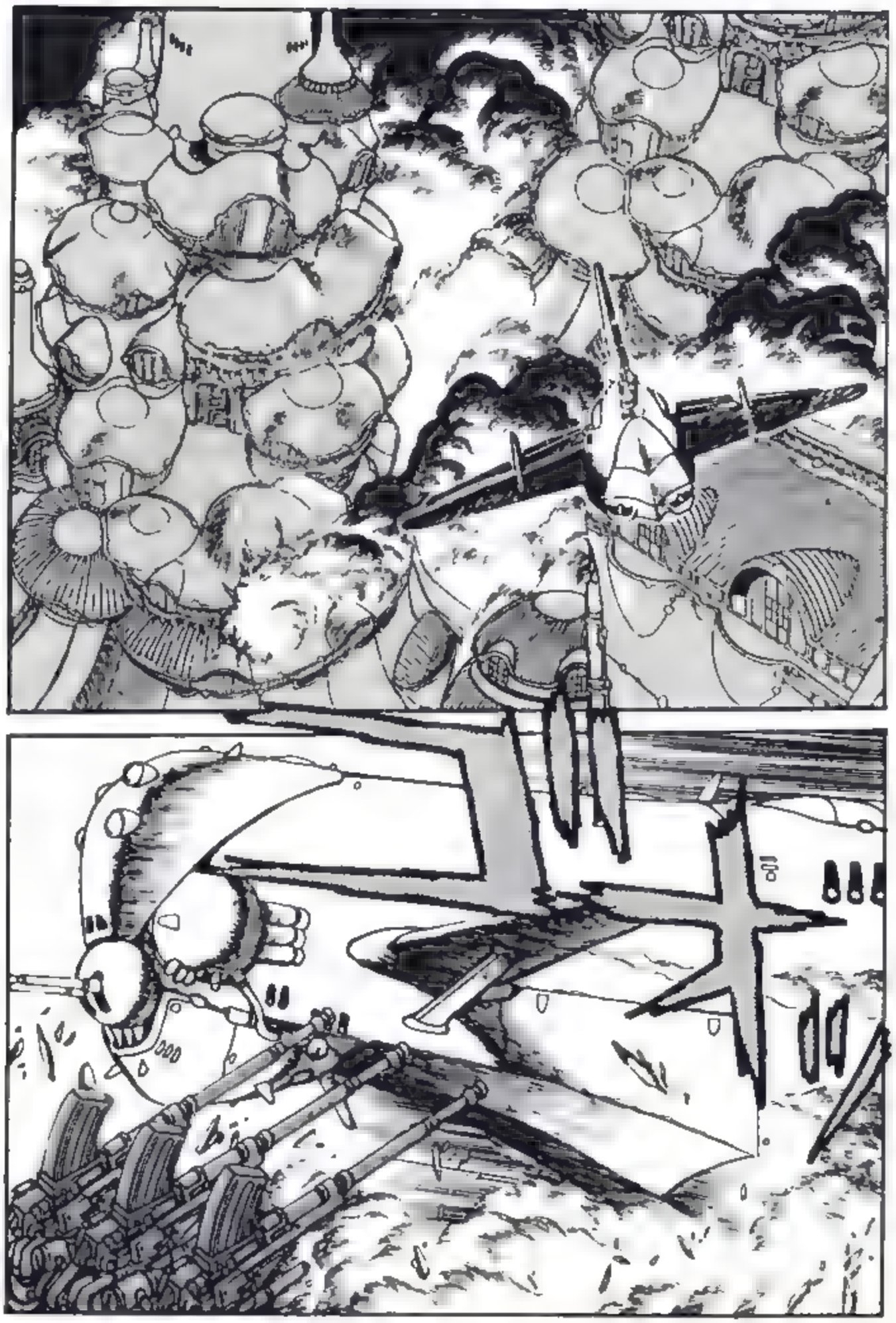
あたたた
おいっ
生きてるか!!
ちくしょう!
何てこった
こんなとこまで
敵が乗りこんで
くるなんてよ!!
お おい
あれは


敵襲!!
敵襲!!
野郎ども
起きろ!!
対空射撃だ
こっちに
来る!!

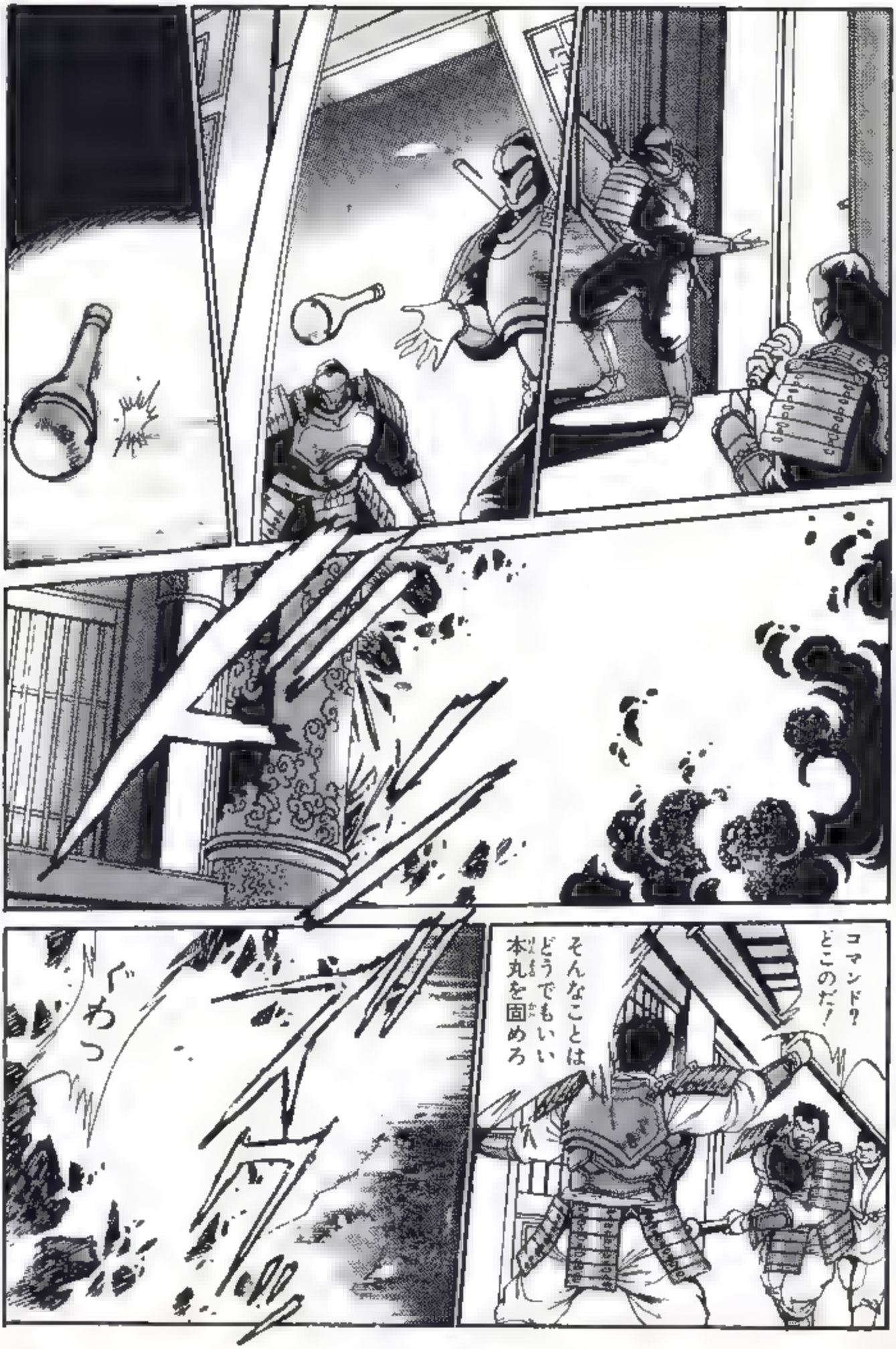

きゃん!!
連中本丸に向かったぞ!
やばい!!
!!
雷~♡
こ…こら!! ンなことしてる場合か!
バカヤロウ! はなせって!
ドムドムドム

DOM
DOM
DOM
POW!!

なにごとだ!!
正体不明の敵の夜襲でございます!!
夜襲!? 攻撃されるまで探知できなかったのか!!
はっ それが戦勝祝いのために
ばか者!! なんたる不始末か!!
防空責任者の首を切れ!!
道師様!! たいへん戦が!!
まて 閻々 今いいところしゃ
ほうれ 見ろ わしの予言とおりじゃ
今 銀河が動きだすぞ



敵降下兵、城内に侵入〃
なにっ!?数は〃
わかりません〃
総員非常態勢〃
すみやかに敵兵を撃滅せよ〃
ぐわっ〃


コマンド？
どこのだ！
そんなことは
どうでもいい
本丸を固めろ
ぐわっ

敵兵力は
およそ一個大隊！
3機の強襲艇にて
乗りこんで
まいりました!!
おのれ～～
このわしを
なめおって～
!!
近くに
母艦が
いるはずだ!!
捜せ!!
はっ!!
いいか
連中を
生かして帰すな
!!
どこ行くねん
雷！
きまってんだろ
敵襲だぞ
姫さんは奥に
入ってろ
あぶねーぞ!!
俺の
甲冑どこ
やったんだ
よ!!
刀は!?
うちも
一緒に連れてって
くれるんなら
返したるで
姫さん
あのな～～っ！
えーやんか
な！
な！

なめんじゃねえ!!
この雑魚共が!!

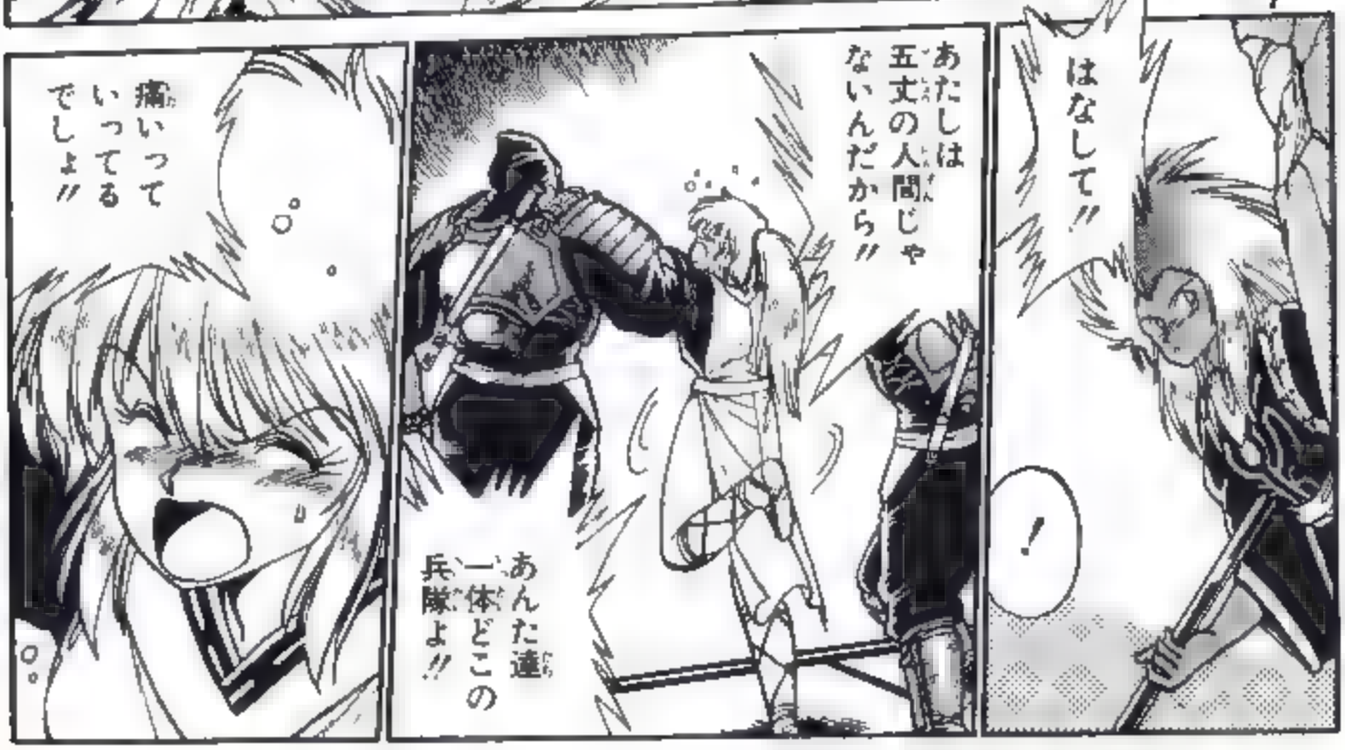
ぐわっ!!
くそったれ!
ゴチャゴチャ
でてきやがって
うっとおしいぜ!!
ぎゃあきゃあ
うるさいね
舌かむよ!
バカ!!

ちくしょう
派手に
やってくれた
な…!!
このおっ!!

ヒュン!!
ヒュン!!
コマンドか!?

ガリ!!

ゲホ
ゲホ
ライのアホが〜!
うちんこと
放っといて
行きやがって
〜〜


はなして!!
!
あたしは
五丈の人間じゃ
ないんだから!!
あんた達
一体どこの
兵隊よ!!
痛いって
いってる
でしょ!!

!!
あ…
あんたを
助けたんと
ちゃうで
うちは
敵兵が城内に
侵入しよったから
殺ったんや
おらっ
さっさと元の牢に
もどりな
引っこんどかんと
知らへんで
バカいいなさいよ
あたしは
こんな城と心中は
ごめんですからね！

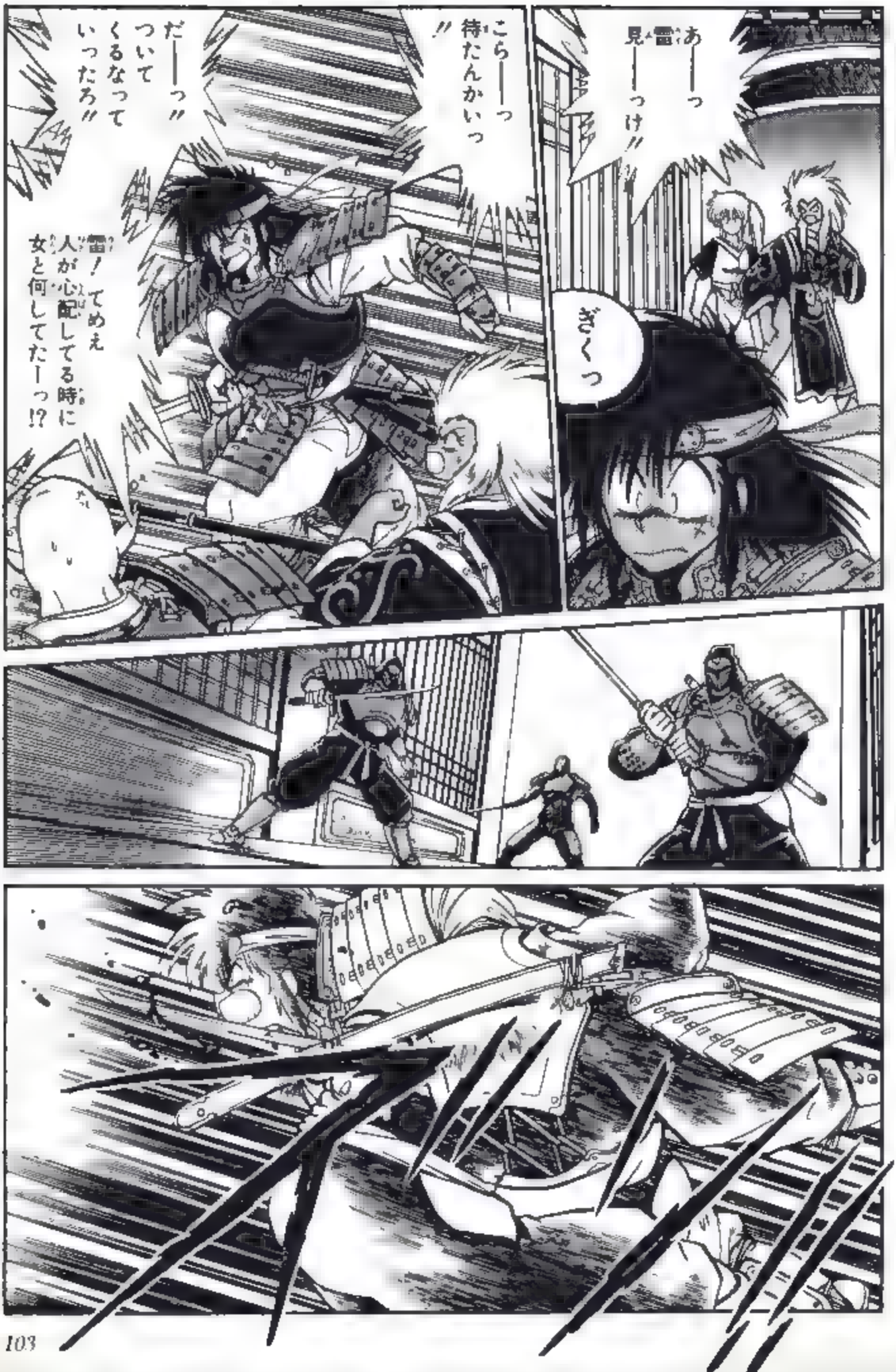
ここは戦場やで
弾当ったら
痛いで！
あたしは
これでも
武家の娘！
おーっ
ようゆうたな〃
見せて
もらおうや
ないか〃
あんたこそ
口だけじゃ
ないの！

てえそいっ!!
ん?
おっ!!
てめえっ!!
おまえか!!
まだ
生きてたとは
やるじゃないの

さっきは よくもやって くれたな
利子つけて 返すぜ！
やめんか 二人共ー！
しゃらくせいっ このガキがぁっ!!
ボーヤ！ ここはあたし達に まかせて あんたは お館様の 所へ!!
だ、だれが ボーヤだ!!
こいつらの 目的は お館様だ！
コマンド 相手じゃ 護衛だけでは 防げん！ 行け!!
その前に ボ、ボーヤって のを 取りけせ!! くそっ!!
ふん あたしから 見たら あんたは ボーヤだよ
グズグズ 言ってないで 行け!!

ちくしょう
後で
取り消させて
やる!!
腕ずく
でもな!!
はん
腕ずくときたね
ちょっと
待ていっ!
てめえに
手柄取られて
たまるか!!
あんたは
だめ!
手かげん
知らんから
お館様も
あぶないだろ
くそっ
えらいことに
なっちまったぞ
雷どころじゃ
ねーぜ
雷
兄〜〜〜っ!!
どけ!
どけ!

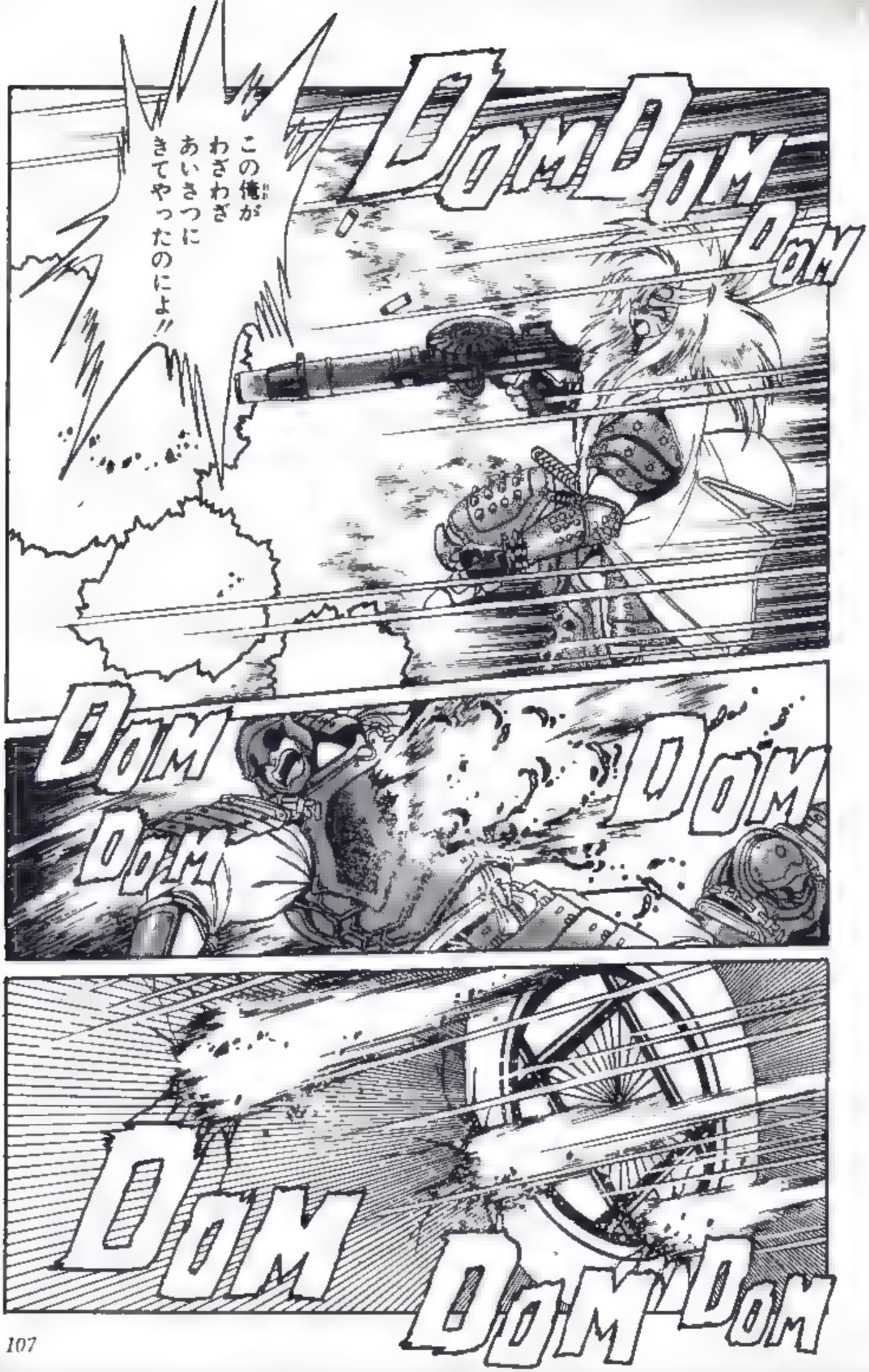
どけ
どけ
どけ——っ!!
雷じゃねーか!?
雷兄——っ!!
おう!
雲海に
太助じゃ
ねーか!
どーして
ここに?
おうじゃ
ねえ!!
またムチャ
やったそう
だな!!
おまえって
奴は
どーして
そう
単細胞
なんだよ!!
今は
それどころじゃ
ねえって!!
どこ
行くんだよ
お館様の
とこ!


あ――っ
雷見――っけ〃
ぎくっ
こら――っ
待たんかいっ
〃
だ――っ〃
ついて
くるなって
いったろ〃
雷！てめえ
人が心配してる時に
女と何してたーっ!?

外城の友軍は
どうした！
本丸の城兵
だけでは
守りきれんぞ！
そ…それが
本丸に向かう
連絡を
全て破壊
されまして
孤立か
自分の城で
孤立とはな
かなり
用意周到な
連中だな
一体
どこの軍勢だ…！！

!!!
捜したぜ
比紀弾正…！
敵兵だ!!
出あえ!!
出あえ!!
お館様を
守れ!!

北天の雄ともあろうお方がこんな奥に引っ込んでるとは
自ら剣を持つ気はないのかな？
ええ？


この俺がわざわざあいさつにきてやったのによ!!
DOM DOM DOM
DOM DOM DOM
DOM DOM DOM DOM

しろ

父上！
お お 朧
姫さんは 下がってろよ!!
ちっ

……
……
お館様！
まあいい
今日のところは
引きあげようか

あいさつに来たのだろう 名を名乗ってから帰れ
智の国 城主 独眼竜正宗！
独眼竜正宗…
てめえらが南天に侵攻する前に言っとくぜ！
ただで俺の国を通ろうと思うなよ！
智の国の通行税はとびきり高いぜ〃

それでも
かまわんのなら
いつでも来い！
俺達南天の
諸国が
手ぐすね引いて
まってるからな…〃
なんだと!!
そうや
殺ったれ
雷〃
かまうな
しかし
智の国の
独眼竜よ…
おまえ達の
歓迎を
楽しみに
してるぞ
ぐー。
待っておれ！
すぐに
行ってやる！

わしは
全銀河を統一
する!!

銀河統一か

やってくれたな
智の独眼竜正宗か…

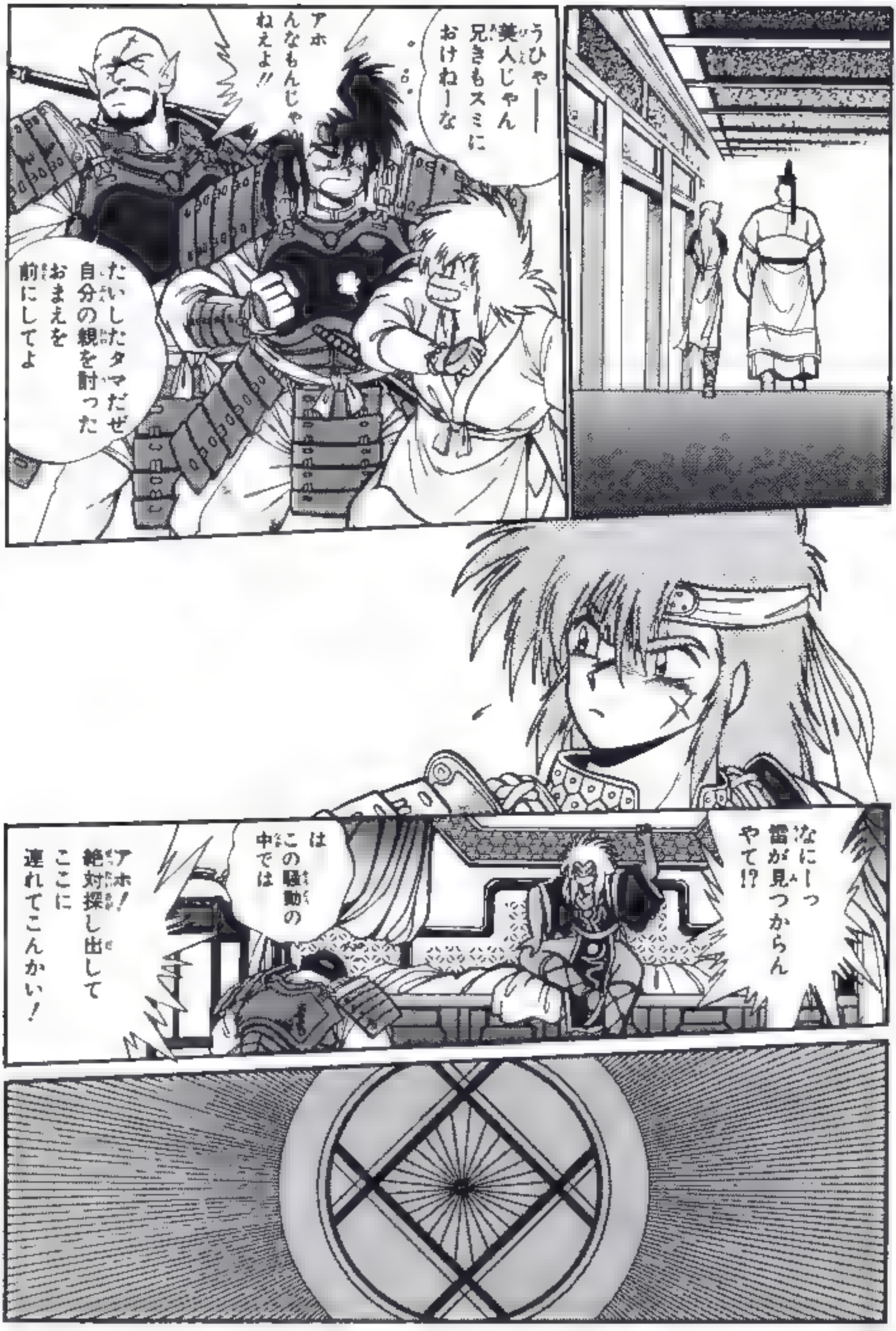
おっかねー
女だったねー
隻眼でさー
まあな
一国一城の主ともなりゃあ
あんなもんかもな
南天にはあーいう連中がウヨウヨしてんのさ！
ちくしょ～～～
腕が鳴るぜ！
あいかわらず血の気だけは多いな
あた!!
なんだよ雲海！
おまえのバカさかげんにはいいかげんあいそがつきたぜ
その無鉄砲ぶりは戦の時だけにしてくれよな！
ギロンチョ!!
わかったよ悪かったって!!

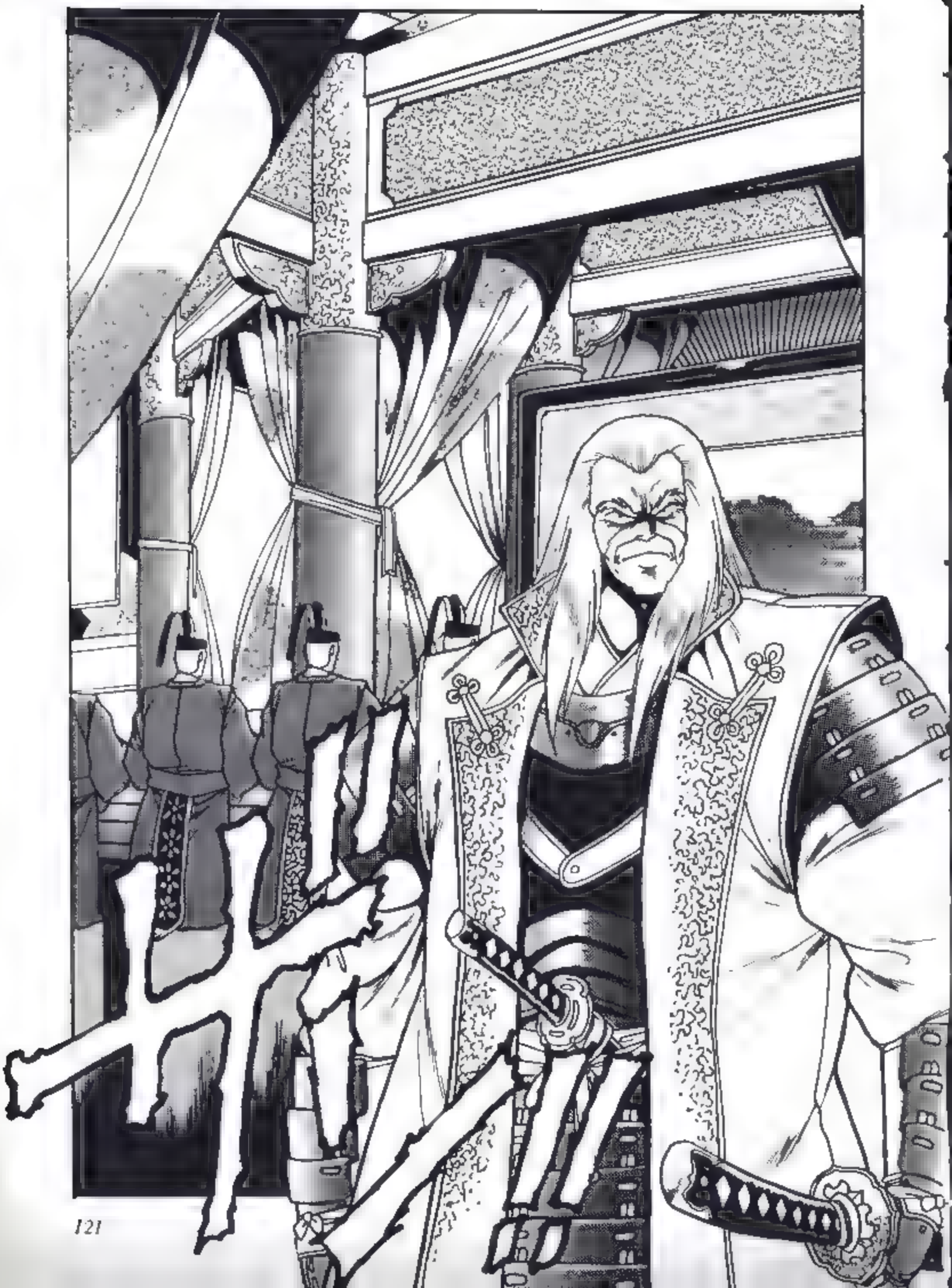
お手柄だったようだねボウヤ
ムヒョ
そのボウヤってのをやめろっていってるだろーっ!!
南天侵攻の時は期待できそうだね
え?
次の戦で示してみろよボウヤじゃないってことをな!
楽しみにしてるよ!
けっ!いわれるまでもねーや!
見てろよ!!

失礼だが
竜我雷どのか？
ん…
ああ
そうだけど
あんたは？
文官の
張州でござる
実はお客人が
あなたにぜひ
お会いしたいとの
ことで。
俺に～～～？
だれが？
参られよ
紫紋姫どの
姫？
あんた…
たしか
お館様の
ところにいた
あなたが討った
阿曽主禅公の
一人娘
紫紋姫でござる

主禅公の？
傷ついた
あなたを
介抱なさって
おりましたよ
あなたに
一つだけ
聞きたいの…
父は…
ギュッ
父は
立派だった？
ああ…
あっぱれな
最期だった

そう…
ありがとう…
じゃあ
俺は
これで
雷！
まだ
なにか？
ううん…
体に気をつけて…
武運を祈ってます
え…？
ああ
どうも…
俺…
覚えが
ないけど
介抱して
くれて…
ありがとう
…
あの時の
あなた
立派だったわ
あの心意気を
忘れないでね


うひゃ――
美人じゃん
兄きもスミに
おけねーな
アホ
んなもんじゃ
ねえよ!!
たいしたタマだぜ
自分の親を討った
おまえを
前にしてよ
なにしっ
鬨が見つからん
やて!?
は
この騒動の
中では
アホ!
絶対探し出して
ここに
連れてこんかい!



昨夜の夜襲は
わしに対しての
挑戦状に
他ならん！
ならば
これを受けて
立つつもりだ
全銀河平定の
ためには
南天の制圧は
避けて通れん
南天のやつらは
神聖帝国の代から
道のりの遠さを
たのみとして
長いこと服従
しなかった
ここで
奴らが好き
ように暴れれば
わしの天下の
威信も地に墜ち
銀河は麻の
ごとく乱れよう
全軍を
あげて
叩きつぶす！
二度と
兵を起こせぬよう
徹底的に
皆殺しに
するのだ！

ただちに戦の準備をととのえよ！
七日後に出立する！
七日後…!!
お館様お待ちくだされ！
なんだ呂斎いってみろ
はっ
殿のお怒りはごもっともですしかしここはひとつ慎重に…
先の佐倉攻めにおいて我が方の損害も多く兵も疲れきっておりますこのような状態で地の利が不明な南天に侵攻するは危険であります
なにとぞ御再考を…
せめて一月後に…
甘い!!

一月も待てだと!?
城を闇討ちされて一月後にようやく腰を上げろというのか!?
確かに兵も疲れていようが士気の高さでそれはカバーできるはずだ
出陣が遅れれば奴らの防備も強化される急がねばならん!
昨夜の夜襲は挑発ですぞ!
必ずやつらはワナをもって待ちかまえておる!
ワナならワナでいいではないか
ワナごと粉砕すればいい!
やつらの軍事力はあなどれん!現に敵国の首都に堂々と…
あれは軍事的劣勢をかくすためのこけおどしだ!
呂斎もうよい!
殿!!

南天侵攻は予定通り行う！
以後は作戦の詳細についてのみ討議せよ！
殿！なにとぞ御再考を…!!
くどい！
座れ
は…
ど
玄偉！南天の軍事状況を報告せよ

連中同士の協力関係はどうなっておる
智以外の4国はどう出る？
それについては私が御報告いたします
五国は常に"我こそ南天の王"と抗争を繰り広げ特に智と明はほんの3月前にも大規模な戦をしている始末
所詮は野盗と海賊ごろつきの集まりだ
しかし鳳鳴殿ことわが軍との戦が近づけばやつらもそうはいってられないのでは？
はっはっは にわか仕込みの同盟が何になる
我が身かわいさで自然消滅だ
なるほど…御賢察お見事ですな
……
またやってる

お館様！
南天侵攻の
先陣は
ぜひとも
この銀羅に！
いや
この狼刃に
御命じを〃
やかましい
女の出る幕じゃ
ねえ
引っこんでろ！
あんたこそっ！
引っこんでな
戦とケンカは
違うんだよ
毛むくじゃら！
お館様
独眼竜も
あたしと同じ
女将
一度手合わせ
願いたいと
思います

けっ
だれもおめえを
女だと思っちゃ
いねえよ
ならけっこう
女だからといって
あんたに反対される
理由もなくなるしな
な
なんだとお!!
やめろ
鉄羅
おまえの
負けだ
よかろう
やってみるが
よい
狼刃!
貴様の
第三軍を
先陣とし
鉄羅はその
後詰めだ
ご
後詰め~~~
この俺が狼刃の~~~
!!
鉄羅
もう決まったことだよ!
しっかりついてきな

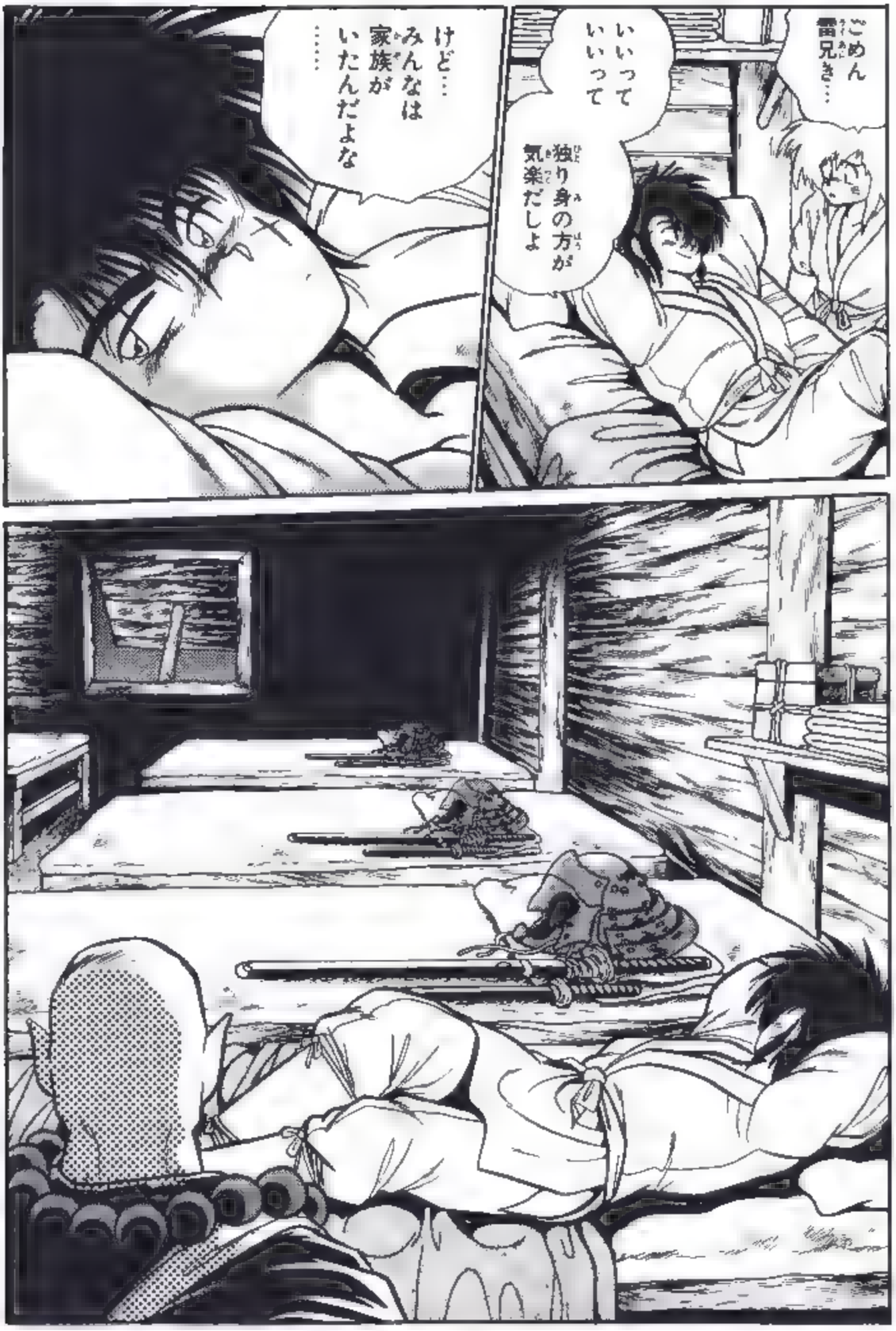
我らは
玄偉・鳳鳴を
率いて
続こう
は
お館様の
御期待に
そうよう全力を
尽くします
して
お館様
先陣を
引き受ける際に
一つお願いがあります
うん
なんじゃ？

へえ〜そいつは玉の輿ってやつだな
まあそういうやつだけどよ
これがまたとんでもねえジャジャ馬でな
御辞退願うぜホント
第一俺は女なんかいらねえよ
うっとおしいだけだしどうあつかっていいのかわかんねえもんな
そりゃおまえの口説き方が悪いんだよ
…ったく慰安婦んとこに連れてったら大ゲンカしてくるしどーしようもねえな
うるせーな!
けどあの紫紋姫はまんざらじゃなかったみたいだよ
太助ーっ!!

きっき姫さんに
「体に気をつけて」
っていわれたら
赤くなっただろ！
う……！
俺
見てたぞ
見てたぞーっ!!
バ バカ野郎
あれはだな…
まーった
赤くなった
うんうん
雷もようやく
女に
目ざめたか
ちがうっ
ちゅーにっ!!
この野郎！
太助
ちょっと
待て!!
きゃあ
きゃあ
てい！

おいっ
なんか
いってるぞ
玄偉将軍だ
そのまま
きけ！
諸君らも
知っておろうが
昨夜の夜襲は
南天の頭目と
見なされる
智の仕業である
我が国の
全銀河統一に
はむかう者は
何人で
あろうとも
粉砕せねば
ならん！
七日後
全軍をもって
南天に侵攻する
兵士諸君は
戦に備え
身辺を整理
充分英気を
養うこと
以上だ！

また戦だってさ
しかも一週間後とは急な話だなったく
俺は別に構わねえけどな
俺達は戦をするために田舎からでてきたんだしよ
田舎はどーなってるかなあ
よせよ田舎の話は！
だって田舎には父ちゃんも母ちゃんもいるしさ
今年も凶作かな～
おいっ
あ…


ごめん
雷兄き…
いいって
いいって
独り身の方が
気楽だしよ
けど…
みんなは
家族が
いたんだよな
……

華玉!!
雷見いへんかったか!?
雷を!!
!
ライと申しますと?
雷や!
うちが父上からもろうた男や
知らんのならええわい!
こっちや!
クスクス
華玉姉さまーっ!

お姉さまー！
あら 関々じゃ ないの いつお城へ ？
たった今！ 道師様も 一緒に!!
元気そうじゃな 華玉よ
道師！
ったく番兵共め なかなかわしを 通さんでの！
たんまり 説教してやったわ 2・3日足腰 立たんじゃろうて
仕方が ありませんわ 昨晩の戦いで 城中がピリピリ していますから
それにしても 登城なさるとは お珍らしい
うむ おまえさんも がんばっておる ようじゃな 玄偉から感謝の 書状がようくるわ

大きな戦になるようじゃな
はい
しかし挑発をうけたからというてすぐ戦とは…
弾正公もただのお人のようじゃな
道師！
そろそろ今回の登城のおもむきお話し願えませんか？
は？わしはただの陣中見舞いじゃよ
どうですか道師は城嫌いで通ったお方何か腹に一物あるのでは？
気が乱れておる
護摩壇を用意してくれ
おぬしの力を借りたい

竜我雷！
いるか!!
ふえ・・
竜我雷は
俺だけど・・
ただちに
第三軍司令部へ
出頭しろ！
軍団
司令部へ
？
わっ
兄き！
お館様を
守ったから
ごほうびが
でるんじゃないの!?
けど
こんな夜ふけに
か～～～？
いいから
早く行っといでよ
!!
急げ！
モタモタ
するな!!

竜我雷をつれてまいりました!
こらっ頭を下げろ!!狼刃将軍閣下だぞ!!
いてて何しやがんだこの!!
ふふ相変わらずだなボウヤ
いや竜我雷
遠慮するなこっちへきな!
他の者は下がれ!

何の用だよ……！
まあ座りなよ 酒は何がいい？ まさか飲めないっていうんじゃないだろうな
ガキあつかいするな!!
どんどんもってきやがれってんだ！
グビッ
!!!
な…なんだこりゃ～～～っ!!
高級指揮官用のラム酒だ精力剤ってとこだな
おまえも今日からそれを飲むようになる
ん？ どーいうことだよ？

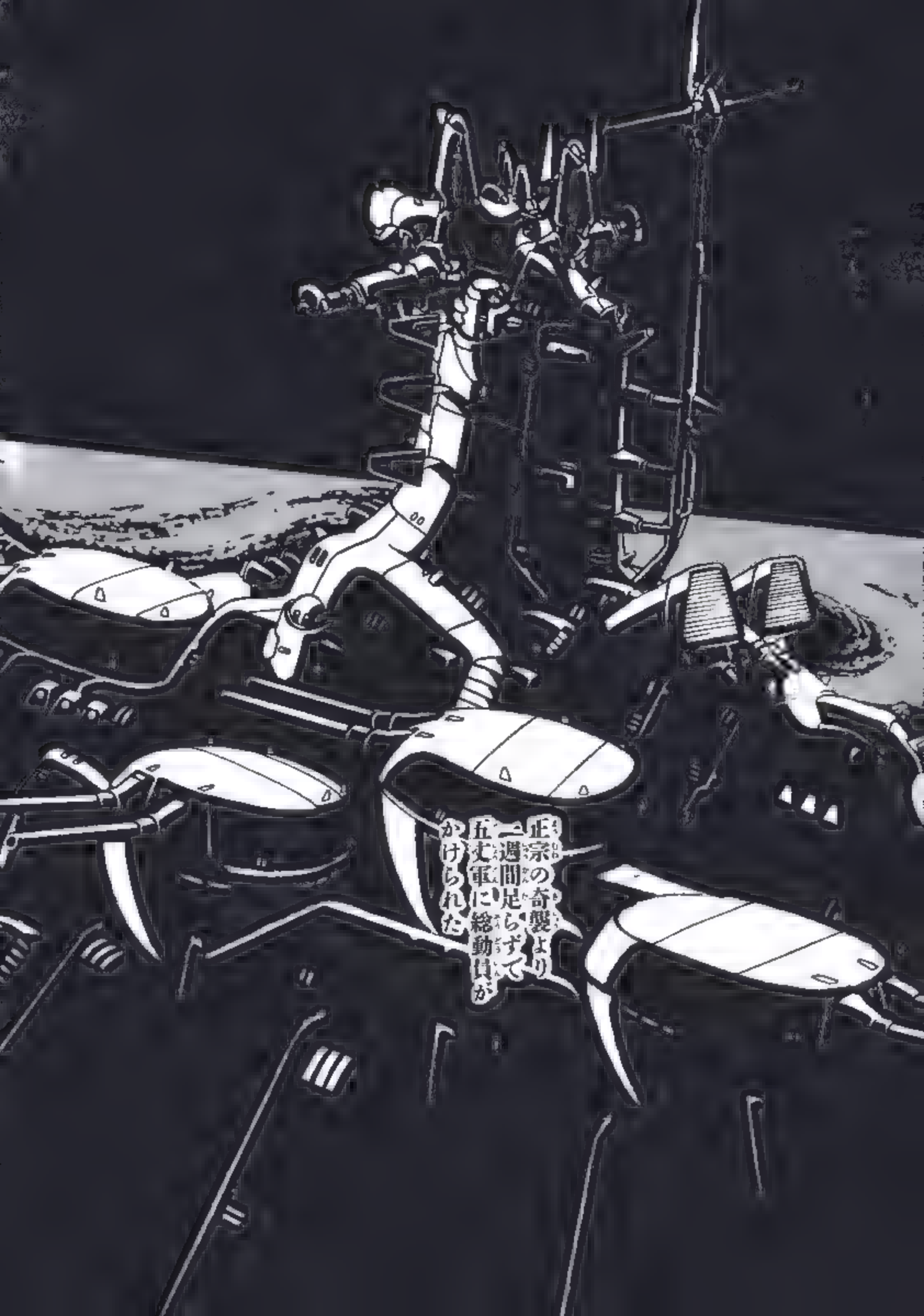
師団を指揮したくはないか？
第三軍には軍直属の重機甲師団があるそいつをまかせる
な…なんだって!!
そいつを使ってあたし達の先鋒をやれ！
…
どうした？おじけずいたか！
へっ 師団長はともかく女のあんたの部下になるのはごめんだな…
俺は…!!

あたしを
女だと思うなよ…！
ええ
ボウヤ…！
先鋒をまかした
からには必ず
敵陣を突破しろ！
もし少しでも
モタついて
やがったら
殺すぞ!!

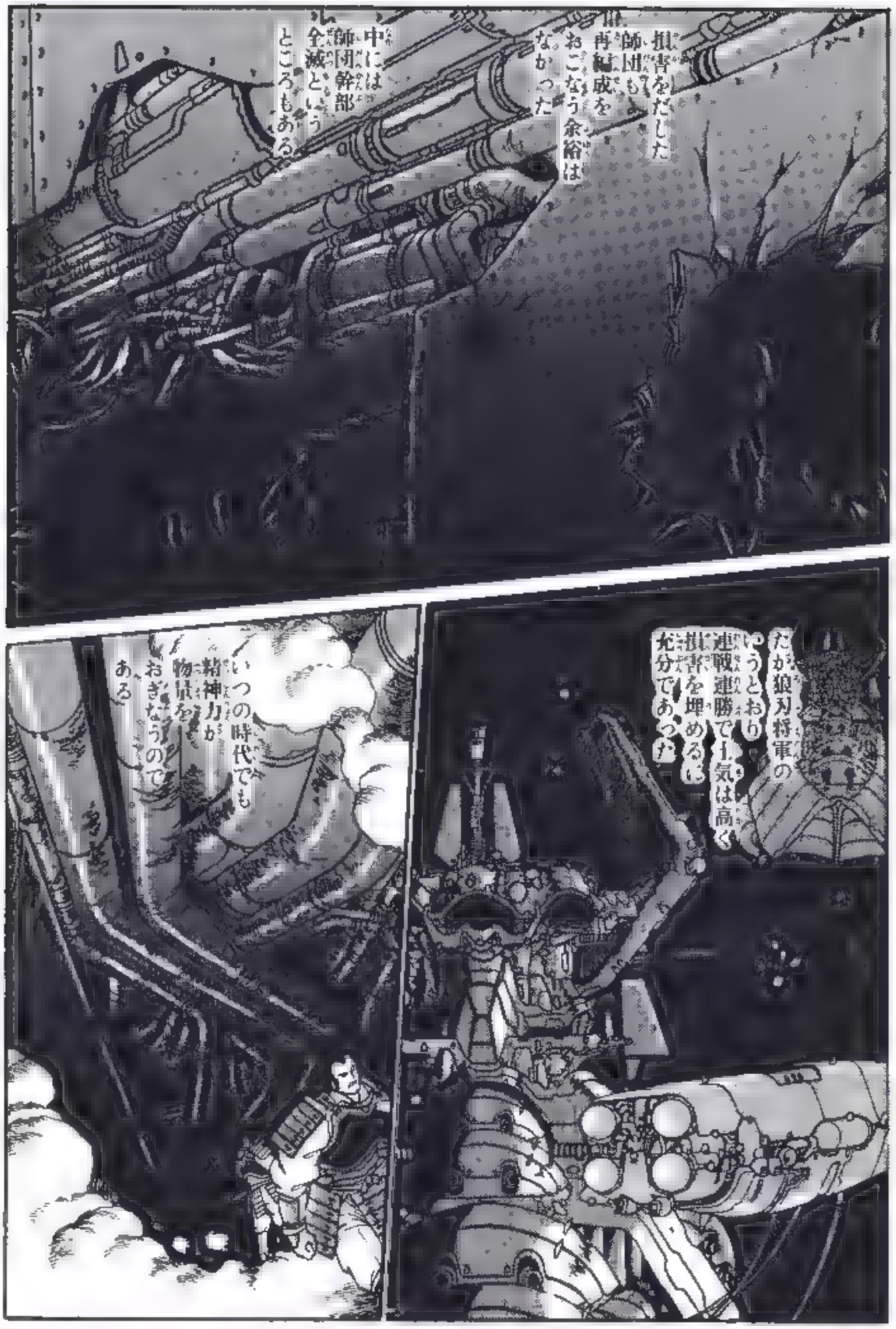
!!
よっ
へっ
なめんなよ
そんな
コケおどしで
ビビる俺じゃ
ねーぜ
やれるな……
あったり
めえよ!!

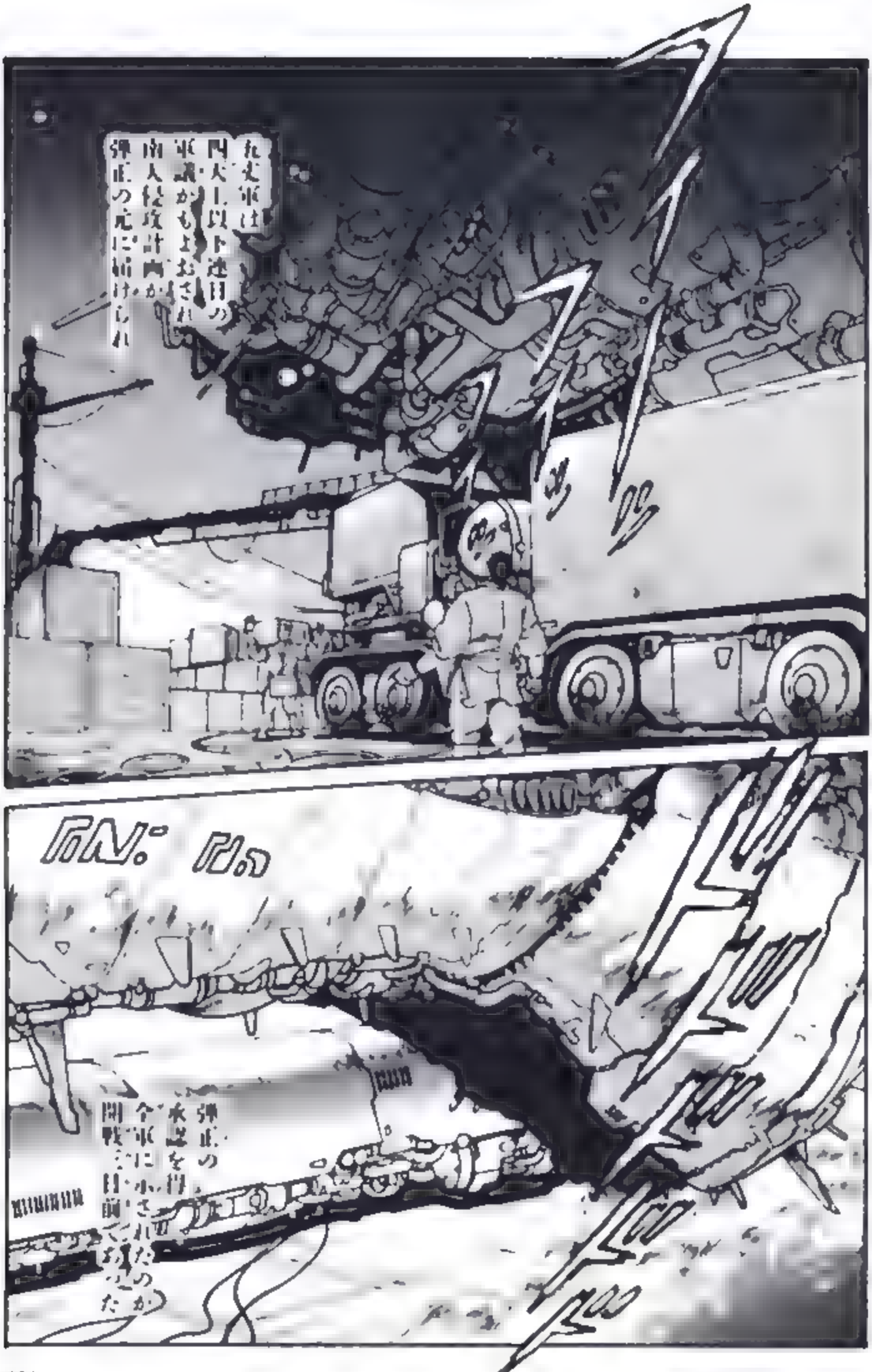
へっ
上等じゃねーか!!
俺はいつか
師団とやらを
動かしたかったんだ!
ありがたく
その重機甲師団
とやらを
いただくぜ!!

あんたらこそ
モタモタしてんじゃ
ねーぞ
ちゃんとついてこいよ!!


正宗の奇襲より
一週間足らずで
五丈軍に総動員が
かけられた

艦隊は
損害の有無に
かかわらず
集結し
修復作業と
燃料弾薬の補給が
突貫作業で
進められた
多くの艦が
作業を続けながら
進軍することに
なろう

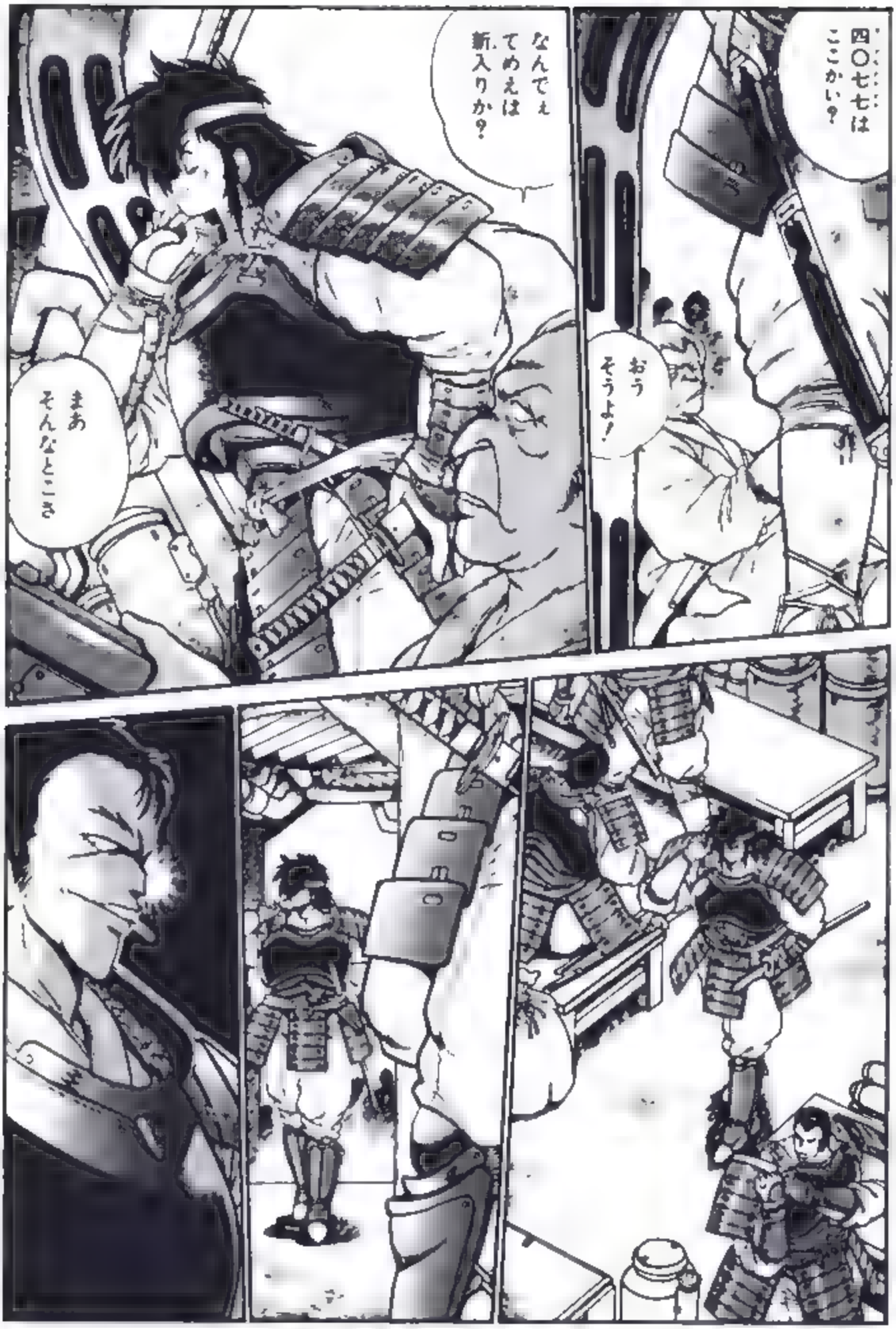

損害をだした師団も再編成をおこなう余裕はなかった
中には師団幹部全滅というところもある
たか狼刃将軍のいうとおり連戦連勝で士気は高く損害を埋めるに充分であった
いつの時代でも精神力が物量をおぎなうのである


九丈軍は
四大王以下連日の
軍議がもよおされ
南大侵攻計画が
弾正の元に届けられ
FN. FN
弾正の
承認を得
今軍に小されたのか
開戦は目前であろうた

と共予定期間は
ちょうど一ケ月
総兵力四師半団
国力の
戦闘参加兵力
におよぶ
有史以来
大艦隊である

おい
聞いたかよ
なにを？
なにって
新師団長の
ことだよ
副団長
孟関様が
昇格したんじゃ
ねえのか？
それがよ
狼刃将軍の
鶴の一声で
竜我雷とか
いうガキが
昇格したって
話だぜ
竜我雷？
聞いたことも
ねえ名だな
ほら
この前の戦で
阿曹主神を討った
奴さ
お館様の前で
並いる武将相手に
大ゲンカ
したそうな
けと
それじゃ
副団長は
納得しねえぜ

上官殺しの
孟閻がガキの
お守じゃ
話に
ならねえな
ガキを
師団長に
するたぁ
世も末だなあ
ここって
ガラの悪い
連中ばっかり
だねー
まあな
この
独立四〇七七
重機甲師団って
いやあ常に
軍の攻城槌を
とった部隊だ
並の連中じゃ
ねーだろな
けど
すげーじゃん
兄きその師団の
ボスだぜ
そいつは
どうかな
形だけは
師団長だが
……
え?
歴戦の強者
ぞろいだけに
ライを自分達の
ボスと認めるか
どうかって
ことだよ
ただでさえ
その昇進に反感を
もつ連中だって
いるしな


四〇七七はここかい？
おうそうよ！
なんでぇてめえは新入りか？
まあそんなとこさ

うわっ!!
ははは
ガキがこんなところ
ウロウロしてんじゃ
ねーよ
ガキはさっさと
帰って
ママのおっぱい
すわせて
もらいな!
!!
そーかよ…!!

はん！
これて
おあいこ
だぜ
ま…
まちやがれ
このガキ〃
ふざけ
やがって〜っ〃

ケンカだ
ケンカだ!!
おもしれえ
俺も
混ぜてくれ!!
雲海!
ケンカだって!!
放っとけよ
戦前には
ケンカは
つきものだ
でも
あれ
ライ兄き
だよ…
あのバカ…
またかよ!!

このやろ
もう
容赦しねえっ！
ぶち殺してやる
!!
へっ！
いくらでも
かかってきやがれ
！
やめねえか!!

しかし副団長…！こいつが…
やめろといってんだよ師団長だぞそのお方は〃
し…師団長…!?こ…こいつが～
へへ…そーいうあんたは？
第四〇七七重機甲師団の留守を預かっていた副団長の孟閑です
俺竜我雷！雷でいいぜ〃

俺は認めねえぜ！
こいつが師団長なんてよ!!
なあそうだろみんな！
こんなガキに俺達命預けんのかよ!!

副団長！
あんたが指揮
取ってくれよ
！
あんたなら
安心できらぁ
！
やめねえか!!
狼刃将軍の
お決めに
なったことだ！
軽々しく
いうことしゃ
ねえ！
けっ
みそこなったぜ
副団長！
上官殺しが
泣くぜぇ
…ったくよぉ！
あれは
師団長が
戦闘を放棄した
からだ！
そのガキだって
同じだぜ
戦闘が始まったら
逃げだすに
決まってら！

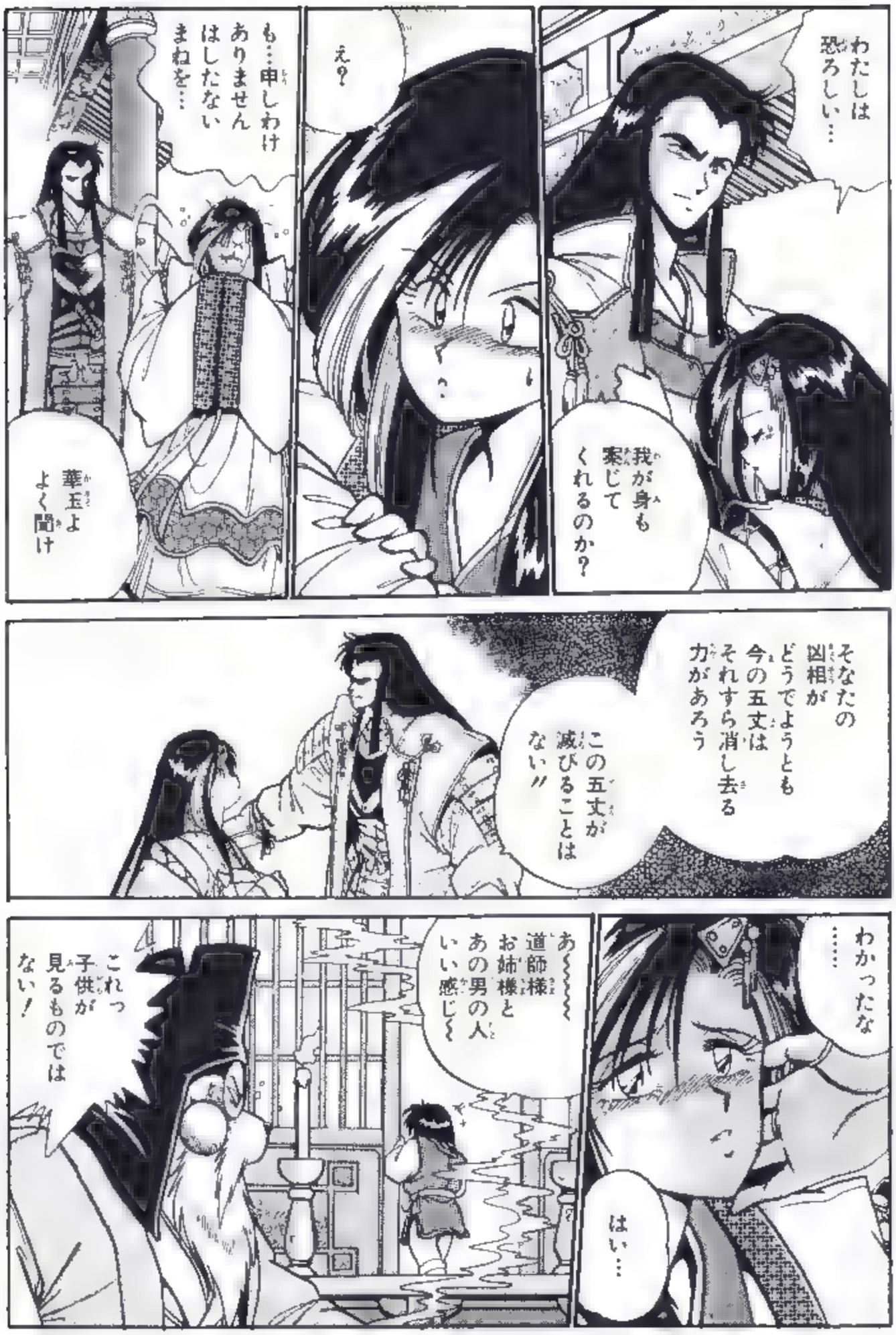
あわわ
てめえらいつからそんな腰抜けになった!!
指揮官が代わろうと戦するのはてめえ自身だろーが!
それをなんたヒクつきやかってみっともねえ…!!
俺はてめえらをそんなふうに鍛えたつもりはねえぞ!!
わかったな!!
へへい
ちっなんていあんなことされちゃ俺い立場むーしゃむえかよ!

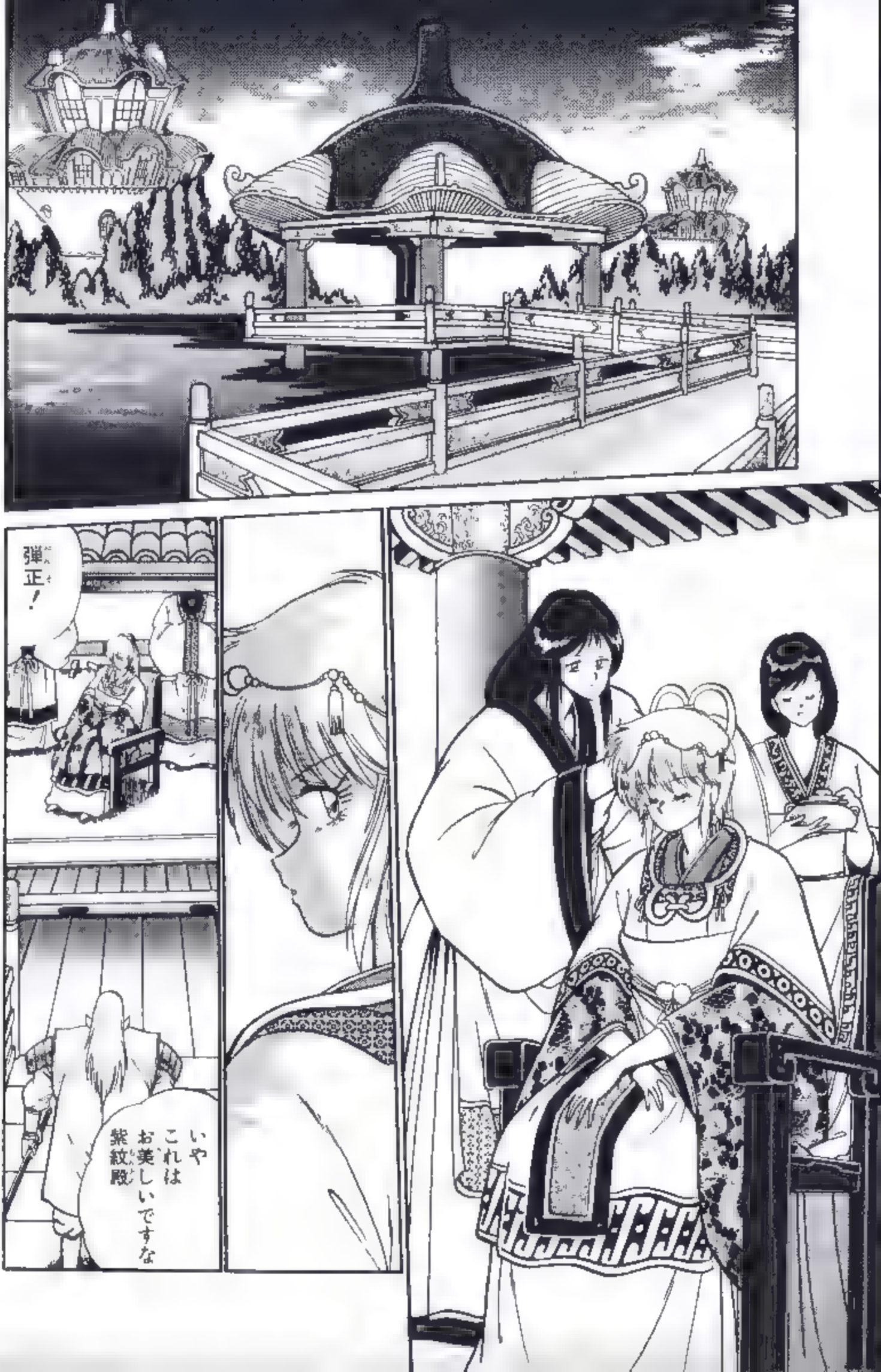
やれやれ…
あの副団長
たいした
もんだな
それにつけても
雷の奴
堂々というか
ふてぶてしいと
いうか…
ほーんと
ケンカは
お強いですな
まあな
そいつだけは
ガキん時から
敵無しよ!!
だが
腕っぷしだけじゃ
戦には
勝てませんぜ!
と…
へっ
何いって
やがんでい!
ケンカに勝てねえ
奴が
とーして戦に
勝てるんだよ!!
俺はよ
何にしても
負けるのだけは
大嫌いだ!
ケンカでも
飯の早食いでもな!
だから
戦にも
勝つ!!

玄偉将軍！
申しわけありません この先にはお入りできません！
何事だ！
はっ ただいま李張道師が護摩壇において行をおこなっておりますそれゆえに…
なに？ 李張道師が？

お姉様!
どうした 華玉
感じました… このまがまがしい 邪気を…
すでに 五丈の城を 取り囲んで います……
やはり そうか!!

急いで
お知らせ
しなくては
……!!
あ…
こら華玉
またんか!!
華玉!
あっ
将軍閣下!
どうしたのだ
そんなに
血相を変えて…
将軍!
ただちにお館様に
出陣の
取りやめを
申しでてください
なに?
この五丈国に
まがまがしい
相がでています
……
亡国の危機
です…
亡国?
この五丈が
滅びると
いうのか?
夜ごと天文を
見るにあたって
五丈の宿星は
光をひそめて
います…
それに反して
南天の凶星は
光り輝き出して
おります…

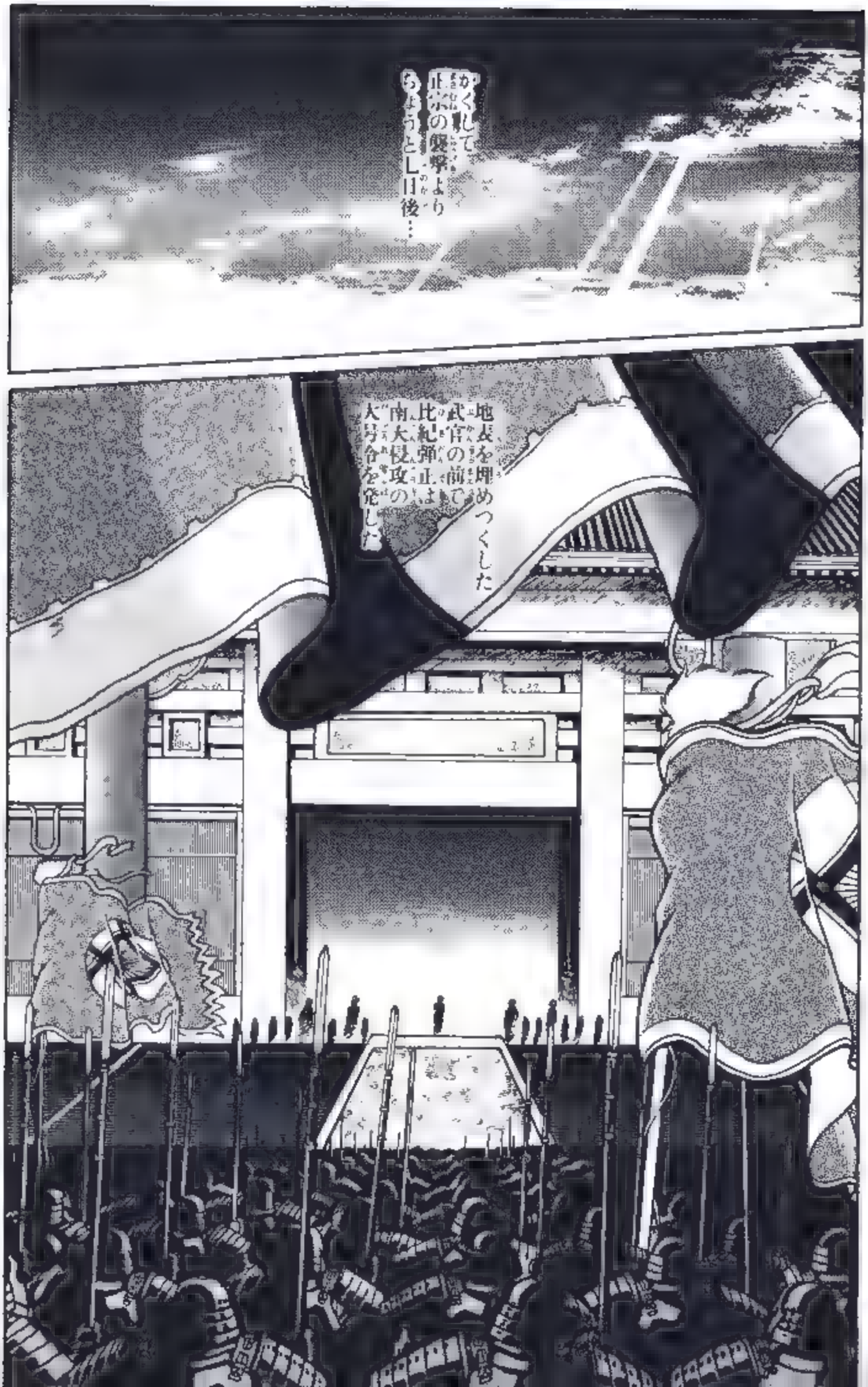

わたしは恐ろしい…
我が身も案じてくれるのか？
え？
も…申しわけありませんはしたないまねを…
華玉よよく聞け
そなたの凶相がどうでようとも今の五丈はそれすら消し去る力があろう
この五丈が滅びることはない〃
わかったな……
はい…
あ～～～～道師様お姉様とあの男の人いい感じ～
これっ子供が見るものではない！

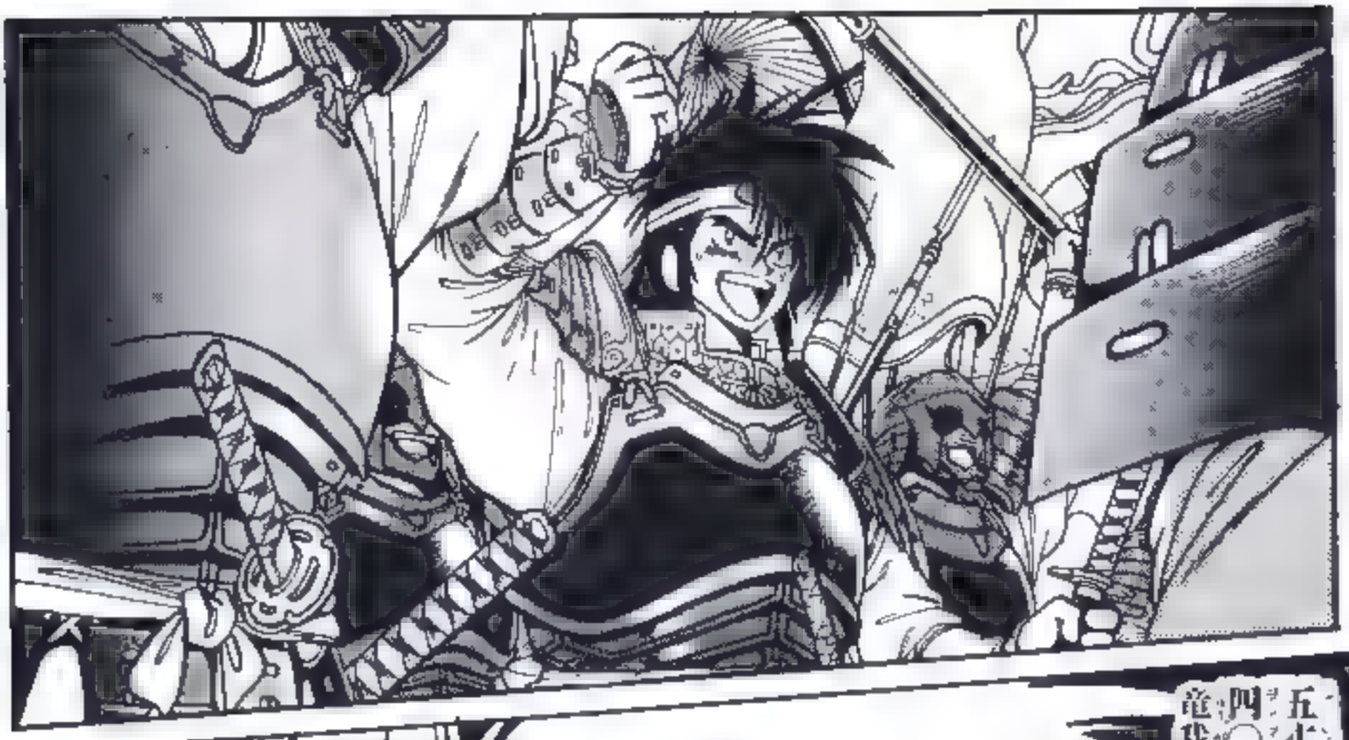

弾正！
いや
これは
お美しいですな
紫紋殿

いよいよ南天征伐でしてな
出陣の前に一度御あいさつをと思いましてな
そう…武勲を祈りますわ
戦はそう長びきますまい
帰りましたら姫君の輿入れ先も考えましょう
そのことについてお願いがあります
おおっなんでも申してくだされ
わたしの父阿曽主禅は神聖帝国による銀河統一泰平の世をと願っていました
わたしは志半ばで倒れた父の遺志を継ぎたいと思います
ほう…というと？
銀河統一の願いを託せる者…
そう…この度の戦で最も武功をたてた勇者のもとにまいりとうございます

ははは
いや笑っては
いかんな…
しかし
おもしろい方だ
しかし
相手が
一兵卒でも
かまわないのか？
ええ
お許し願えます？
よかろう…
将兵の士気も
上がりましょう
ただし
織田統一は
わしの仕事！
姫君の手を
わずらわすことは
ないでしょう
がな

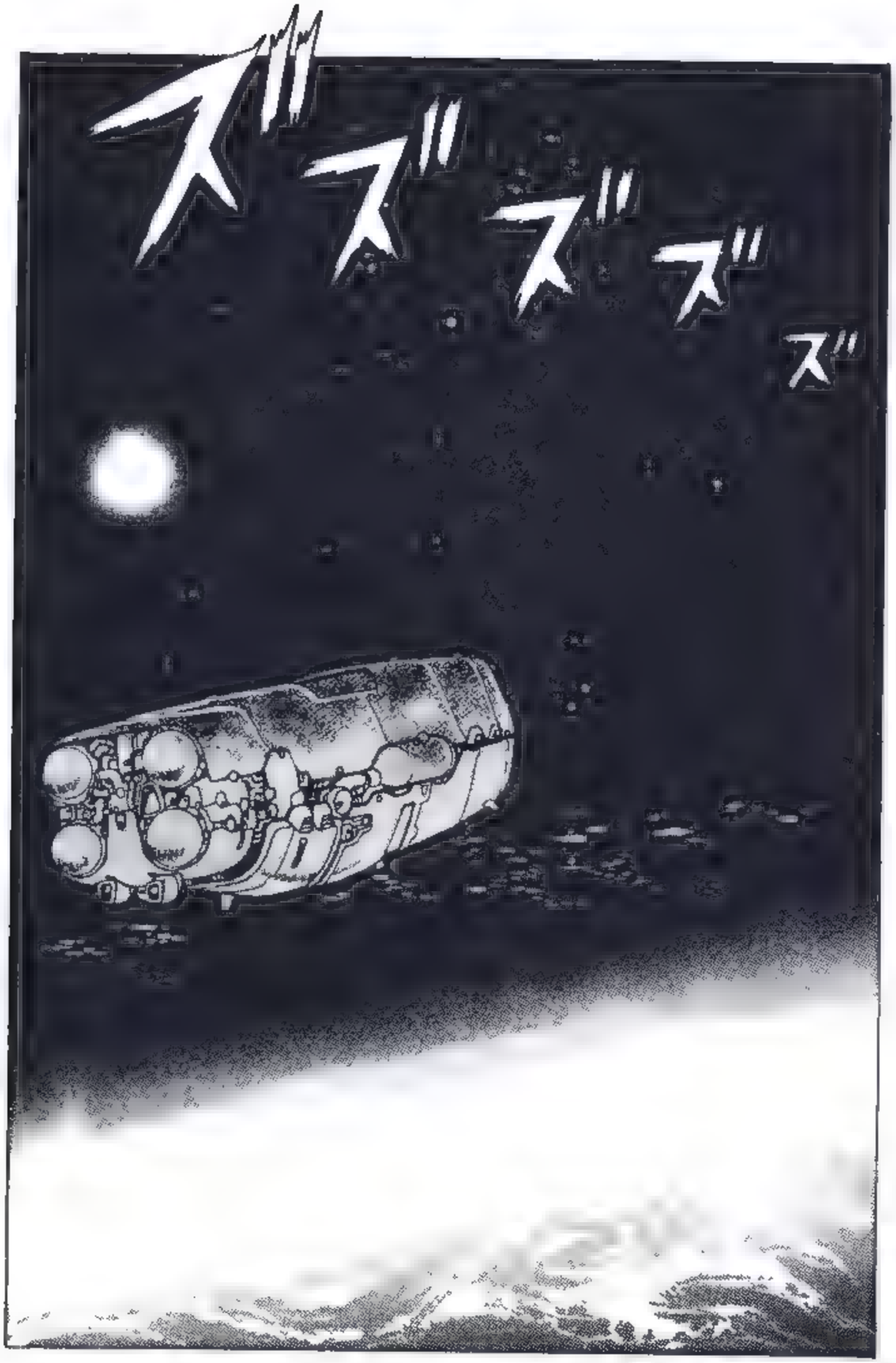
かんぱ――いっ!!
いいのかよ師団長がこんなところで酒飲んでたりしてよ
何いってんだよいつも戦の前にやってたことじゃねーか
今回はあの女将軍のせいで師団長なんかに祭り上げられたけど俺はいつも俺だよ!
雲海!
太助!
勝手に死ぬなよ!
俺たち死ぬまでず――っと一緒だぜ!!


かくして
正午の銃撃より
ちょうど1日後…
地長を埋めつくした
武官の前で
比紀弾正は
南大侵攻の
大号令を発した

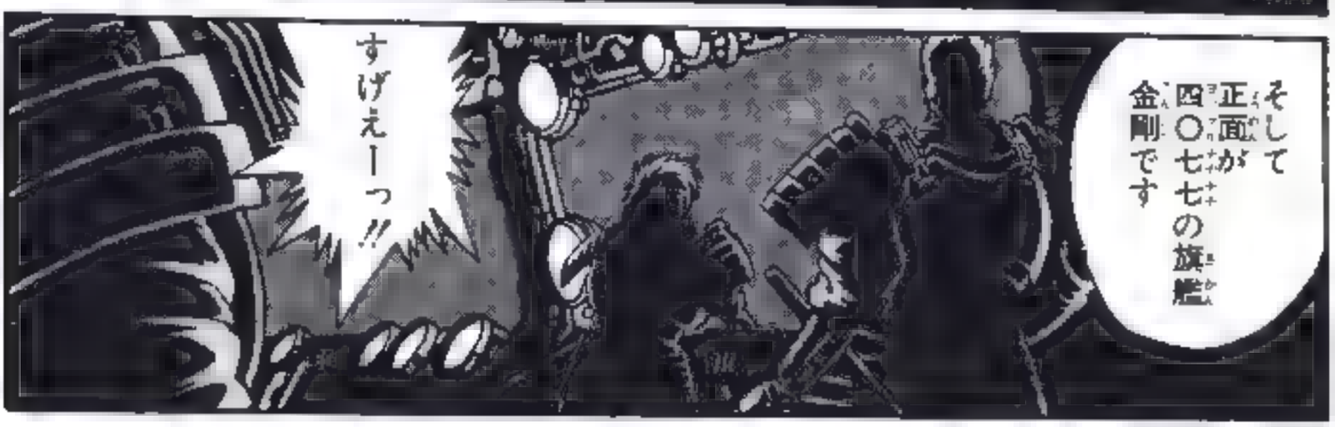


五丈第二軍団
四〇七七重機甲師団長
竜我出

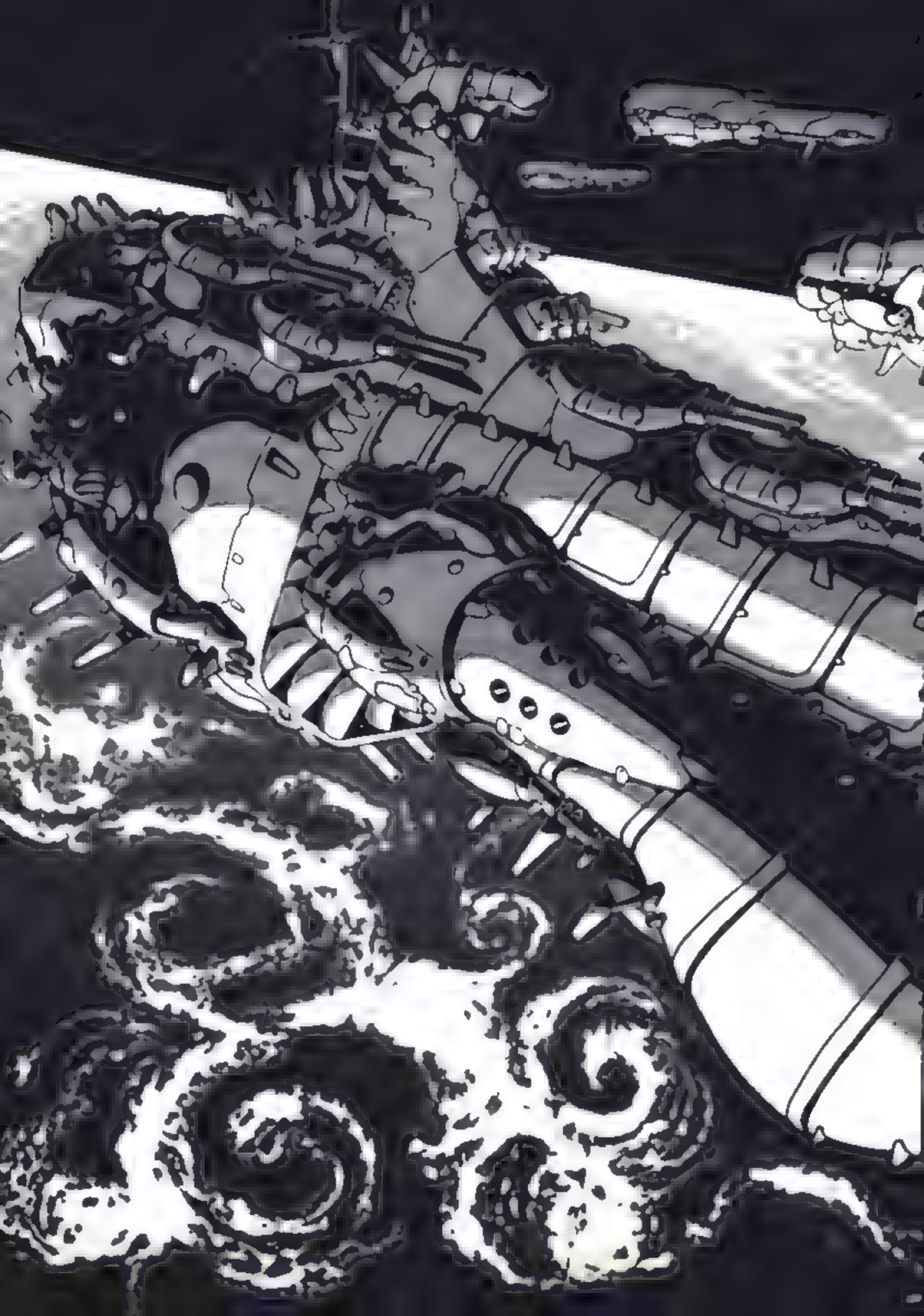
やがて
この戦により
彼の名は
敵味方知らぬ者が
いないようになる


ズ
ズ
ズ
ズ
ズ

右手に見えるのが
戦艦山城…
左奥が扶桑できぁ
さらに
向こう側に
重巡戦隊


そして
正面が
四〇七七の旗艦
金剛です
すげえーっ!!

こんなに
間近に
戦艦見るの
初めてだぜ…!
まさに
浮かべる
真金の城って
とこだな…!!



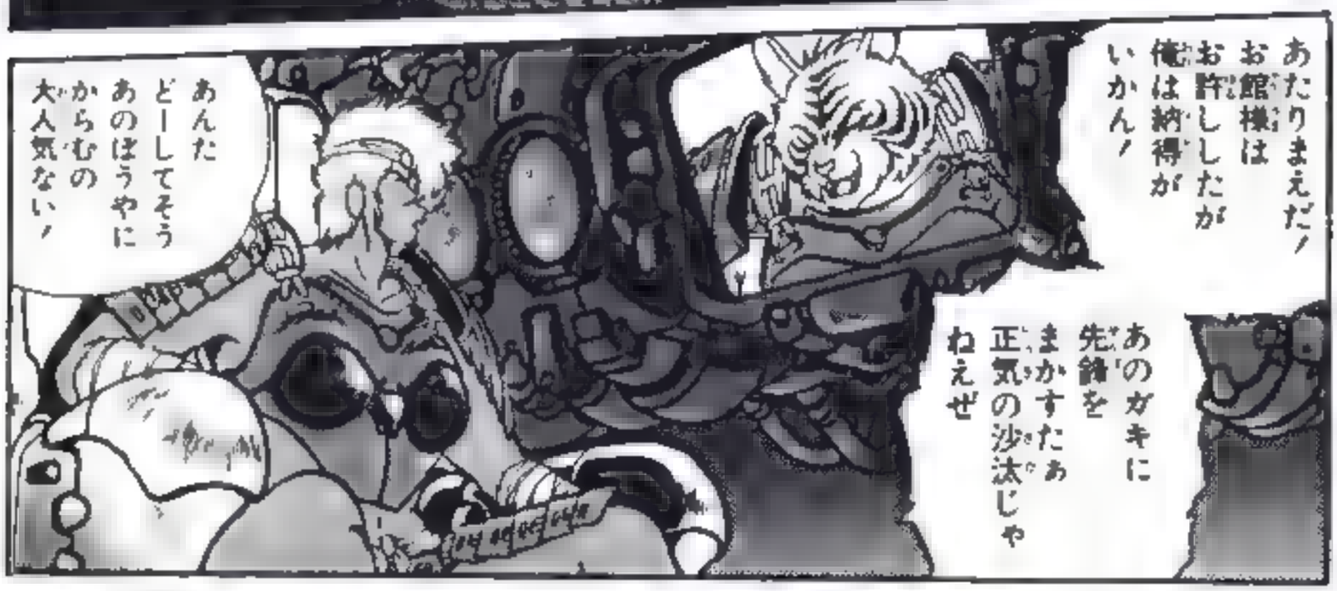
ドドド
でけえよなあ…
金剛か…
いい名じゃねーか…〃

ゴゴゴゴゴ
本艦の
戦闘艦橋です
へぇ――
こいつが戦艦の
頭ってわけか

師団長！
お――
こりゃ
なんだか
わかんねえ
機械だな
なんだ
こりゃ？
ん？
師団司令部の
スタッフを
紹介します
金剛総長
王様です
こっちが
武器総監の
楊平
情報総監の
劉徳
参謀長の
李福
砲術総監の
大神です
よろしく！
竜我雷だ
よろしく
頼むぜ！

フォッフォッ
お若いのぉ
うらやましい
かぎりですわ
おおっ
長老か
造船総監
装民
この艦の
設計者でも
ある
艦のことは
彼に聞いて
くだせぇ
フォッフォッ
この艦のことなら
ボルト一本でも
おまかせ
ください
よろしく
じいさん
ところで
雷殿は
艦隊の指揮は
初めてとか…
そうさ！
ちょっと前まで
海兵団中隊の
中隊長やってた
からな
戦艦を
動かすことに
なるとは
思わなかったぜ
まあ
歴戦の
スタッフ
ばっかりだし
なんとか
ならぁ
たのむぜ
副団長！
俺は今から
独刃将軍ん所に
いく！
大隊長以上を
集めといてくれ
……

第三軍団旗艦
定遠
まだ言ってるのかいいいかげんにしなよ 輝羅

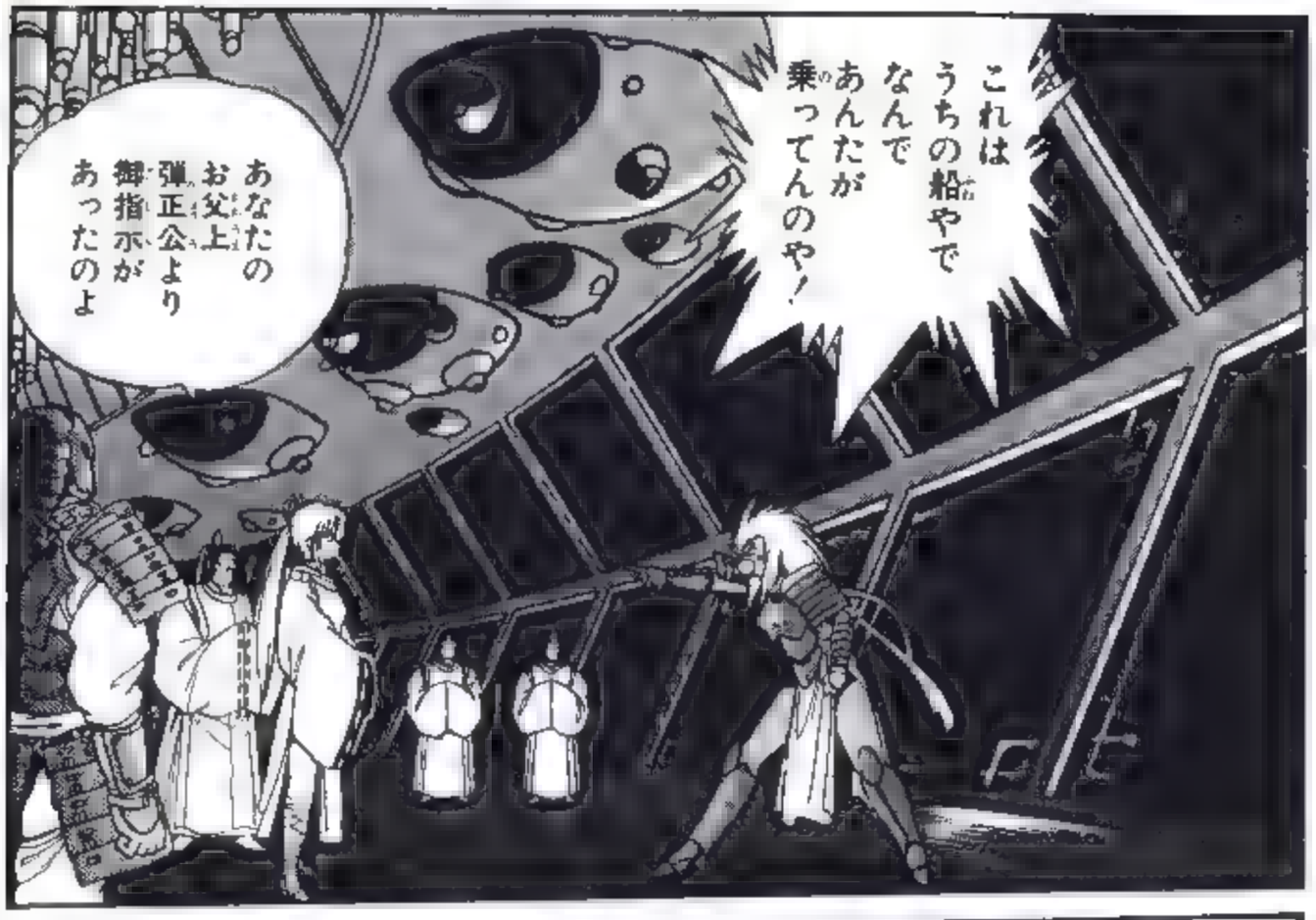

あたりまえだ！お館様はお許しになったが俺は納得がいかん！
あのガキに先鋒をまかすたぁ正気の沙汰じゃねえぜ
あんたどーしてそうあのぼうやにからむの大人気ない！

からんでんじゃねえ！先鋒がどんなに大切かおまえだってわかってんだろ！
ぼうやじゃ力不足だと？
あたりまえじゃねーか〃
たしかに師団長としての経験はないよ
個人的な手柄はあくまでもあいつの剣の力でなしえたものだしさ

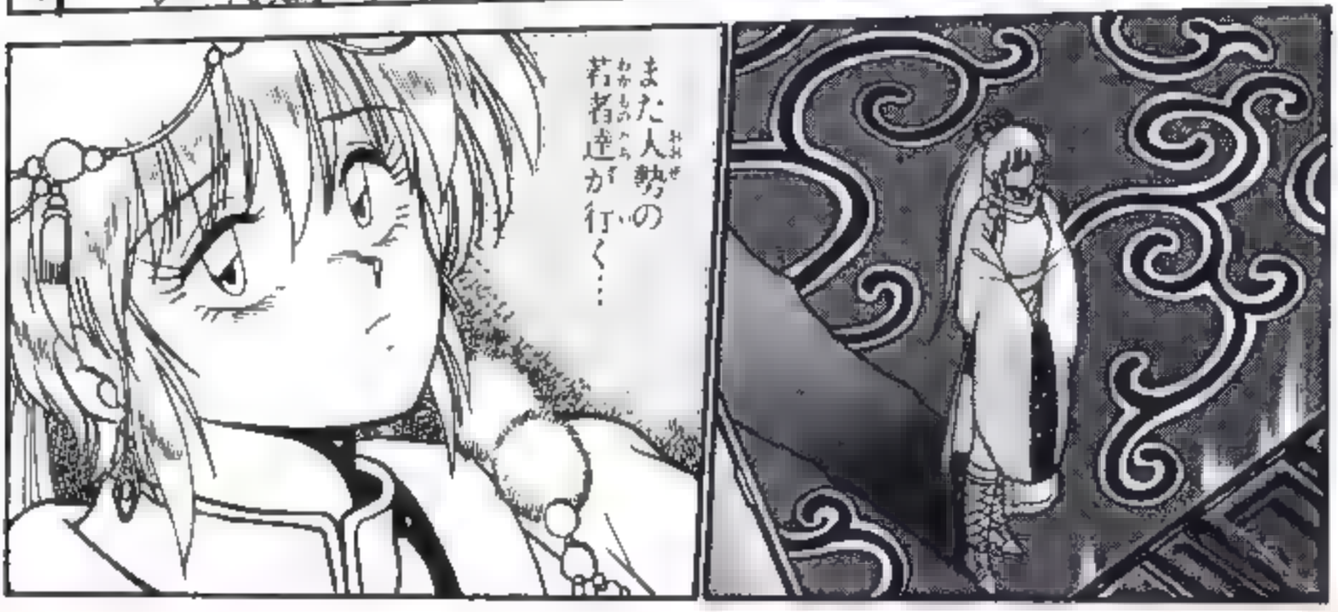
だが師団長ともなれば手柄より勝利が優先だからな
今度の戦て人の上に立つ怖さが身にしみるはずさ
そーすりゃあの男まだのびるよ
あっこらまて狼刃〃こらあっ〃
ったく
御機嫌悪そうですな将軍
いいわけねーだろ俺は後詰めだしガキが先鋒をつとめるなんてよ
ならば行動を起こすべきです
抜け駆けでもしろってえのか？
たとえ軍律を犯しても大手柄をたてれば認められましょう
おもしれえやるか〃

作戦は簡単だ
損害かまわず突き進め！敵の主戦線を突破したら一気に首都南帝闕をめざす！
抵抗拠点は包囲迂回しろ！敵に後退する時間を与えるな！
最初の目標はここ！座王都を中心とする敵の防衛拠点だこいつを抜けば南帝闕までたいした障害はない！
軍団主力で前線を突破する第七・十三・二十二師団は突破口を固めろ僧閣 おまえの4個師団は主力側面を守れ！

雷！
おうっ!!
先鋒は
おまえだぞ！
どんなことがあっても
止まるなよ！
この作戦は
おまえの師団の
突進力に
かかってるぞ！
ぜったいに
進撃速度は
維持しろ！
期待を
裏切るなよ…！
雷！
まかしとけって！
俺の通った跡には
石っころだって
残さねえよ!!
なんや！
なんや!!

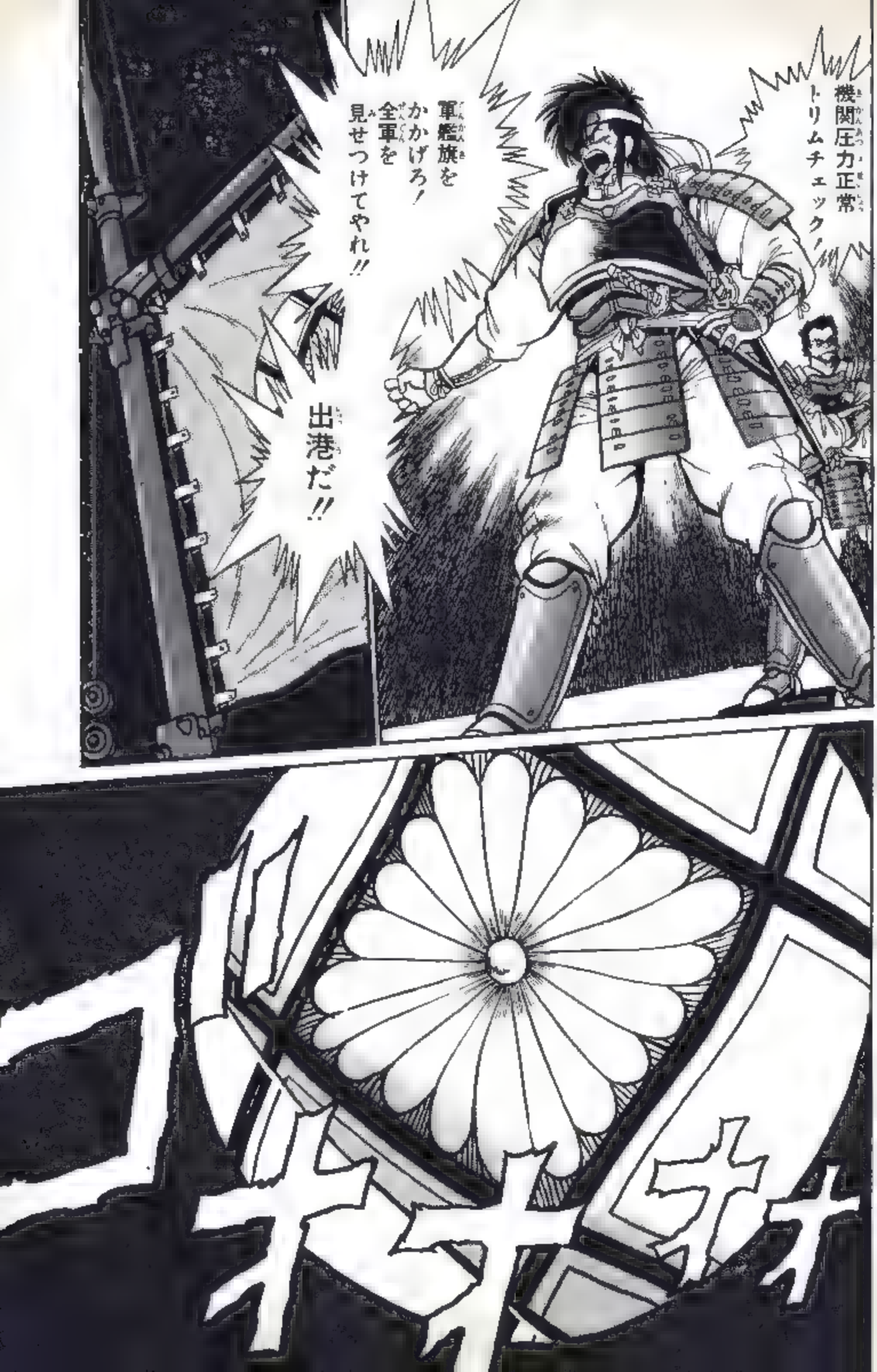

これは
うちの船やで
なんで
あんたが
乗ってんのや！
あなたの
お父上
弾正公より
御指示が
あったのよ

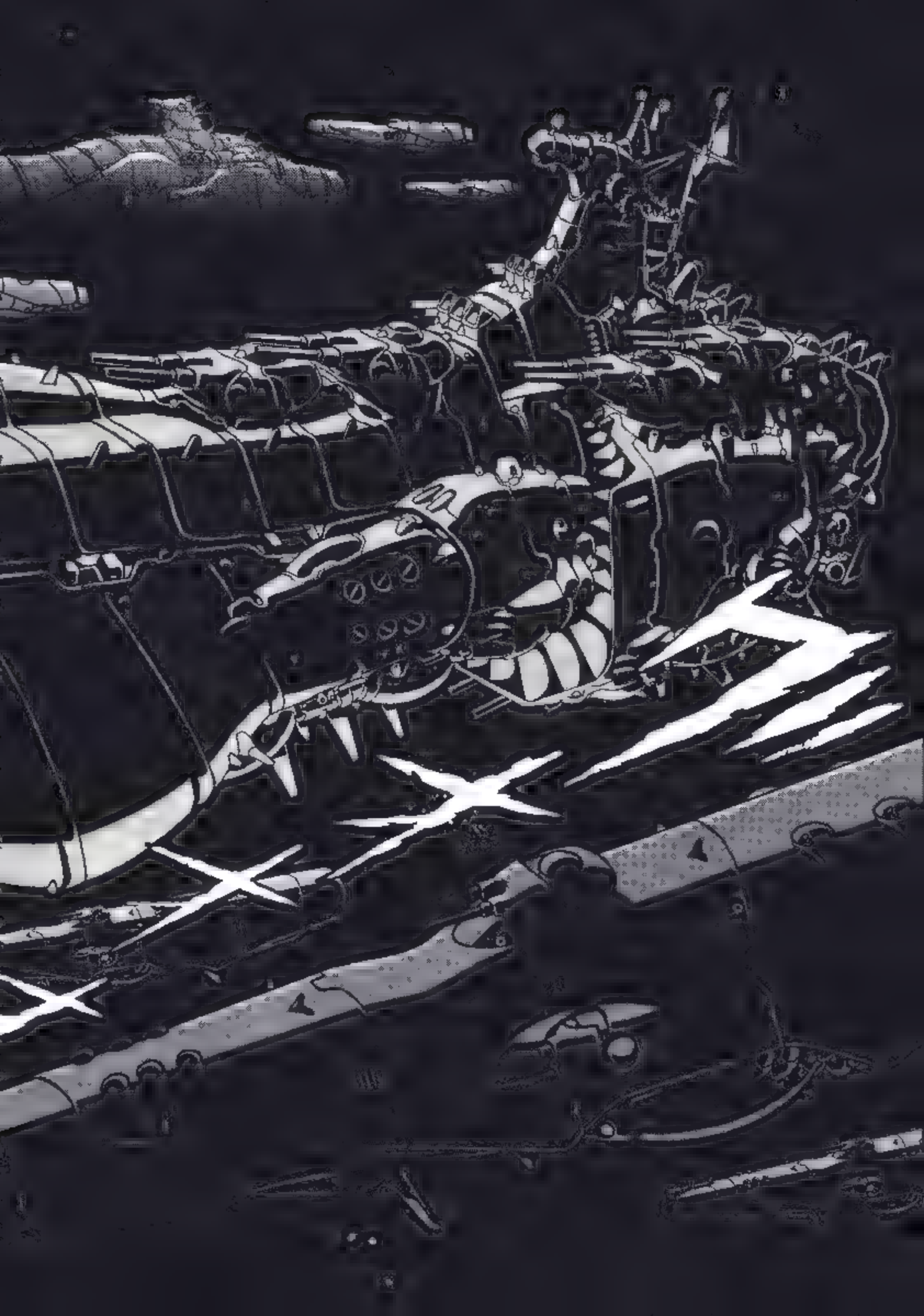
だれか
こいつを
放り出さん
かい！
どうぞ
おかまいなく
軍勢を
見送りに
来ただけ
だから

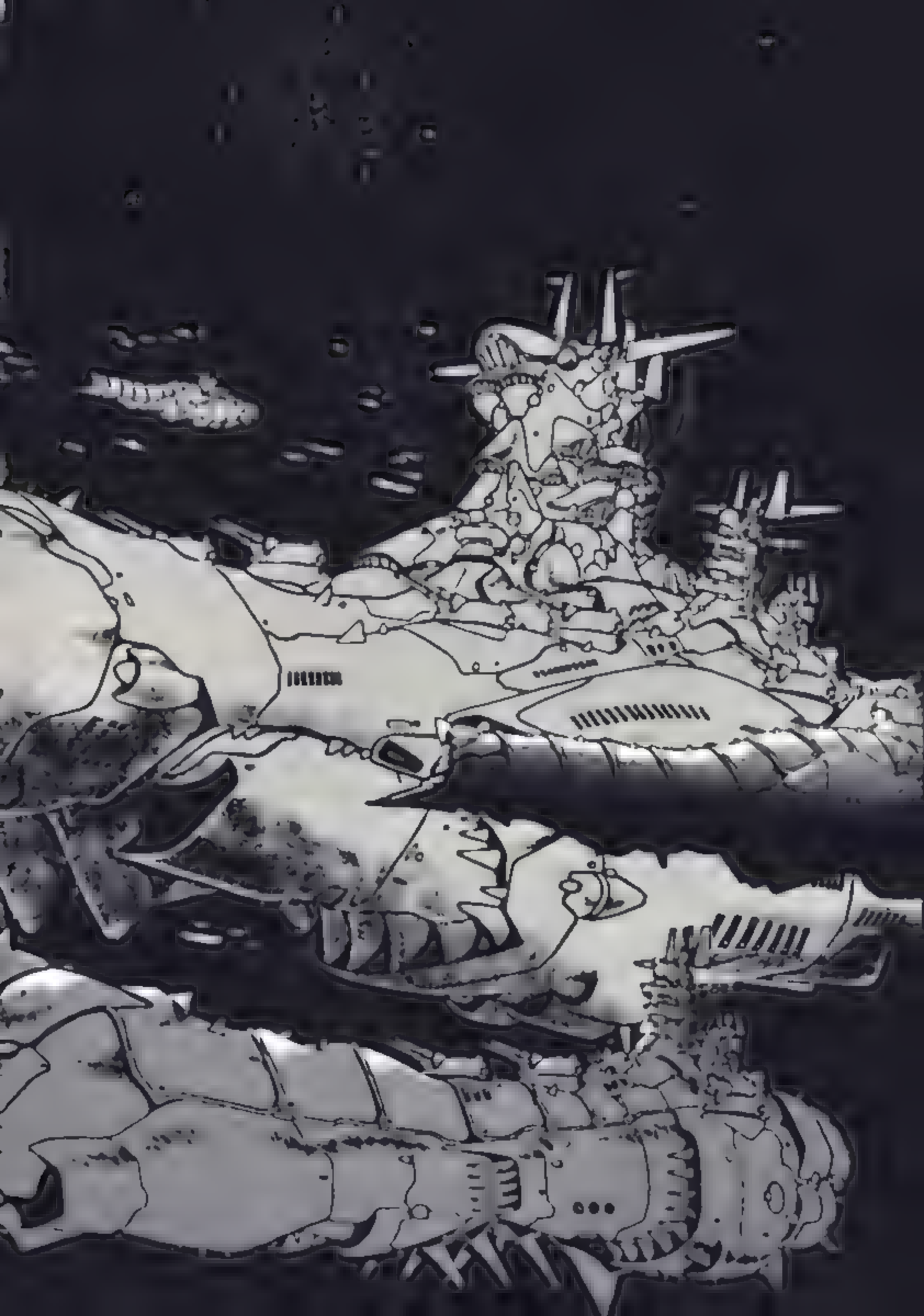

また人勢の
若者達が行く…

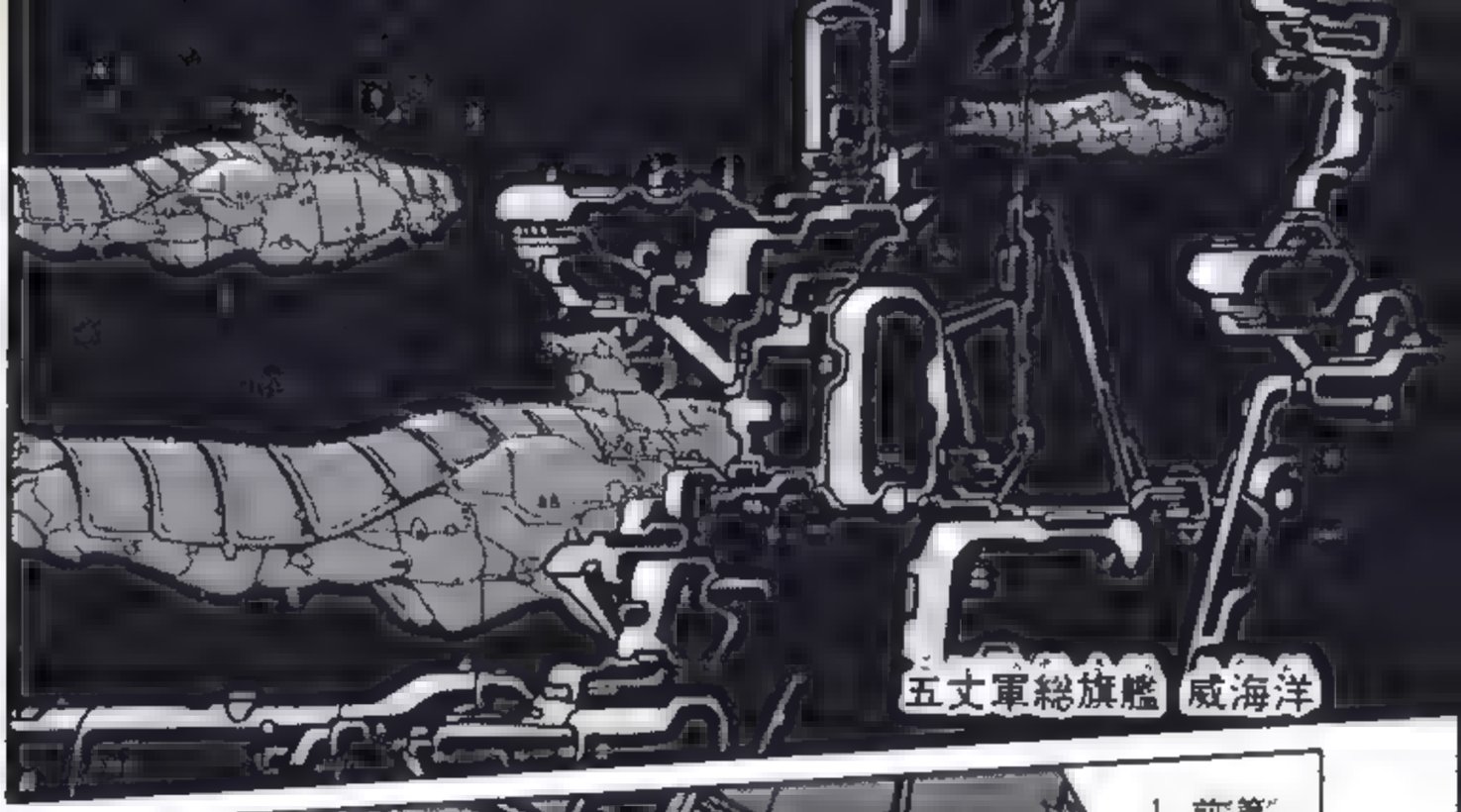
あんた この戦の一番手柄の奴んとこ行くんやってな
どーしてそれを
父上に聞いたわ
けど雷はうちのもんやで
なにもあの人とはいってないわ勇者のとこっていっただけよ
アホ！あいつは今にすげー男になるで
うちにはわかるんや 臭いでなええ男やし…
好きなの？彼を？
ちゃちゃうわい！うちはただなあ〃
うちはただ雷に天下人の素質があるっちゅうただけや
勘違いすんなボケ！
クス
たしかに彼にはあるかもしれないわ

ううん・あってほしい彼に…
第三軍団前進!!
進撃の号砲だ!
機関出力80!出航準備完了!速度第3戦速!!


機関圧力正常
トリムチェック！
軍艦旗を
かかげろ！
全軍を
見せつけてやれ!!
出港だ!!



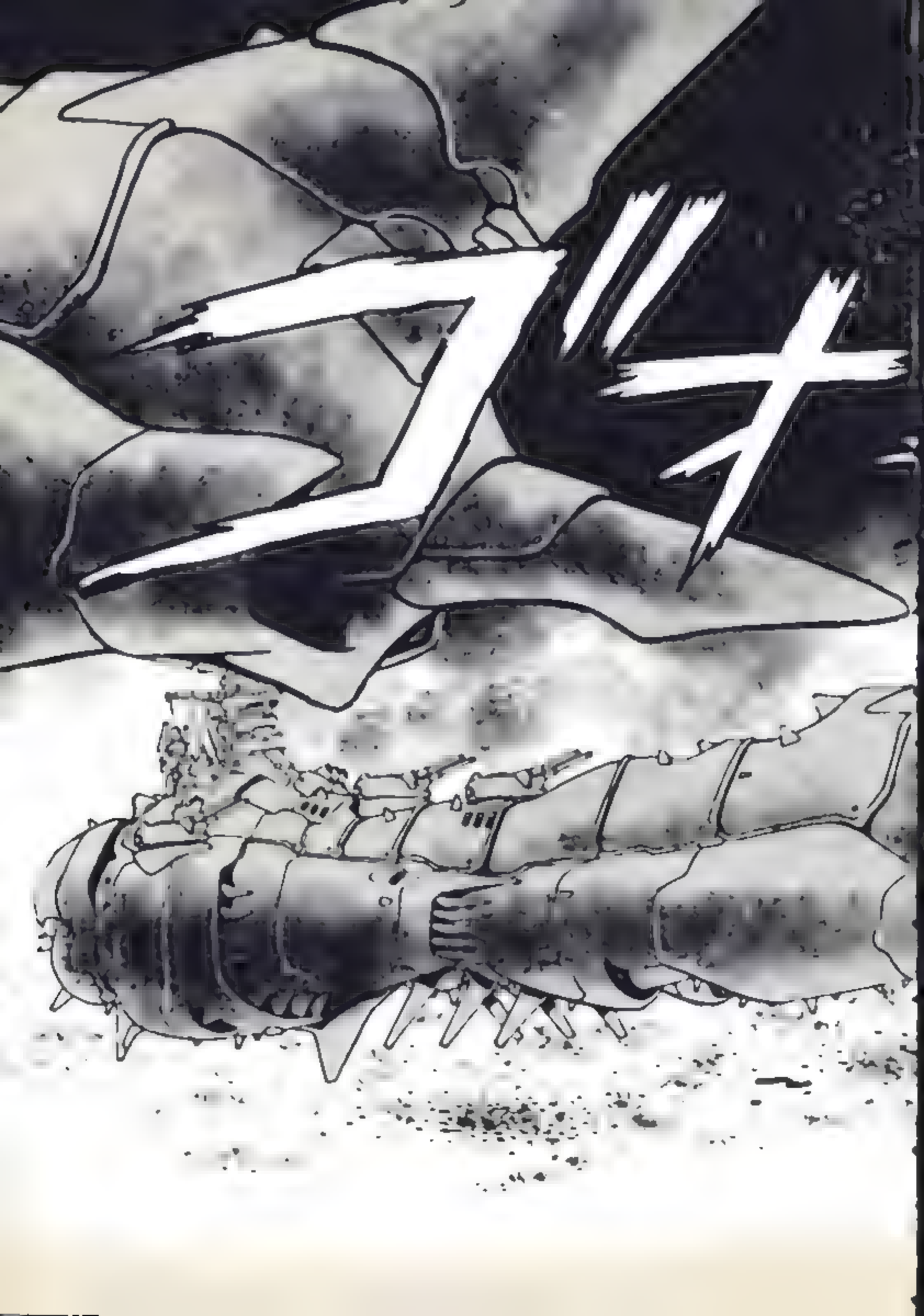



五丈軍総旗艦 威海洋

第三軍団が前進を開始しました！
先頭は四〇七七重機甲師団です

ゴゴゴゴゴゴ
あれの師団長が例の竜我雷とか申す若僧か
はっ狼刃将軍の申し出により特別に任命いたしました

ズルズルズルズルズル
あれや
あれが雷の
乗っとる
戦艦金剛や！
あはっ！
あ…
やっぱ
おまえ
雷に目つけ
とったなーっ!!
ちがうわよ！
あたしは
ただね——っ!!



ロボット オウ

ここらの敵艦隊の配置は？
はっ 警戒部隊のみのようて主力は後方て待機していますな
敵の戦艦は艦隊をつくらず各師団に数隻ずつ支援として配備されてるようです
そういう分散配備はこっちには好都合だ
敵は空母を持ってるのか？
いえてすが足の長い陸攻が各拠点にかなりの数配備されてます

敵の主力を
迂回して
座王都を
おとそう
そうすりゃ
連中の退路を
断てるし
敵主力を
軍団本隊とで
挟み撃ちできる
問題はない
ようですな
ああ
けど相手は
正宗だ
何を
してかすか
わかりゃ
しねえ
この前
手合わせ
したそうで
まあな
あの自信は
並じゃねえぜ
空いばりとは
思えねえな
我々を
阻止できる
と？
どっちにしろ
ナメちゃ
いけねえって
ことだな
もしガップリ
四つに組んで
しまっちゃ
突進力を
失っちまい
ますからな
そうなると
戦いが
長引きますぜ
そうなると
座王都攻略は
夢のまた夢だな

師団長からの
差し入れの
酒だ
やってくれ!!
ありがてぇ!!
ぷはーっ
きくーっ!!
こりゃ
いい酒だな
ようチヒ
おまえ
あの
ガキの師団長と
同じ中隊に
いたんだってな

そこじゃなにか？奴のままごとの相手でもしてたのか？
ちげえねえ！
そこのデケェのもだ！おまえさんはさしずめ熊の役だろーて！
そーかよ！
うぷっ!!
てめえやりやがったな!!
おもしれえー
うるへーっ!!口ばっかりのとーへんぼくが!!
雷の兄きのシリでもなめてな!!
ははは いっちゃった いっちゃった
このチビ！
このっ!!

まていっ!!
いやっほーっ"
へへーい
ここまで
おーいて♡
うむう…"
くそおっ
ちょこまか
しやがって
"
おりて
きやがれ"
ほーい!
ケホッ!!

このチビ
もう許さねえ
!!
また!
足踏みやがった
!!
!!
げげっ
一斗樽を
一気に
ふう…
だ――っ
はっはっはっはっは
すげーじゃん
雲海!

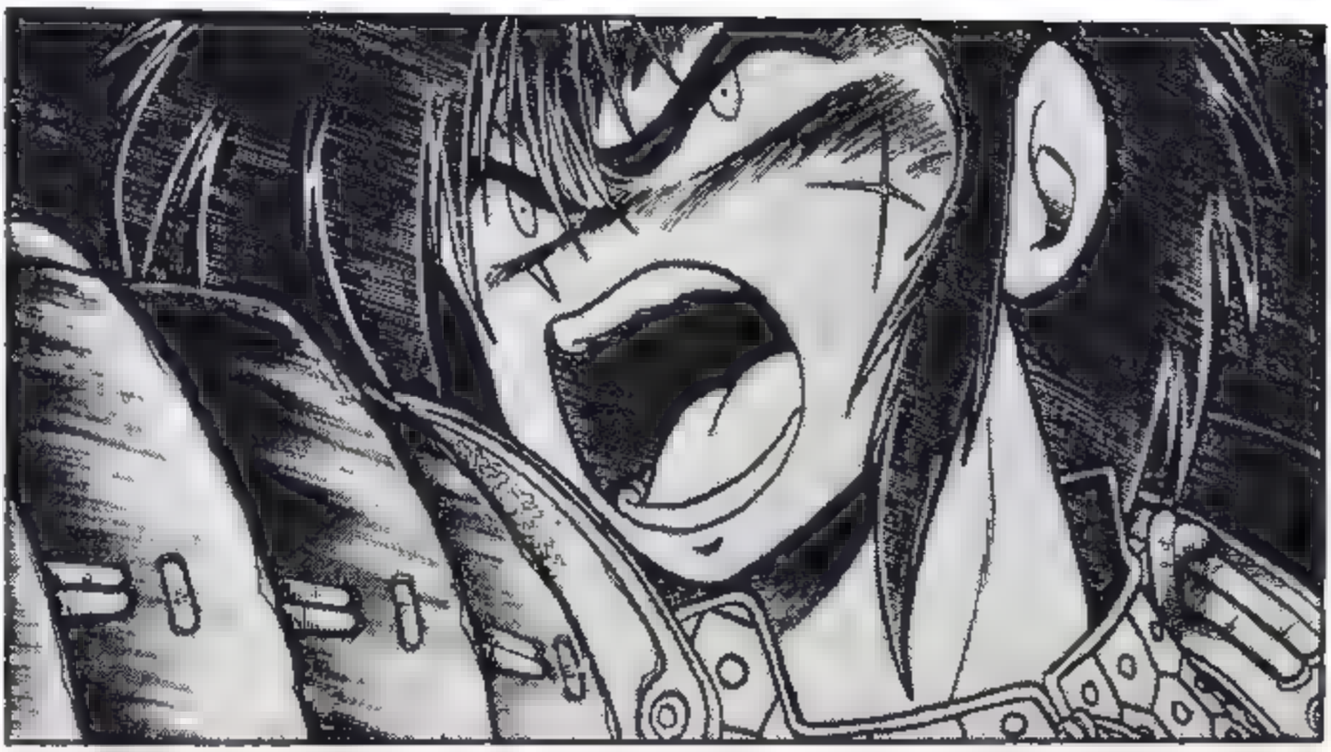
弾薬集積リストに…
なんだこりゃ飯の配給表？
ふえ～～～っなんだってこんなこと俺がしなきゃならねえんだよ
師団長ってのはめんどくせーもんだな！
ちくしょーあの女将軍にはめられちまったなあ
師団長！
ああいいとこにきてくれたこれ何とかしてくれよ
このまんまじゃ紙に埋もれて窒息しちまわ！
話があります
話？
この間の兵舎でのいざこざのことで

なんだ
あのことか
別に気にして
ねーよ
当然といや
当然だもんな
ありゃ
奴らだけの
気持ちじゃねえ
俺を始め師団
全員が思ってる
なに?
俺達は
あんたに命を
預ける気は
サラサラねえ!
たしかに
あんたが
この前の戦で
手柄をたてたのは
知ってる!
狼刃将軍が
あんたを
買ってんのもな
だが
それだけで
師団長は
つとまらねえ!!
師団が勝利を
得るためには
何人敵を
斬ったって
だめだ!
あんたには
まだそれが
わかってねえ!

あんたに
人を動かせるのか？
ゴゴゴゴ
智の国境を
越えます！
副団長！
はっ
もし俺が
あんたの
いうように
師団長として
失格なら
容赦なく
斬れ！

無能な指揮官に率いられて無駄に兵を失うほどバカらしいことはねーからな
あんたならそこらへんの頃合を見定められるだろう
わかりやした…！
そのかわり
あんたらが第三軍団の先鋒として俺を失望させる戦いぶりなら
俺も容赦なく斬るぞ!!
……
敵の様子は？
何ら動きはねえっす！

静かだな
電探の探索範囲を広げろ！敵の防衛ラインがあるはずだ
だめだ！電探に妨害が入ってるぜ
敵が近いぞ！対空監視強化!!
探信儀に反応あり！
高速艦多数接近!!
おいでなすったぜ！
なにいっ距離は!?方位は!?
右上方40度距離360000特殊合金の装甲を持つ戦闘艦・いや大型機だ
大型陸攻に間違いねえ！推定80機！
2派に分かれた！



あとがき

『銀河戦国群雄伝ライ』第①巻いかがでしたでしょうか。

読者の皆様もそう思っていらっしゃるでしょうが、この作品は、ぼくの作品としては珍しく男キャラが前面に登場する異色作です。もちろん、今までの作品も型式的には男が主人公でしたが、コミックスの表紙などを飾るのは、ムチムチ、プリプリした女の子たちでした。『ライ』ももちろん多くの女性キャラが登場しますが、今までの男性キャラが、女性キャラを引き立てるための存在とはまったく逆で、魅力的な女性キャラたちは、皆、主人公たち男キャラをさらに輝かせるための存在になっています。書いてしまえば、ただそれだけのことですが、読者の皆様のお手紙を拝見すると、その点が一番多く指摘されていました。

さて、この『銀河戦国群雄伝ライ』ですが、古くは3、4年前から考えていた企画でした。当時、NHKの大河ドラマ『独眼竜政宗』が放映されており、主演の渡辺謙の魅力もさることながら、あの真黒な甲冑に目をひかれま↗

した。あの頃、自分は、ファンタジー系列の仕事が多く、コスチュームもそのような感じのものにしていましたから、あの黒い甲冑がやたら新鮮に目にうつったのです。ああいう甲冑を身につけた男たちの活躍が描きたいな、と思ってました。また、姿形だけではなく、謀略家たちが、その知謀と権術を使い、対決していくところも、すごく気に入りました。そうこうしているうちに、コンプで仕事をする機会を得、ここぞとばかり始めたのが、この『銀河戦国群雄伝ライ』です。

もうひとつ付け加えると、ぼくは昔っからメカに関しては、一貫して大艦巨砲主義でした。小さな機動兵器が飛び回る世界よりジュットランド海戦のように、何十隻もの戦艦や巡洋戦艦が撃ち合うという戦闘にあこがれました。

以前、某「アウトランダーズ」で何万隻もの戦艦を戦わせましたが、そこで気付いたことは、大艦同士の撃ち合いでは主

人公のすることがないことでした。なら白兵戦だということになり、それこそ甲冑姿がふさわしいと思いたったのでした。

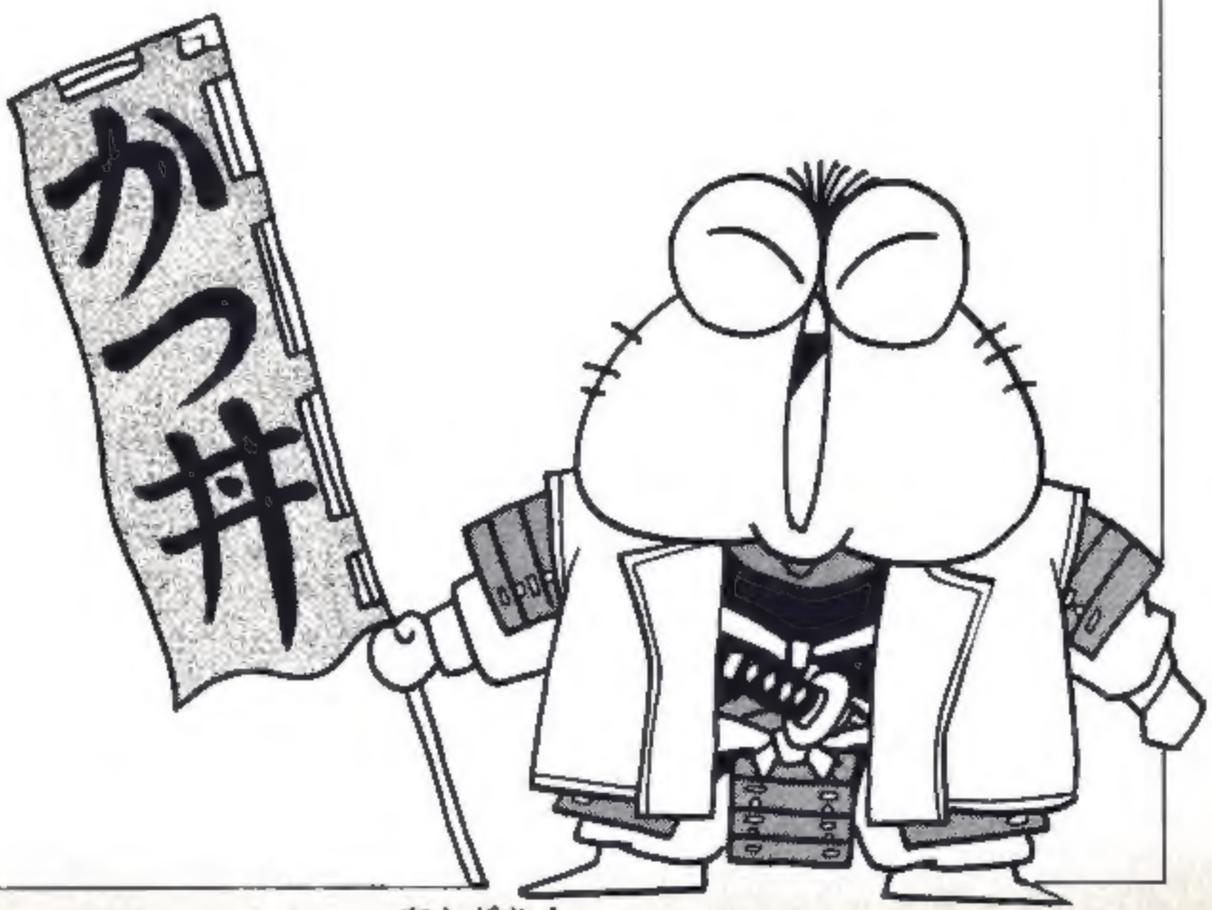
しかし、実際いざ描いてみると、これが大変でした。メカは何とか、いじりながらも進めましたが、問題はキャラたちでした。ただでさえモブ・シーンが多く、手間がかかるというのに、甲冑のメンドクサイこと！　もちろん、日本の甲冑を自分なりにデザインしたものですが、それでも大変でした。他にも、おっさんキャラの顔のパターンが少なく、苦労しました。自分の力足らずのこともありますが、とにかく全力でやるしかありませんね。

さてさて、次なる第２巻ですが、いよいよ南天との戦端が開かれます。

雷の師団長としての初陣ということになりますが、そう、うまくはいきません。彼の前には正宗をはじめ無数の武将が立ちはだかります。権力争いもあるでしょう。

さあ、雷たちの運命はいかに！　そして、雷をめぐる女たちの運命は……そして、全天を征圧するのは……

風雲急を告げる『銀河戦国群雄伝ライ』、本誌ともども、よろしくお願いします。



COMP COMICS DX

銀河戦国群雄伝ライ①

著者——真鍋譲治

1990年10月11日　初版発行
1991年12月5日　6版発行

発行者——角川春樹
発行所——株式会社角川書店
東京都千代田区富士見2-13-3
電話03-3817-8521(営業) 03-3221-9461(編集)
振替口座　東京3-195208

装幀——朝倉哲也+design CREST
印刷・製本——共同印刷株式会社

©JOJI MANABE 1990　　無断転載・複製

初出／月刊コミックコンプ'89年11月号～90年4月号

落丁・乱丁はお取り替えいたします
ISBN4-04-712011-1 C0379
Printed in Japan

COMP COMICS 大好評既刊ラインナップ

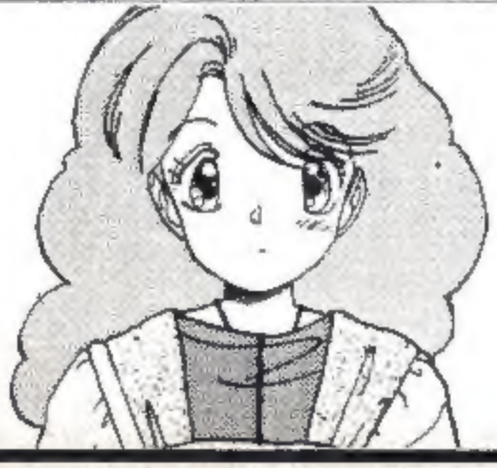
コンプコミックス　B6判

伊東岳彦

大宮直衣

刑事剣士 エックスカリバー

藤原昌幸

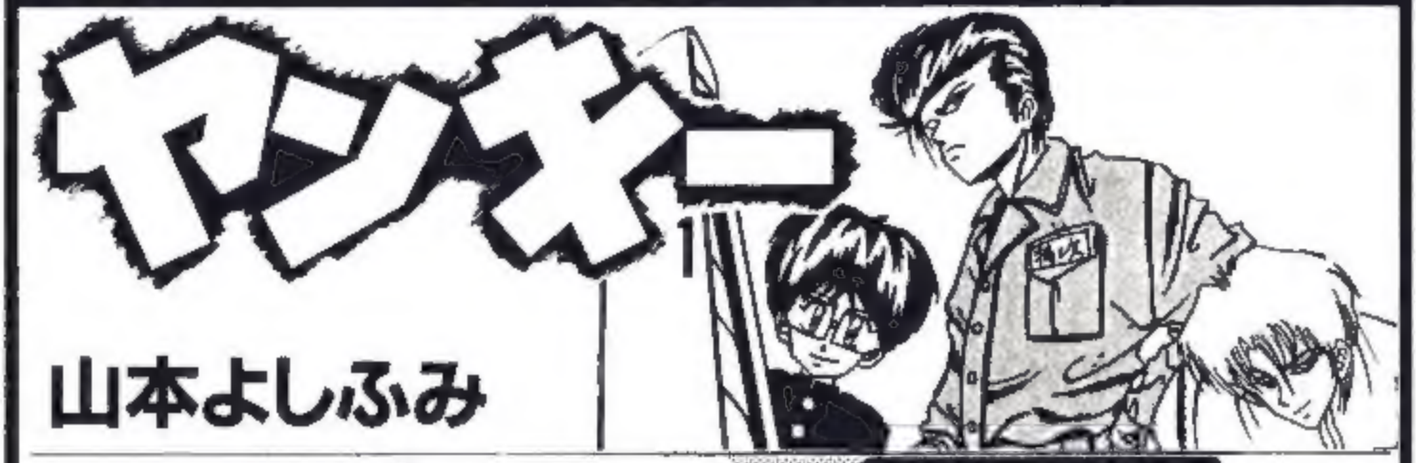


ラプラスの魔

MEIMU

COMP COMICS 大好評既刊ラインナップ

コンプコミックス B6判



ヤンキー1

山本よしふみ

TONGARI POTECHI

中村光信

ストライダー飛竜

和田たつみ

脚本 紫哲朗
原案 ㈱カプコン

中津賢也傑作集

てっぺん参上

中津賢也